

■ 医療法人敬和会  
大分岡病院



医療法人敬和会 会長 岡 宗由

「国宝とは何ものぞ、宝とは道心なり。道心ある人を名づけて 国宝となす。

一隅を照らす 此れ 則ち 国宝なり」

「真の国の宝とは、物質的価値のあるものを言うのではない。国家社会の平和と人類の幸福となることを願い、これを言い、これを行う道心のある人のことをいうのである。社会の一隅にあつて、世のため、人のために、利己的な心を忘れて尽くすことが慈悲の極みである」と説かれている。私たちは、この大分県の大分東部病院という一隅にあつて、人々のために、医療という仕事を通じ、人々から愛され、感謝されるよう全職員が心を合わせ、吾が身の一燈を灯し続けて行かなければならないのではないかと考えています。

今、医療界は大きな改革に迫られています。これに対し、如何に適応して行くかについて新しい医療のありかたが求められています。現代医療は正しい科学的な情報にもとづいて行なわれることが要求されています。科学という論理的な情報は、構造的、機械的な世界では大きな力を発揮していますが、医療は、機械的な修理だけではなく、人体には、構造的機械的な一面とともに、精神・心・“魂”など現代医学とは別の高次元の要素が共存しています。いかにこのような複雑な問題に正しく対応していくのが我々医療人に求められている緊急の課題ではないかと思われま

す。人間は、科学的情報のみで生きているわけではありません。生命は太古より、科学的情報の外に、膨大な感性的な自然情報により生存しつづけています。人間の真の生きざまは、科学的情報と感性的情報の両面にあると思われま

す。医療を行う場合、人間には科学的情報と共に感性的な情報が共存していることの重要性を決して忘れてはならないと思います。医学教育や臨床の場において、科学的な情報のみが重視され、感性的情報が軽視されている現状をみると、今、我々が着手しなければならない新しい医療のあり方が明らかとなってくるように思われま

## ■ 目次

|                                 |    |
|---------------------------------|----|
| 経営理念.....                       | 6  |
| 理事長挨拶.....                      | 6  |
| 大分岡病院院長挨拶.....                  | 6  |
| 1. 経営状況（損益状況）.....              | 8  |
| 2. 事業所概要.....                   | 8  |
| 2.1 沿革.....                     | 8  |
| 2.2 承認及び届出関係.....               | 10 |
| 2.3 資源表.....                    | 11 |
| 2.4 設置基準.....                   | 12 |
| 2.5 組織図.....                    | 13 |
| 2.6 平成20年度 事業計画.....            | 13 |
| 2.7 年間行事.....                   | 13 |
| 3. 統計.....                      | 16 |
| 3.1 医事統計.....                   | 16 |
| 3.3 DPC統計.....                  | 25 |
| 3.4 救急搬送患者統計.....               | 30 |
| 3.6 退院患者統計.....                 | 33 |
| 4. 診療部活動.....                   | 34 |
| 4.1 分子共鳴研究所.....                | 34 |
| 4.2 外科.....                     | 35 |
| 4.3 救急科.....                    | 35 |
| 4.4 形成外科.....                   | 36 |
| 4.5 呼吸器科.....                   | 37 |
| 4.6 歯科口腔外科（マキシロフェイシャルユニット）..... | 38 |
| 4.7 循環器科.....                   | 42 |
| 4.8 小児科.....                    | 45 |
| 4.9 心臓血管外科.....                 | 45 |
| 4.10 整形外科.....                  | 47 |
| 4.11 脳神経外科.....                 | 47 |
| 4.12 皮膚科.....                   | 49 |
| 4.13 放射線科.....                  | 50 |
| 4.14 麻酔科.....                   | 50 |
| 5.1 看護部委員会活動.....               | 51 |
| 5.1.1 看護部医療安全委員会.....           | 51 |
| 5.1.2 看護基準手順委員会.....            | 52 |
| 5.1.3 業務改善委員会.....              | 52 |
| 5.1.4 クリティカルパス委員会.....          | 52 |
| 5.1.5 看護部教育委員会.....             | 52 |
| 5.1.6 看護部感染対策委員会.....           | 53 |
| 5.2 2病棟.....                    | 55 |
| 5.3 3病棟.....                    | 56 |
| 5.4 4病棟.....                    | 57 |
| 5.5 5病棟.....                    | 57 |
| 5.6 透析室.....                    | 59 |
| 5.7 ICU.....                    | 60 |

|      |                     |    |
|------|---------------------|----|
| 5.8  | マキシロフェイシャルユニット      | 61 |
| 5.9  | 外来                  | 62 |
| 5.10 | 手術室                 | 63 |
| 6.   | コメディカル部門活動          | 64 |
| 6.1  | 臨床検査室               | 64 |
| 6.2  | 栄養部                 | 65 |
| 6.3  | ME部                 | 66 |
| 6.4  | 放射線部                | 67 |
| 6.5  | リハビリテーション部          | 69 |
| 6.6  | 薬剤部                 | 71 |
| 7.   | 委員会活動               | 72 |
| 7.1  | 医療安全委員会             | 73 |
| 7.2  | 感染管理委員会             | 73 |
| 7.3  | 薬事審議委員会             | 75 |
| 7.4  | 治験審査委員会             | 75 |
| 7.5  | 臨床検査適正化委員会          | 76 |
| 7.6  | 輸血療法委員会             | 78 |
| 7.7  | 褥瘡対策委員会             | 78 |
| 8.   | 事務部門                | 79 |
| 8.1  | 医事課                 | 79 |
| 8.2  | 総務・人事部              | 79 |
| 8.3  | 購買物流部               | 80 |
| 8.4  | 経理部                 | 81 |
| 9.   | 診療情報管理部             | 81 |
| 10.  | メディカルリンクセンター        | 84 |
| 11.  | 病児保育センターひまわり・ふたば保育園 | 93 |

## 経営理念

一人一人に宿る、かけがえのない尊い「生命」に思いを致し、その尊厳性に対して合掌し、人生という大きな輪の中で、また、地域社会の中で、大きく合い和し、共に生きることを 根本理念とする。

1. 人間性の尊重(Hospitality)
2. 規律と責任(Order)
3. 思いやりと信頼(Kindness)
4. 前進と創造(Advance)
5. 人生の灯(Luminous Lives)

## 理事長挨拶 岡 敬二

まもなく、大分岡病院の21期のスタートを迎えようとしています。今期は、救急部門、整形外科部門の2つの部門での戦力ダウンのために、主として病床稼働率の低下に基づく当初計画の下方修正にいたりしました。ここ数年の地域医療における医師確保が困難な状況から、迅速な医師の補充が出来ず、葉玉院長をはじめ多くのスタッフの皆さんにご迷惑・ご心配をおかけしていることとおもいます。しかしながら、このような困難な状況に直面しているときにこそ、3年の中期、5年の長期といった中長期の将来戦略をもう一度しっかり見つめる必要があると思います。

その前に、大分岡病院の成果について振り返ってみましょう。大分岡病院には、心血管センター、マキシロフェイシャルユニット、創傷ケアセンター、サイバーナイフセンターなどをはじめ、そのほかにも特筆すべきブランドがあります。心血管センターでは、心カテをはじめとする検査ならびに治療症例の増加、心臓血管外科も着実に症例数を重ね、いずれも良好な治療成績を出しています。マキシロフェイシャルユニットは、顎顔面外科手術が増加し、インプラントや矯正治療などの自由診療部門も大きく伸びています。さらに、柳沢名誉院長をお迎えし、小児の唇裂口蓋裂治療も100例を越え、地域の産婦人科の先生方の大きな信頼を得ています。創傷ケアセンターは開設から4年半を迎え、これまでに400人を越える難治性の傷の治療に大きな実績を残してきました。サイバーナイフセンターは、開設以来の治療症例が300例を越え、もはや大分県の放射線治療にとって欠かすことが出来ない重要なセンターの地位を確立しています。また、整形外科(脊椎外科)、消化器外科、呼吸器内科、脳神経外科、小児科、皮膚科、放射線科、麻酔科においても、それぞれに地域医療において重要な役割を果たしています。これらの成果は、ひとえに医師の努力のみによるものではなく、コメディカル、事務系職員など、すべてのスタッフのチーム医療によってなしたものです。このような質の高い診療は、来期も継続的に行なわれ、さらに着実に成果を積み重ねつつ、今後も大きな発展が期待できます。

現在、私たちは一時的な困難に直面していますが、困難なときに立ちすくんではいけません。困難なときにこそ、今出来ることを着実に実行し、さらに見えにくい将来の発展のヒントをしっかりと捕らえ、そのために必要な人材育成や新たな質の高いサービスを提供するための先行投資を十分に検討し、行なっていく必要があります。

大分岡病院の将来像は東洋のメイヨークリニックです。これは、創立者の会長の、そして私の夢でもあります。メイヨークリニックの使命は、統合された医療・教育・研究を通じてすべての患者に毎日、最高の医療を提供するというものです。この使命は、すべての医療機関に共通のものともいえます。私たちも、大分県ばかりでなく広く日本、さらには国外の患者さんにも質の高い医療を提供する医療機関になりたいと願っています。この夢を今後とも皆さんと共有することで、現在の困難な状況を克服し、常にチャレンジすることで、さらに前進していくことが出来ると考えています。

## 大分岡病院院長挨拶 葉玉 哲生

2007年度事業報告を取り纏めるにあたり、現時点に於ける本院の診療体制および国内の医療情勢に付き考えて見ました。

医療安全と医療提供体制の整備、特に救急医療提供体制の確立は大きな社会問題となっています。福島県大野病院の産婦人科帝王切開事故が刑法「業務上過失致死罪」で告訴され無罪判決が出たことは医療界の重大事件でありました。診断と治療のために、医療行為として人体に針を刺しメスを加え強力な化学物質を血管内に注入することは正当な業務であり、極めて神聖で科学的な行為であります。この行為が、本来の目的を達せず合併症を来し最悪の事態となったら、故意でなくても逮捕されるとなれば医療は成立しません。本院は医療安全担当副院長と専任看護師（副部長）を配置し、極めてきめ細かい事例の報告と教育と対策が実施されています。お蔭様で、今年度も深刻な医療事故は発生していません。

ところで、本院の地域における医療提供姿勢の基本姿勢は、救急を中心とした各診療科による急性期医療の提供であります。診療領域としては、心臓大血管疾患、四肢抹消血管疾患、消化器疾患、呼吸器疾患、脊椎・関節など高齢者特有の整形外科疾患、脳神経外科、小児科、皮膚科、更に定位放射線治療や額顔面外科など特殊な疾患も対象としています。地域医療計画の重点的「4疾病5事業」のなかで、急性心筋梗塞・糖尿病性血管疾患・頭頸部がん・小児医療・救急医療に関して全ては拠点病院としての指定を受けてはいないものの、積極的に取り組み地域に貢献していることを自負しています。

本院は平成14年に「ER救急センター」を開設し全ての救急患者を24時間体制で診療にあたり地域に貢献してきたが、二次救急医療機関に於ける適切とは言えない軽症患者の時間外受診「コンビニ受診」から高度救命救急処置を要する患者までが対象となり、救急担当医師の過重労働と重症外傷診療体制の対応困難などにより「ER救急体制」の維持は困難となりました。そこで、今年8月より、「ER救急センター」を「外来救急センター」へ改称し、救急隊による搬入患者の対応は各専門診療科の当番制支援による「部分相乗り型救急診療体制」へ再編成を行いました。当センターには、外科系・内科系の2名の専従医師が救急車搬入以外の手段で来院される比較的軽症の救急患者の診療を担当し、各診療科による相乗り診療により緊急重傷例の対応が可能となりました。

国家的医療行政として、厚生労働省による「安心と希望の医療確保ビジョン」に基づき、①医師数の増加（医学部入学定員の増加）、②救急患者受け入れの多い二次救急医療機関に対する支援、③夜間休日の救急担当医師への手当て支給などが検討されているので、政局の変動はあろうとも、当院の方向性には“追い風”になるものと期待しています。

ここに、2007年度における、各診療科・各部門の事業報告を纏めました。目標に達した事業、やや課題を残した事業など御座います。それぞれの部署において次年度の新たな事業計画に大いに資する内容であると確信いたします。

## 1. 経営状況（損益状況）

医療法人 敬和会グループは、大分岡病院、大分豊寿苑、訪問看護ステーション、創薬センター、大分東部病院の5事業から構成され、収入は平成18年4月から大分東部病院（77床）が加わり、下記の通り増収となりました。

過去3年間の医業収益・医業利益・経常利益を見ますと、17期は損失を計上しておりますが、これは地域医療支援病院を目指し、紹介型外来に切替え、外来抑制したことに加えて、サイバーナイフ導入に伴い、通常償却に加えて特別償却を行った為です。

18期はマキシロフェイシャルユニット、サイバーナイフセンターの医業収益アップと他4事業所のカバーもあり、V字回復した形となりました。

19期は、大分岡病院が平成18年10月に目標であった地域医療支援病院を取得し、平成19年5月には7:1看護加算を取得しました。

しかしながら、7:1看護加算に伴う人件費の先行投資等や、大分東部病院のリストラ費用があり、19期末の敬和会全体の経常利益は下記の通り損失計上となりました。

20期は大分岡病院では、病床稼働率の改善維持、大分東部病院では医業収益改善が重要となります。

医療法人 敬和会収支

|       | (単位:百万円)              |                       |                       |
|-------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
|       | 17期<br>(H15.10-H16.9) | 18期<br>(H17.10-H18.9) | 19期<br>(H18.10-H19.9) |
| 医業収益  | 4,682                 | 5,470                 | 5,953                 |
| 医業利益  | -226                  | 83                    | -95                   |
| 経常利益  | -127                  | 128                   | -27                   |
| 税引前利益 | -199                  | 133                   | -22                   |
| 減価償却費 | 330                   | 189                   | 162                   |

病床利用率(%) = 年延入院患者数 / 年延病床数 = 76.1

1日平均患者数(人) 入院 = 年延入院患者数 / 入院診療日数 = 176

外来 = 年延外来患者数 / 外来診療日数 = 281

外来入院患者比率(%) = 年延外来患者数 / 年延入院患者数 = 106

患者1人1日当り診療収入(円) 入院収入 = 入院請求額 / 年延入院患者数 = 56,453

外来収入 = 外来請求額 / 年延外来患者数 = 12,363

(※H18.10-H19.9 収支データより作成)

## 2. 事業所概要

### 2.1 沿革

昭和29年5月22日 岡医院開設(8床) 院長 岡 宗由(産科、婦人科、外科)

昭和31年2月13日 岡医院(19床)増床

昭和38年7月11日 大分岡病院(40床)開設・・・診療所から病院へ

昭和39年6月2日 救急病院告示承認

昭和39年9月9日 大分岡病院(61床)に増床



昭和 41 年 4 月 17 日 大分岡病院 (80 床) に増床  
 昭和 43 年 4 月 1 日 姫野研三副院長就任  
 昭和 45 年 12 月 25 日 X 線テレビ (日立 DR-125VT) 導入  
 昭和 56 年 4 月 7 日 頭部 CT スキャナー (東芝 TCT-30) 導入  
 昭和 57 年 1 月 12 日 大分岡病院内温泉掘削工事  
 昭和 58 年 3 月 22 日 大分岡病院 (110 床) に増床  
 昭和 59 年 10 月 25 日 大分岡病院 (140 床) に増床  
 昭和 61 年 4 月 1 日 立花秀俊医師就任 (小児科部長)  
 昭和 62 年 12 月 21 日 大分岡病院 (180 床) に増床  
 平成元年 1 月 23 日 医療法人 敬和会設立 (代表者 理事長 岡宗由)  
 平成 2 年 11 月 1 日 基準看護 (基本) 承認  
 平成 3 年 10 月 1 日 基準看護特 I 類承認  
 平成 4 年 8 月 1 日 基準看護特 II 類承認  
 平成 5 年 5 月 1 日 基準看護特 III 類承認  
 平成 6 年 10 月 1 日 大分岡病院院長 姫野 研三就任  
 平成 7 年 6 月 9 日 訪問看護ステーション開設  
 平成 7 年 9 月 8 日 老人保健施設大分豊寿苑開設  
 平成 8 年 10 月 1 日 ヘリカル CT 導入 (東芝)  
 平成 9 年 5 月 1 日 病児保育センターひまわり開設 (大分市委託幼児デイサービス)  
 平成 10 年 4 月 1 日 新看護承認 (2.5 : 1 看護 (A), 10 : 1 補助)  
 平成 10 年 11 月 1 日 大分岡病院 (211 床) に増床  
 平成 10 年 11 月 30 日 東芝デジタルアンギオシステム導入  
 平成 10 年 12 月 3 日 MRI (シーメンス旭メック) 導入  
 平成 11 年 1 月 1 日 高気圧酸素治療装置導入  
 平成 11 年 2 月 12 日 透析室の開設  
 平成 11 年 7 月 1 日 大分岡病院 (222 床) に増床  
 平成 12 年 4 月 1 日 介護保険始まる。居宅介護支援事業所開始  
 平成 12 年 4 月 1 日 外来調剤を外部調剤薬局に委託  
     大分岡病院二次救急病院としての指定  
 平成 12 年 10 月 2 日 形成外科外来新設  
 平成 12 年 10 月 3 日 誤投薬防止システム導入  
 平成 13 年 2 月 1 日 地域連携室設置  
 平成 13 年 4 月 1 日 診療情報管理管理加算を算定開始  
     院内 PHS システム導入  
 平成 13 年 5 月 1 日 脳神経外科標榜  
 平成 13 年 7 月 1 日 ブッチャー方式ハウスキーピング導入  
 平成 13 年 10 月 1 日 開放型病院認可 (5 床)  
 平成 14 年 1 月 1 日 総合リハビリテーション認可  
     ER 救急センター開設  
 平成 14 年 2 月 1 日 シーメンス RI 装置導入  
 平成 14 年 3 月 12 日 大分岡病院一般病床 222 床から 231 床に変更  
 平成 14 年 6 月 1 日 新看護承認 (2 : 1 看護)  
 平成 14 年 9 月 30 日 日本医療機能評価機構病院認定 Ver3.1  
 平成 15 年 1 月 1 日 大分岡病院院長 岡 敬二就任 副院長 立川洋一、総院長 姫野 研三就任  
 平成 15 年 3 月 1 日 副院長 岡 治道就任  
 平成 15 年 5 月 24 日 コールセンター開設

- 平成 15 年 6 月 25 日 大分サハナイフがん治療センター棟の完成
- 平成 15 年 7 月 1 日 創薬センター開設
- 平成 15 年 7 月 16 日 地域リハビリテーション支援体制整備推進事業協力の承諾
- 平成 15 年 9 月 1 日 ICU (6 床) 設置
- 平成 15 年 10 月 1 日 薬局クリーンベンチ運用開始
- 平成 15 年 10 月 1 日 電子レセプト開始
- 平成 15 年 10 月 30 日 大分岡病院、管理型臨床研修病院に指定
- 平成 16 年 1 月 1 日 日本救急医学会認定医指定施設
- 平成 16 年 2 月 1 日 創傷センター開設
- 平成 16 年 4 月 1 日 電子カルテ導入  
マルチスライス CT16 列 (シーメンス) 導入
- 平成 16 年 6 月 1 日 リンパ浮腫治療室開設
- 平成 16 年 7 月 1 日 DPC 調査協力開始
- 平成 16 年 7 月 7 日 休診日の変更 (木曜日午後休診→土曜日午後休診)
- 平成 16 年 11 月 1 日 NST 稼働施設認定
- 平成 16 年 11 月 10 日 放射線治療 (サイバーナイフ II) の使用開始
- 平成 17 年 2 月 16 日 マキシム・フェイシャルユニット開設
- 平成 17 年 12 月 1 日 マルチスライス CT16 列よりマルチスライス CT64 列 (シーメンス) に更新
- 平成 18 年 1 月 12 日 第 1 回 大分岡病院学会
- 平成 18 年 2 月 1 日 大分岡病院心血管センタースタート
- 平成 18 年 4 月 1 日 大分東部病院開設 (77 床) 院長 下田 勝弘  
診療科 (内科、消化器科、循環器科、外科、肛門科、産婦人科、放射線科)
- 平成 18 年 4 月 1 日 DPC 対象病院  
日本形成外科学会教育関連施設認可 (大分岡病院)
- 平成 18 年 8 月 1 日 病理解剖室設置
- 平成 18 年 10 月 5 日 地域医療支援病院の名称使用許可
- 平成 18 年 12 月 1 日 ヘリカル CT (東芝) よりマルチスライス CT16 列 (シーメンス) に更新
- 平成 19 年 1 月 1 日 大分岡病院全館禁煙スタート
- 平成 19 年 4 月 1 日 医療法人敬和会 理事長 岡敬二就任 大分岡病院院長 葉玉哲生就任  
大分岡病院毎週土曜日休診
- 平成 19 年 4 月 16 日 敬和会託児所「敬和会ふたば保育園」開設
- 平成 19 年 5 月 1 日 看護体制 7 : 1 運用開始
- 平成 19 年 5 月 20 日 第 2 回 敬和会合同学会
- 平成 19 年 6 月 1 日 MRI1.0T より 1.5T に更新 (シーメンス)
- 平成 19 年 7 月 1 日 大分岡病院敷地内禁煙、これに伴い「禁煙外来保険適用」
- 平成 19 年 8 月 21 日 日本医療機能評価機構受審 (Ver5)
- 平成 20 年 4 月 1 日 柳澤名誉院長就任 (歯科口腔外科)
- 平成 20 年 4 月 19 日 災害時救急患者対応訓練
- 平成 20 年 6 月 「外来化学療法」診療開始 (第 1.3 火曜日)
- 平成 20 年 7 月 1 日 患者用図書室「からだ情報室」開設
- 平成 20 年 8 月 インTERNET看護師候補者の受入れ 2 名決定 (H21.2.13 から就任)

## 2.2 承認及び届出関係

病床 総数 231 床

### A. 基本診療関連

一般病棟入院基本料 7 : 1、地域医療支援病院、開放型病床 (5 床)、

重症者等療養環境特別加算 臨床研修病院入院診療加算（管理型）、  
入院時医学管理加算、救急医療管理加算 医療安全対策加算、  
乳幼児救急医療管理加算、電子化加算、  
療養環境加算 特定集中治療管理料、褥瘡患者管理加算

#### B. 手術関連

経皮的冠動脈形成術、経皮的冠動脈ステント留置術、  
経皮的冠動脈血栓除去術 大動脈バルーンパンピング法（IABP法）、  
ペースメーカー移植術、観血的関節受動術 内視鏡下椎弓切除術、  
麻酔管理料

C. 放射線科 特殊CT及び特殊MRI撮影、画像診断管理加算

D. 薬剤科 薬剤管理指導料、無菌製剤処理加算

#### E. リハビリテーション科

脳血管疾患リハビリテーション（I）

運動器リハビリテーション（I）

呼吸器リハビリテーション（I）

心大血管疾患リハビリ（I）

F. 栄養課 入院食事療養（I） 栄養管理実施加算

G. 診療情報部 診療情報管理加算

#### H. 歯科

歯科疾患総合指導料1

歯科治療総合医療管理料

補綴物維持管理料

### 2.3 資源表

#### A. 放射線科

○CT(医用X線CT装置)2台 ○マンモグラフィー(乳房用診断装置)

○MRI(磁気共鳴画像診断装置) ○骨密度測定装置

○RI(診断用核医学装置) ○ポータブルX線撮影装置(3台)

○血管造影システム ○DR装置

○X線一般撮影装置(2台) ○超音波画像診断装置

#### B. 検査科 生理検査

○心エコー診断装置 ○心電図

○ホルター心電図 ○負荷心電図(トレッドミル、エルゴメー)

○脳波 ○肺機能自動測定装置

○眼底カメラ ○眼圧計

○APG(下肢静脈瘤) ○ABI(動脈硬化)

○睡眠時無呼吸検査装置(SAS) ○誘発電位検査(ABR, LEP, LCC)

#### C. 生化学検査

○生化学自動分析装置 ○多項目自動血計測装置

○血液ガス分析装置 ○尿自動処理装置

○蛋白質分画装置(血清検査) ○免疫血清自動分析装置(細菌検査)

○細菌自動分析装置(血液検査) ○凝固計

#### D. 内視鏡

○胃カメラ(5台) ○気管支鏡(2台)

○大腸カメラ(4台) ○十二指腸ファイバー(1台)

#### E. ME部

○人工透析装置(25 台) ○人工呼吸器(5 台)

○高気圧酸素治療器(2 台)

OP 室

○内視鏡手術一式(1 セット) ○C アームイメージング装置(2 台)

○関節鏡手術一式(1 セット) ○麻酔器(3 台)

○メトリックス手術一式(1 セット) ○蒸気滅菌装置(2 台)

○アイオン(メトリックスナビゲーションシステム)(1 セット) ○エチレンオキシドガス(1 台)

○超音波メス(1 台) ○結石破碎装置(EHL)(1 台)

○ハーモニック(1 台) ○モニター(3 台)

○電気メス(3 台) ○自動記録装置(2 台)

○シェーバー(1 台) ○超音波洗浄器(1 台)

○ペーパー(1 台)

## 2.4 設置基準

教育研修指定関係

救急科専門医指定施設

放射線科専門医修練機関

日本皮膚科専門医研修施設

日本形成外科学会教育関連施設

日本外科学会外科専門医制度修練施設

日本消化器内視鏡学会認定指導施設

日本消化器外科学会修練関連施設

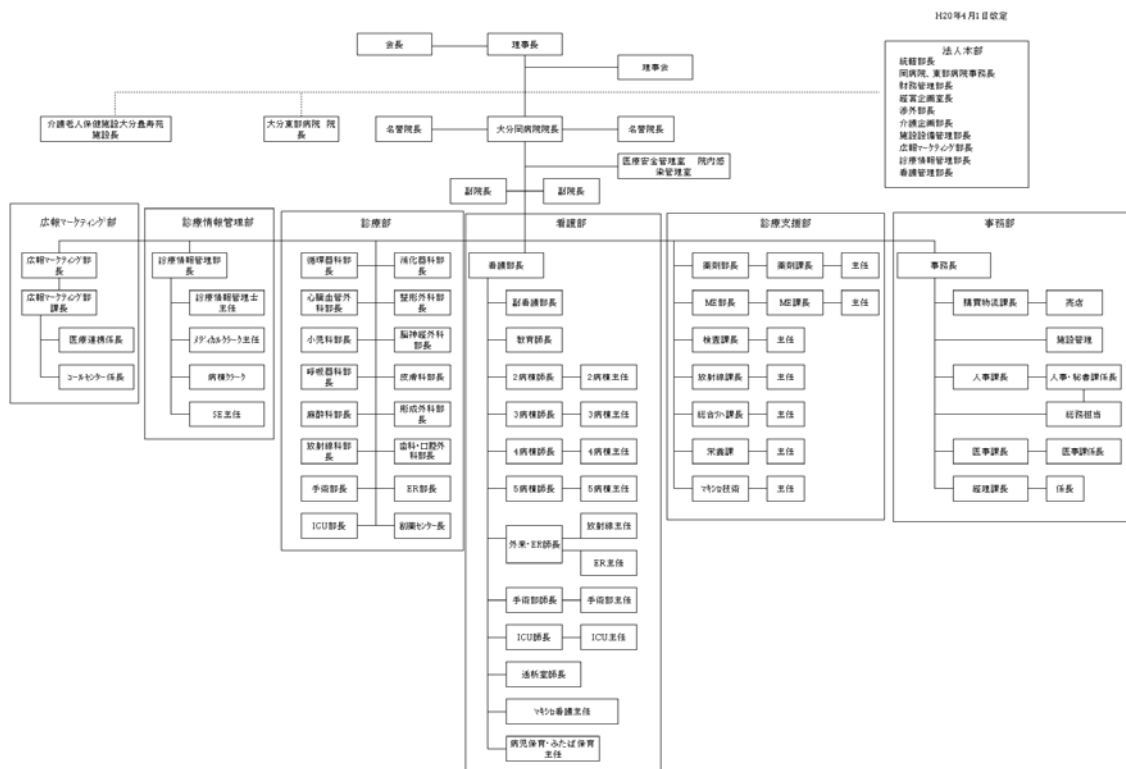
日本大腸肛門病学会関連施設

日本整形外科学会専門医研修施設

日本静脈経腸栄養学会・NST(栄養サポートチーム)可動施設

日本口腔外科学会専門医制度指定研修機関

2.5 組織図



2.6 平成20年度 事業計画

1. 「グループホーム(2ユニット18人)」の建築許可を受け、年度内完成
2. 介護施設 次期計画の具体化
3. 医師リクルートの強化充実(特に整形、救急他)
4. 電子カルテ更新の検討
5. 職員教育の実施、定着と充実化
6. 患者専用図書室の設置と充実
7. イントリア看護師候補者受入れに伴う教育体制の充実

2.7 年間行事

2007年4月

- ・医療法人敬和会理事長 岡敬二 就任(4/1)
- ・大分岡病院長 葉玉哲生 就任(4/1)
- ・大分岡病院 土曜休診開始
- ・新入職員の入職式(4/2)
- ・新入職員合同研修(～4/7まで)
- ・歓迎会(お花見会)(4/5)
- ・ふたば保育園(院内託児所)開園(4/16)
- ・大分NSTカンファレンス(4/21)

2007年5月

- ・7:1入院基本料算定(5/1～)
- ・第2回敬和会合同学会(ソレイユ)(5/20)
- ・MRI1.5テスラ更新

2007年6月

- ・春季防災訓練 (6/7)
- ・第2回褥瘡地域勉強会 (6/15)
- ・市民公開講座「下肢静脈瘤の治療と予防」(音の泉) (6/16)
- ・医療安全全体研修会「リスクマネジメントの基礎」(6/21)
- ・韓国病院視察団来院 (6/21)

## 2007年7月

- ・禁煙外来開始(敷地内禁煙)
- ・第9回大分圏域地域研修会「転倒予防教室の開き方」(7/1)
- ・接遇研修「他業種から学ぶ」(7/3)
- ・院内感染全体研修「あなたはできますか?標準予防策」(7/5)
- ・七夕会 (7/12)
- ・第10回ヤングフィジシャンズ・カンファレンス (7/17)
- ・献腎移植セミナー (7/19)
- ・心血管センターの実績と今後の方針 (7/23)

## 2007年8月

- ・病院機能評価受審 (Ver5) (8/21~23)
- ・敬和会合同供養祭 (8/23)
- ・鶴崎おどり (8/25)
- ・新医師臨床研修病院説明会 (8/27)

## 2007年9月

- ・職員健診 (9/18~28)
- ・H19年度新卒看護師採用試験 (9/22)
- ・リーダーシップ研修「リーダーシップ・スキルアップと元気な病院づくり」(9/30)

## 2007年10月

- ・感染管理全体研修「治療環境管理」(10/4)
- ・第13回警察医会総会(大分オアシス) 10/7
- ・第10回地域連携協議会(H20年度の診療報酬改訂予測) 10/11
- ・第2回敬和会健康フェスタ (10/21)
- ・疼痛緩和と麻薬の基本的な使用方法と管理方法について (10/25)
- ・H19年度新卒薬剤師採用試験 (10/27)

## 2007年11月

- ・第2回大分岡病院地域医療支援病院運営委員会 (11/7)
- ・秋季防災訓練 (11/8)
- ・H19年度新卒リハビリ採用試験 (11/10)
- ・第25回大分救急医学会、県医師会館 (11/11)
- ・H19年度新卒ソーシャルワーカー採用試験 (11/17)
- ・第25回大分県病院学会(別府ビコン) 11/18
- ・第11回ヤングフィジシャンズ・カンファレンス (11/20)
- ・第10回大分圏域地域研修会「リハビリを考える会」(11/23)
- ・H19年度新卒看護師採用試験 (11/24)
- ・理事会 (11/28)
- ・医療安全全体研修会 (11/29)

## 2007年12月

- ・接遇研修「よりよい医療接遇を目指して」(12/1)
- ・院内研究発表会 (12/4, 5, 10, 11)
- ・医療監視 (12/7)

- ・看護師国家試験対策講座 (12/8, 9)
- ・クリスマス会 (12/12)
- ・第5回大分メディカルコンソーシアム (12/12)
- ・大分豊寿苑 足湯オープン (12/19)
- ・敬和会合同忘年会 (12/19)

## 2008年1月

- ・管理者研修、目標設定 (1/19)
- ・第11回地域連携協議会 (消化器系がんに対する抗がん剤治療) 1/24
- ・敬和会リハビリ学術発表会 (1/28)

## 2008年2月

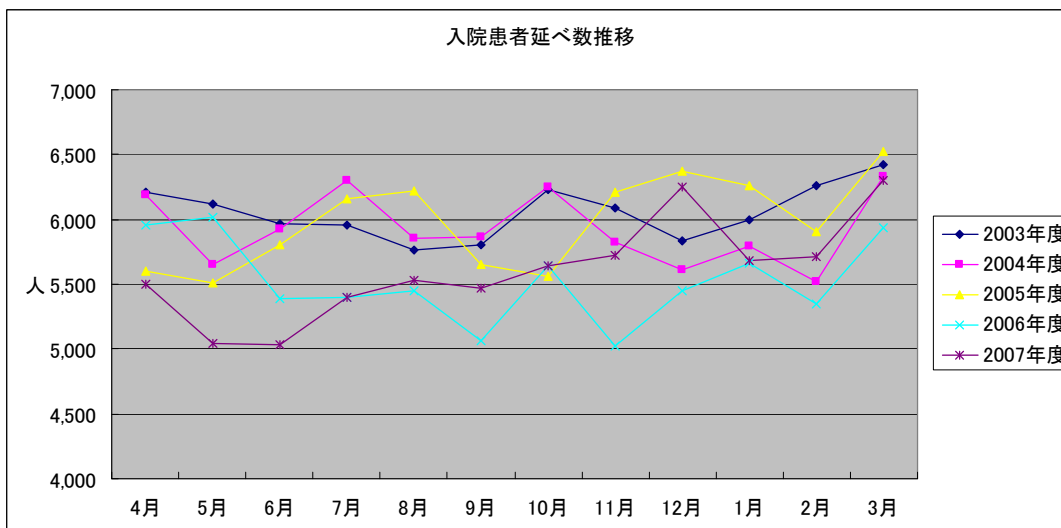
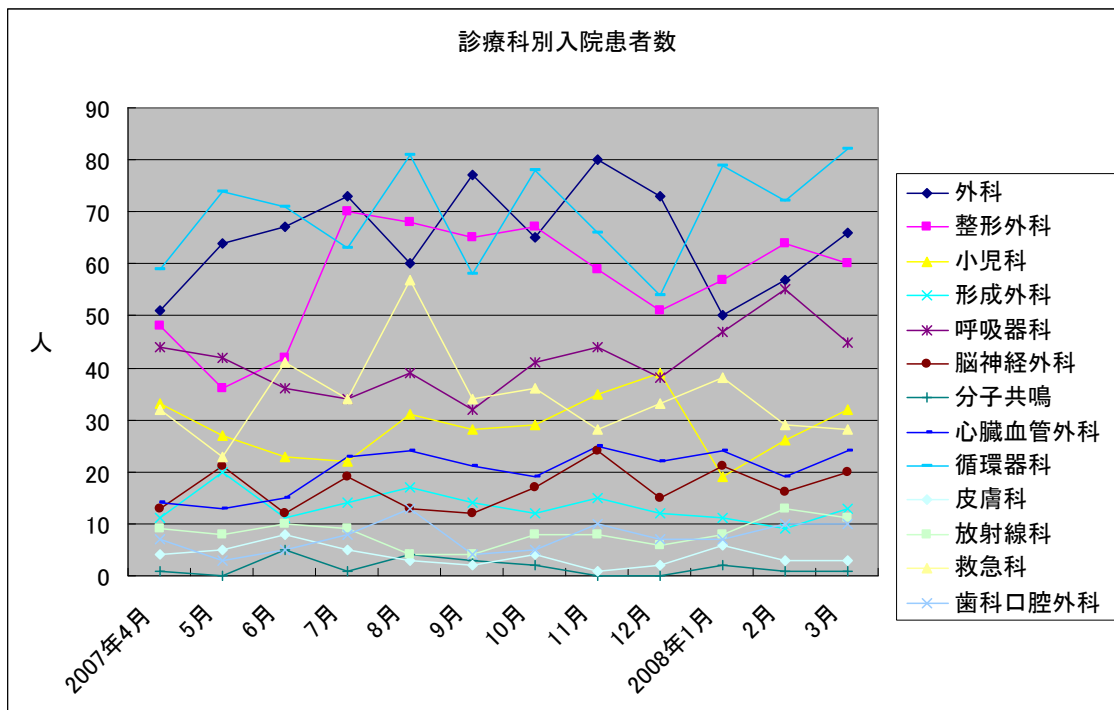
- ・第6回大分メディカルコンソーシアム (2/8)
- ・心血管合同カンファレンス (イチゴ総合センター) 2/13
- ・新入職員オリエンテーション (2/9)
- ・環境感染研修会 (2/18)
- ・第11回大分圏域地域リハ研修会「お口の手入れと安全」 (2/24)

## 2008年3月

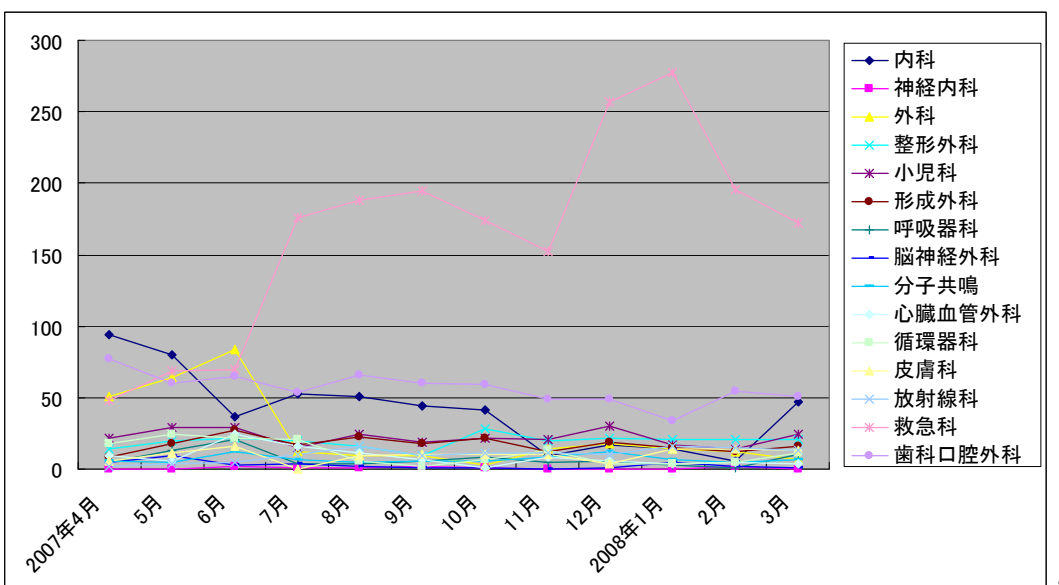
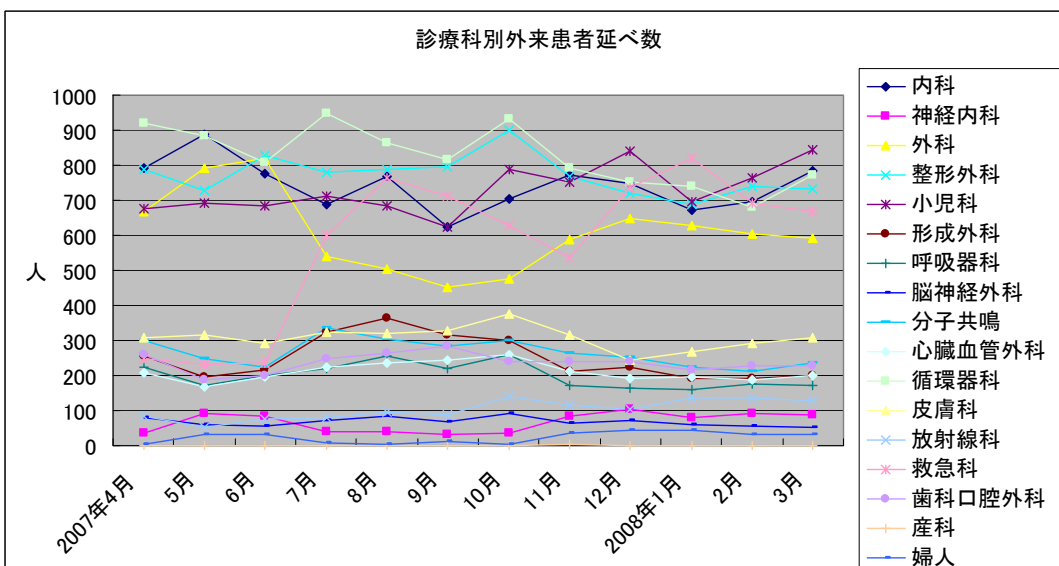
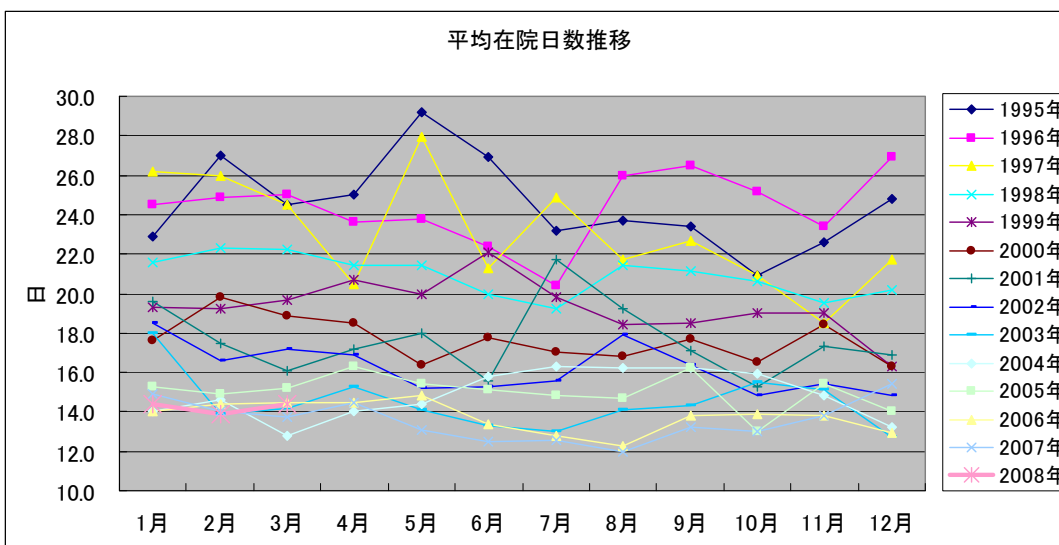
- ・新医師合同説明会 (福岡 3/9)
- ・新医師合同説明会 (大分 3/15)
- ・第7回大分メディカルコンソーシアム (3/18)
- ・第12回ヤングフイジシャンス・カンファレンス (3/25)
- ・韓国病院視察団来院 (3/26)
- ・職員健診 (3/21～27)

### 3. 統計

#### 3.1 医事統計





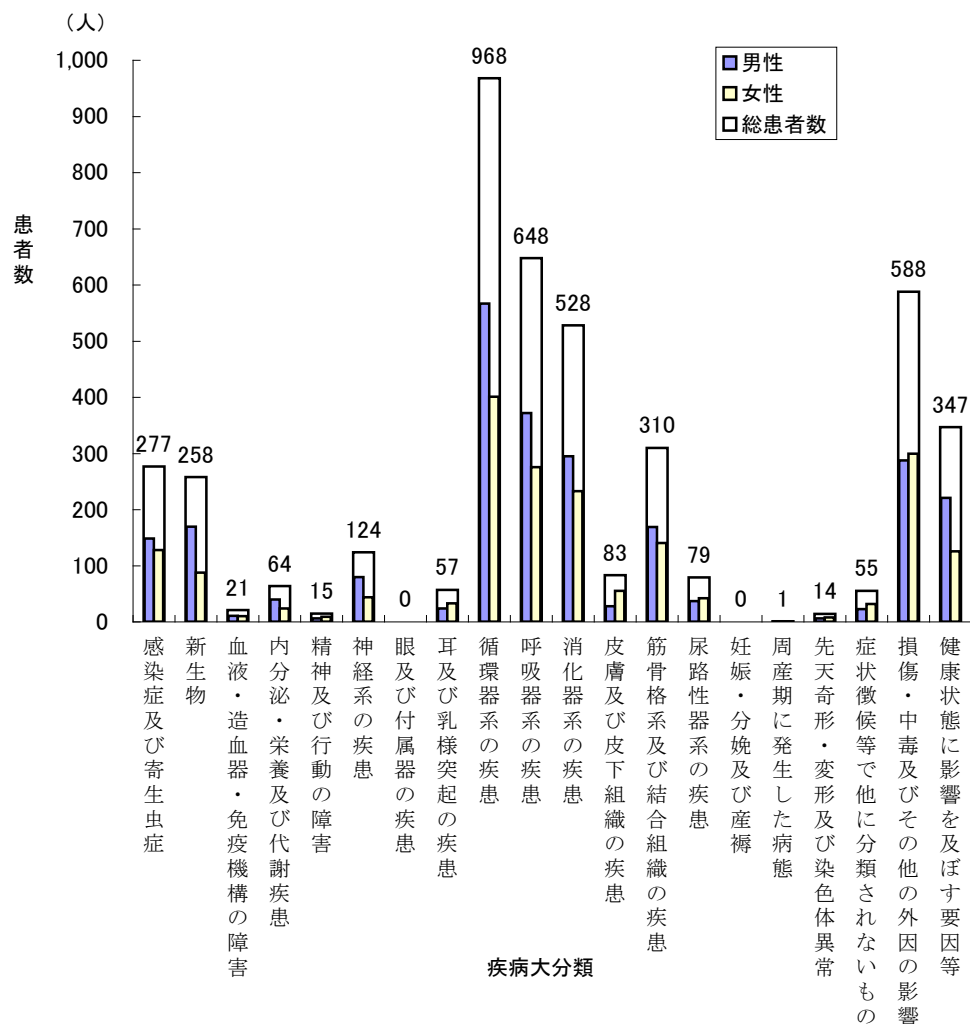


3.2 退

## 院患者統計

## 第1 病類別（大分類）性別患者数（延患者数）

図1-1 病類別（大分類）性別患者数（延患者数）

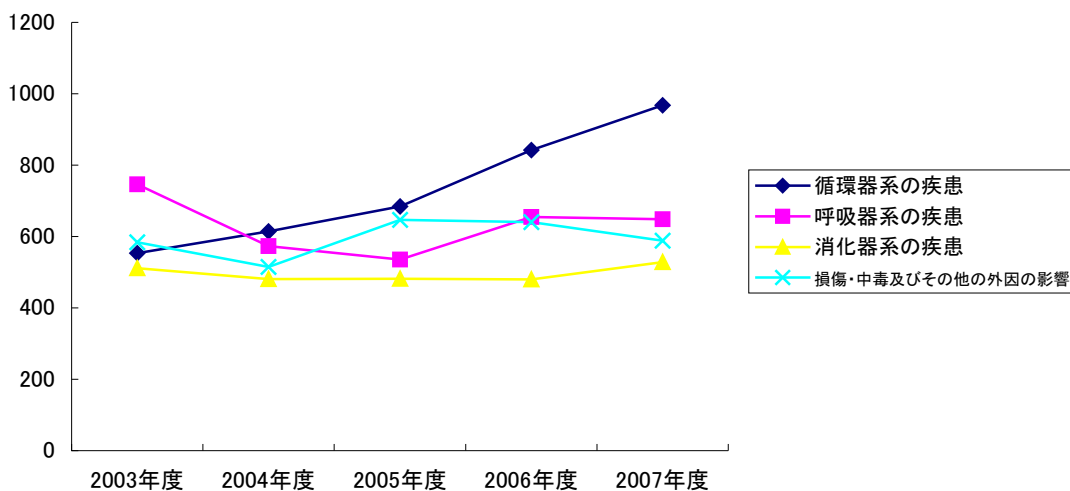


2007年度の延べ患者数は4437人で、前年度に比べ103人増加した。増加率は2%であった。

男女比は1:0.784で前年に比べ小さくなった。

病類別では、「循環器系の疾患」(968人)、「呼吸器系の疾患」(648人)、「損傷・中毒及びその他の外因の影響」(588人)、「消化器系の疾患」(528人)の順に多く、順位は前年と変わらなかった。しかし、「循環器系の疾患」が前年に比べ14%増加したのに対し、「呼吸器系の疾患」は前年とほぼ同数だったため、1位と2位の差は拡大した。また、3位の「損傷・中毒及びその他の外因の影響」は全年度に比べ52人(8%)減少した。

図1-2 症例の多い疾患5年間の推移



第2 病類別（大分類）在院死亡患者数

図2-1 病類別（大分類）在院死亡患者数

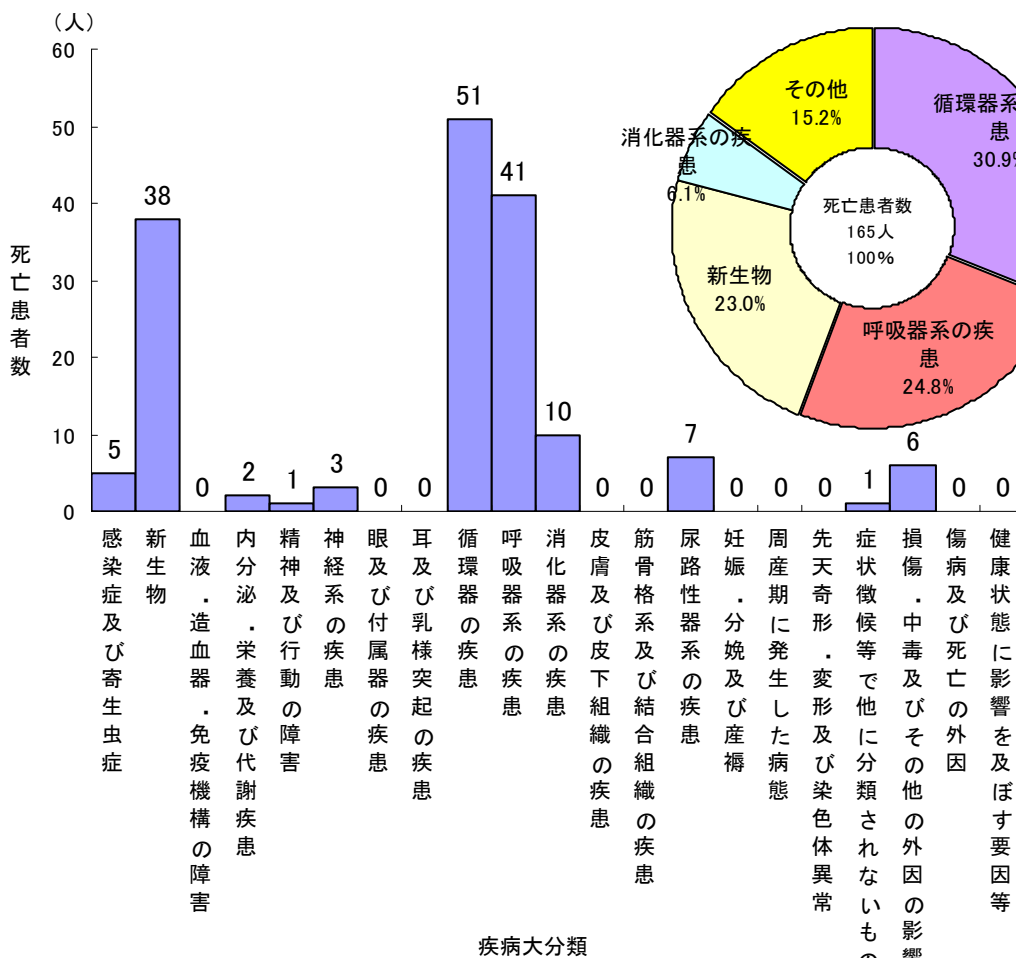
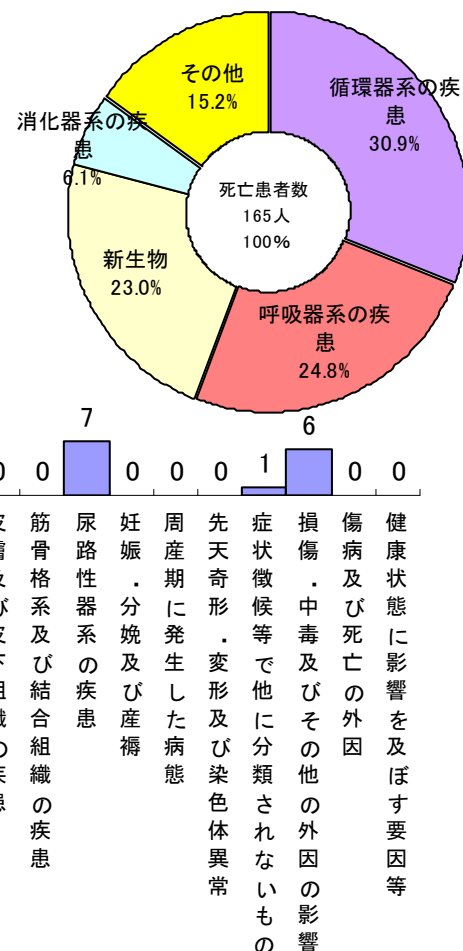
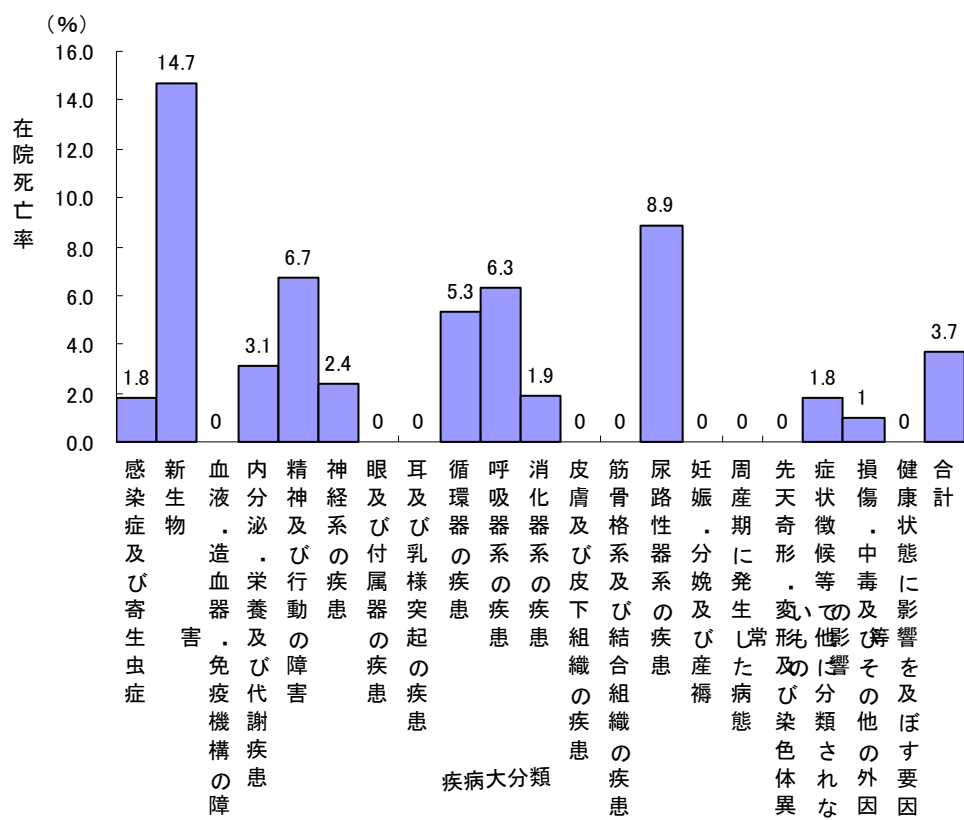


図2-2 病類別（大分類）在院死亡患者の構成割合



## 第3 病類別（大分類）在院死亡率

図3 病類別（大分類）在院死亡率



在院死亡率（延患者に対する在院死亡患者の割合）は3.7%で、前年とほぼ同数であった。

第4 在院日数別患者数

図4-1 在院日数別患者数

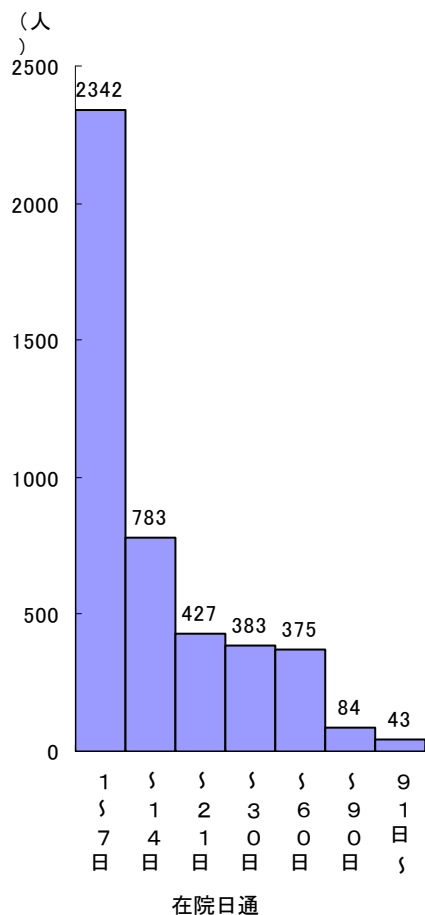


図4-2 在院日数別患者数の構成割合(総数)

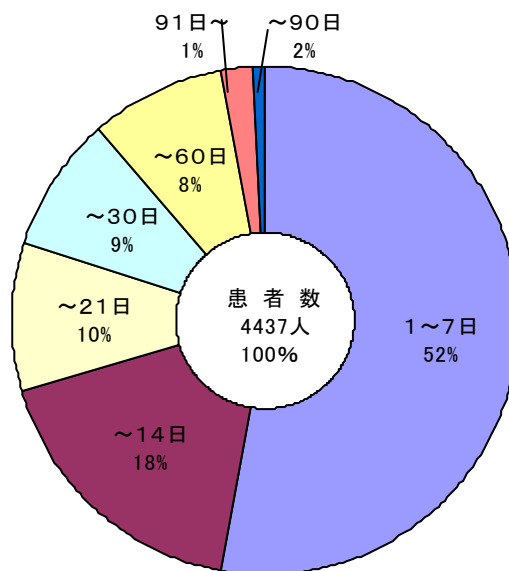


図4-3 在院日数別患者数の構成割合年次変化

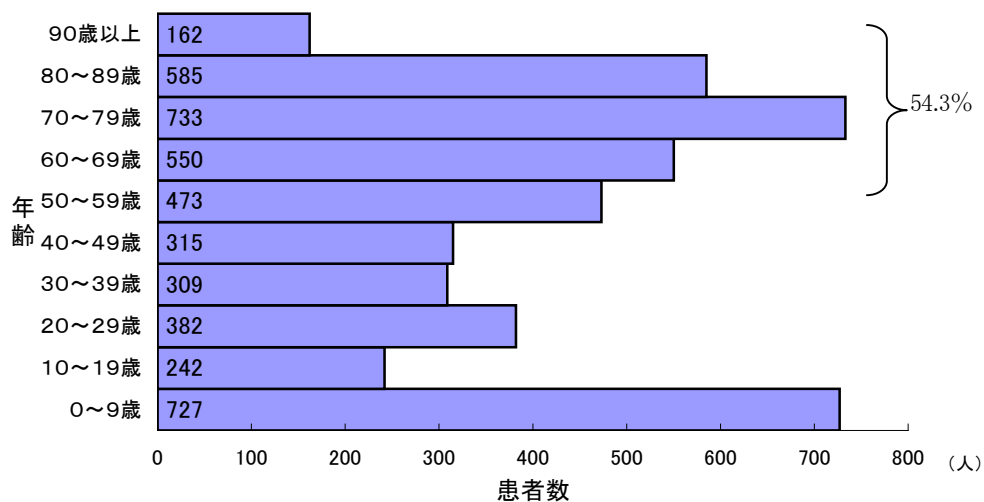
|      | 2003年度 | 2004年度 | 2005年度 | 2006年度 | 2007年度 |
|------|--------|--------|--------|--------|--------|
| ~7日  | 2477   | 2130   | 2274   | 2271   | 2342   |
| ~14日 | 803    | 761    | 756    | 750    | 783    |
| ~21日 | 457    | 344    | 384    | 431    | 427    |
| ~30日 | 321    | 316    | 331    | 353    | 383    |
| ~60日 | 385    | 331    | 393    | 392    | 375    |
| ~90日 | 87     | 112    | 110    | 72     | 84     |
| 91日~ | 66     | 93     | 82     | 59     | 43     |

(人)

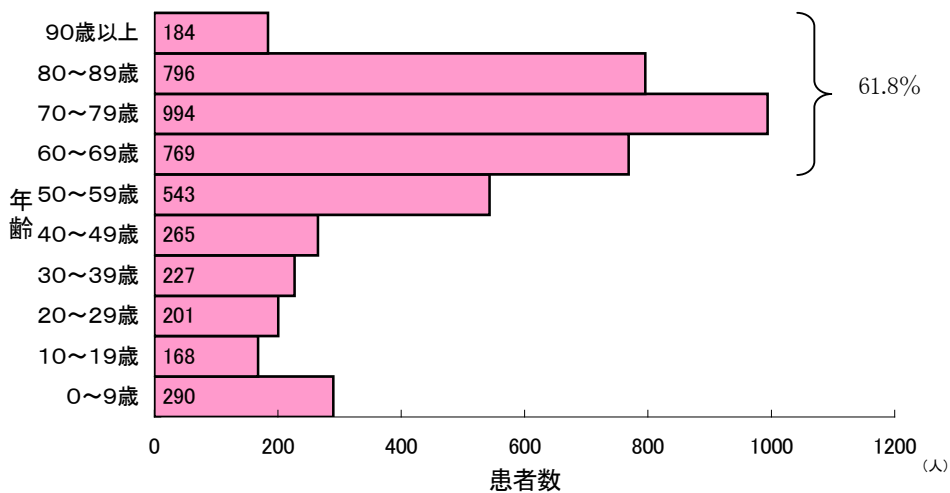
## 第5 年齢階級別患者数

図5 年齢階級別患者数

年齢階級別患者数 2002年度



2007年度

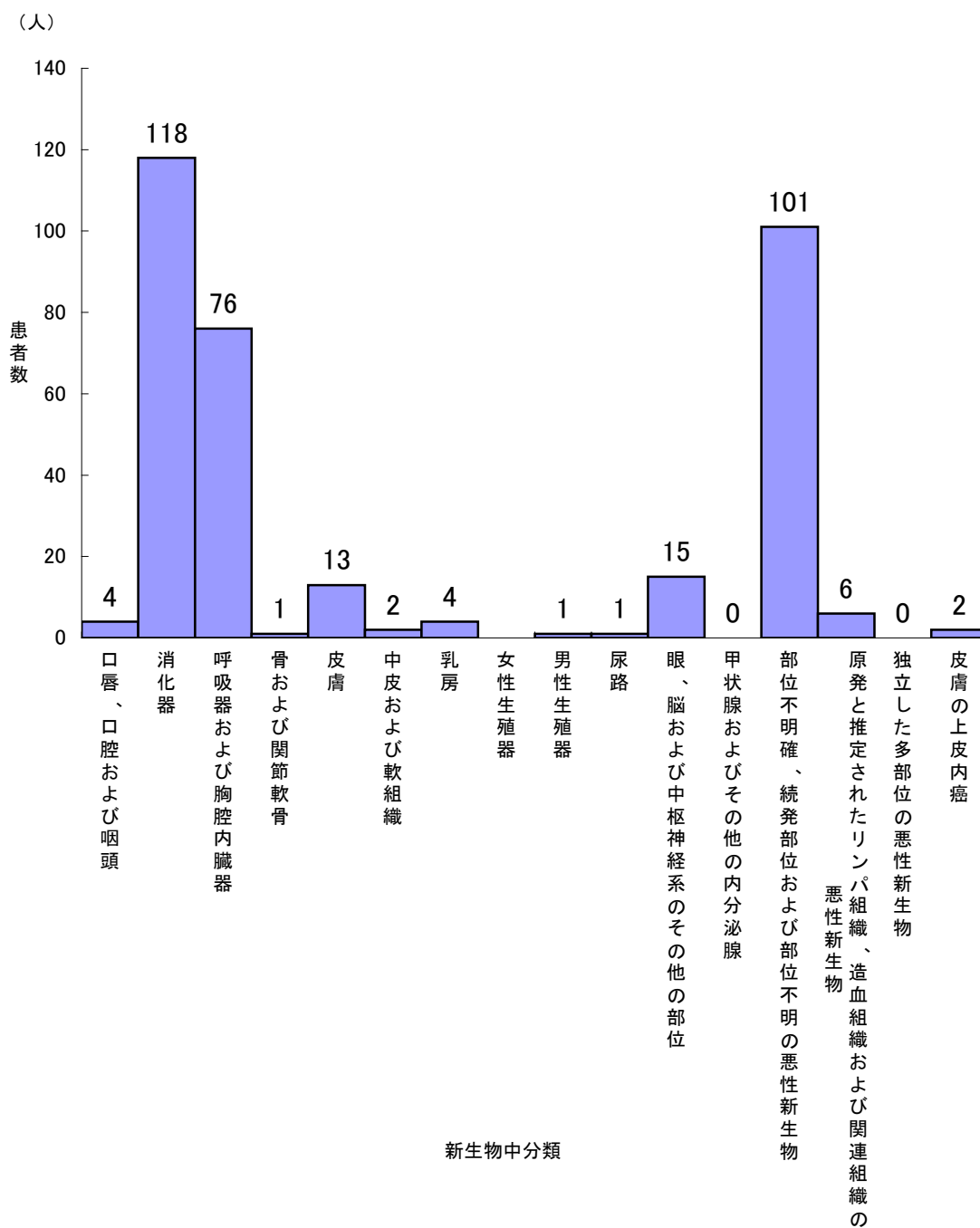


年齢階級別患者数は、「70～79歳」が994人で最も多く、続いて「80～89歳」の796人、「60～69歳」の769人となっており、順位は前年度と変わらなかった。

また60歳以上の患者のしめる割合は61.8%で、前年に比べ3.4ポイント、5年前（2002年度）に比べ16.5ポイント上昇した。

## 第6 患者数の多かった悪性新生物（延患者数）

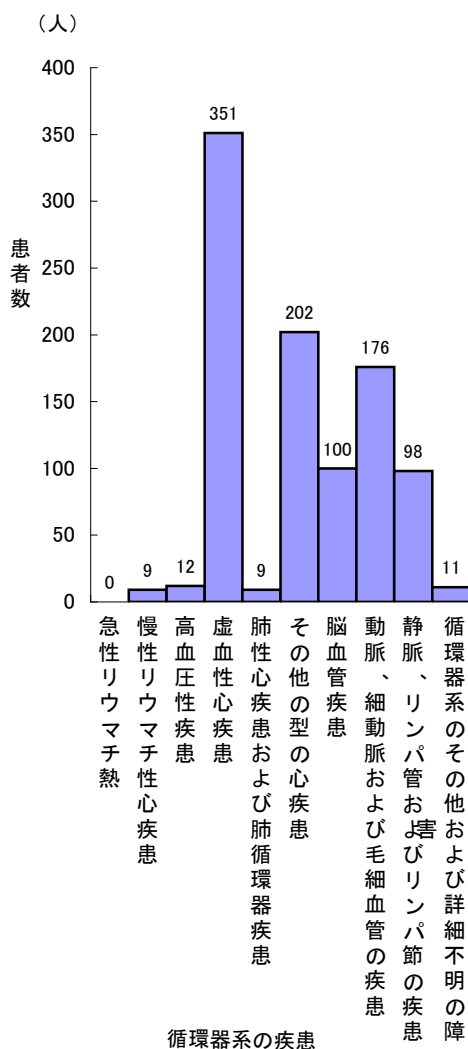
図6 患者数の多かった悪性新生物（延患者数）



悪性新生物の延患者数は、「消化器」が118人で最も多く、次いで「部位不明確、続発部位の悪性新生物」の101人、「呼吸器および胸腔内臓器」の76人の順に多く、順位は前年度と変わらなかった。

## 第7 循環器系の疾患[中分類] (延患者数)

図7 循環器系の疾患



第1表

## 循環器系の疾患

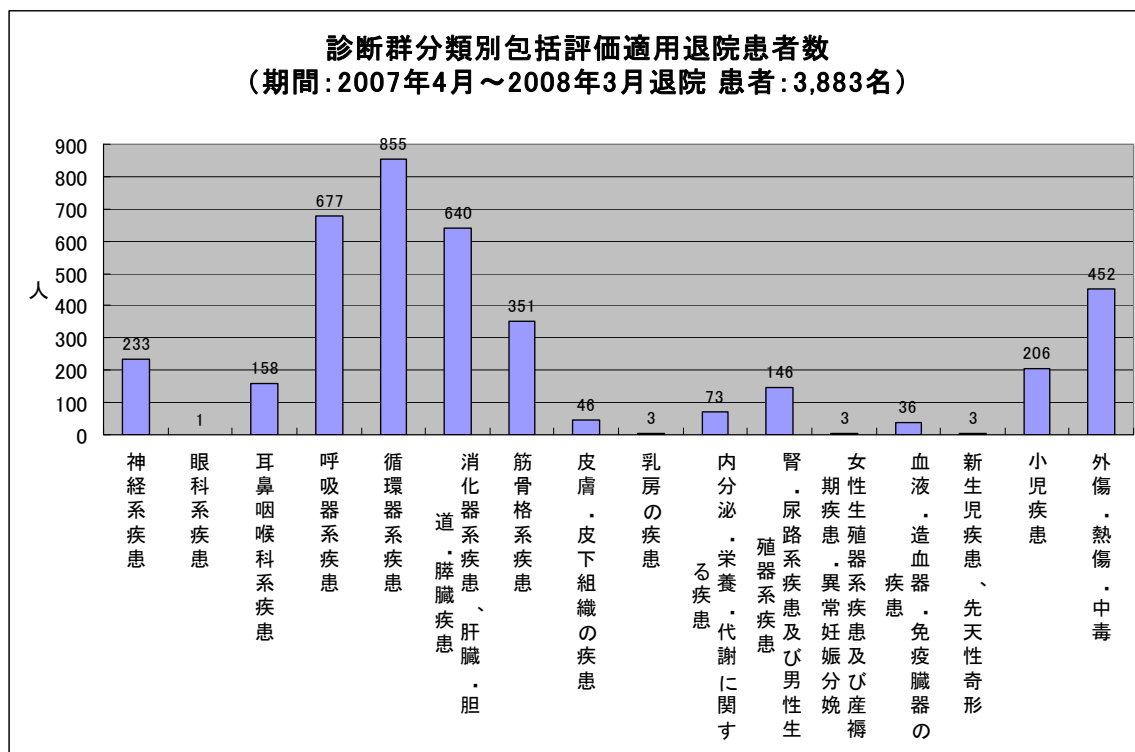
| 循環器系の疾病中分類         | 患者数(人) |        |
|--------------------|--------|--------|
|                    | 2007年度 | 2006年度 |
| 急性リウマチ熱            | 0      | 0      |
| 慢性リウマチ性心疾患         | 9      | 4      |
| 高血圧性疾患             | 12     | 14     |
| 虚血性心疾患             | 351    | 303    |
| 肺性心疾患および肺循環器疾患     | 9      | 4      |
| その他の型の心疾患          | 202    | 162    |
| 脳血管疾患              | 100    | 98     |
| 動脈、細動脈および毛細血管の疾患   | 176    | 183    |
| 静脈、リンパ管およびリンパ節の疾患  | 98     | 62     |
| 循環器系のその他および詳細不明の障害 | 11     | 12     |

循環器系疾患の延患者数は、狭心症・心筋梗塞など「虚血系心疾患」が 627 人で前年度に比べ 48 人 (0.27 ポイント) の増加、不整脈・心不全など「その他の型の心疾患」が 202 人で 40 人 (1.63 ポイント) の増加、「動脈、細動脈および毛細血管の疾患」は 176 人で 7 人 (▲3.55 ポイント) の減少となった。脳血管疾患は前年度と差は見られな



## 3.3 DPC統計

## (3) DPC統計

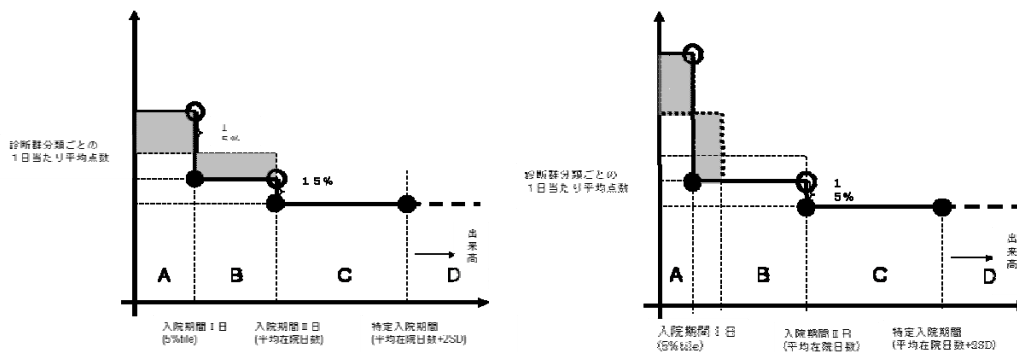


| MDC2 | MDC2名称                 | 患者数 |
|------|------------------------|-----|
| 01   | 神経系疾患                  | 233 |
| 02   | 眼科系疾患                  | 1   |
| 03   | 耳鼻咽喉科系疾患               | 158 |
| 04   | 呼吸器系疾患                 | 677 |
| 05   | 循環器系疾患                 | 855 |
| 06   | 消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患      | 640 |
| 07   | 筋骨格系疾患                 | 351 |
| 08   | 皮膚・皮下組織の疾患             | 46  |
| 09   | 乳房の疾患                  | 3   |
| 10   | 内分泌・栄養・代謝に関する疾患        | 73  |
| 11   | 腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患      | 146 |
| 12   | 女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩 | 3   |
| 13   | 血液・造血器・免疫臓器の疾患         | 36  |
| 14   | 新生児疾患、先天性奇形            | 3   |
| 15   | 小児疾患                   | 206 |
| 16   | 外傷・熱傷・中毒               | 452 |

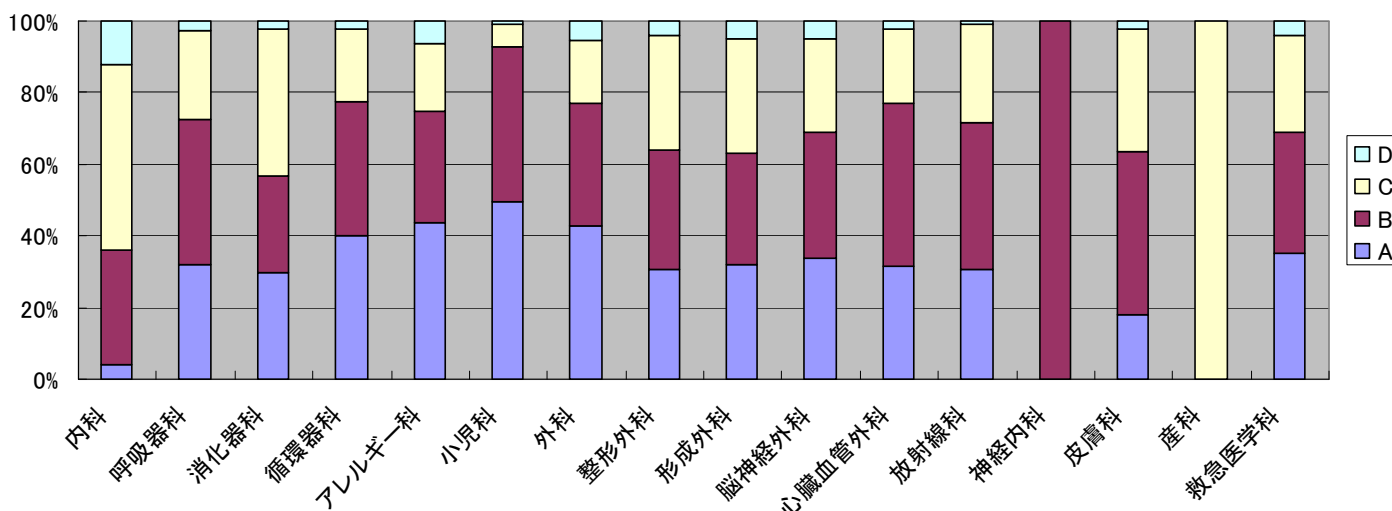
総計： 3,883

診断群分類別包括評価適用退院患者数(期間:2007年4月～2008年3月退院 患者:3,883名)

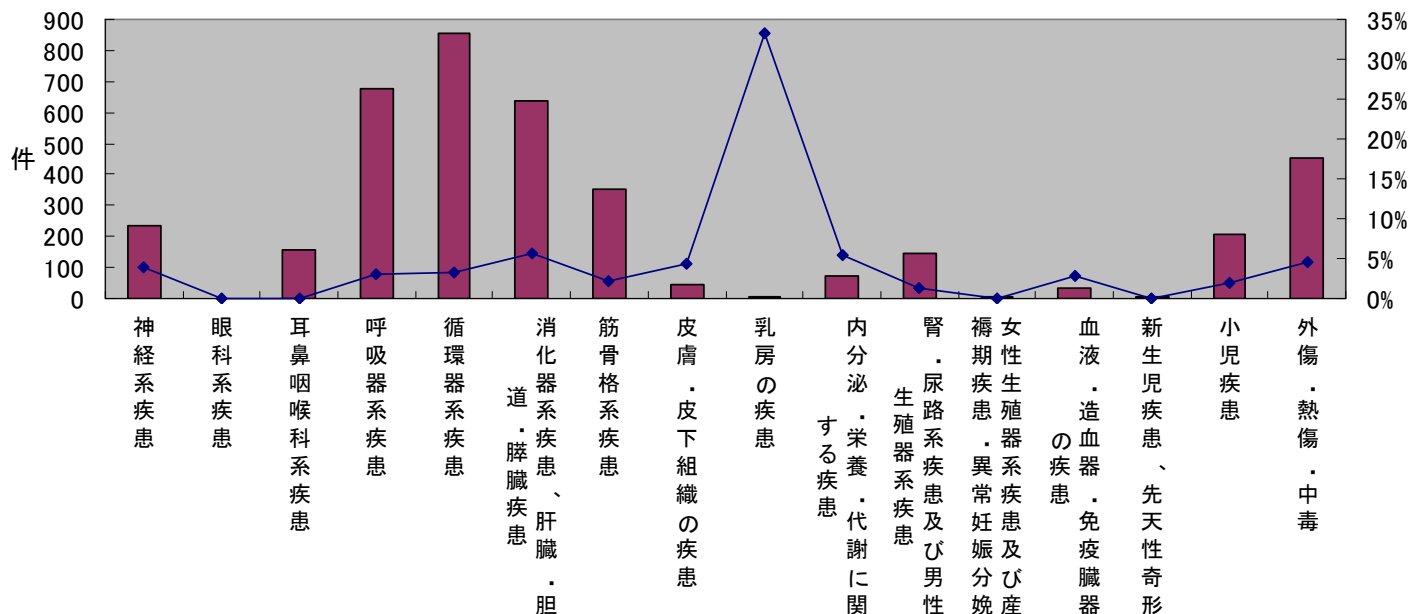
A:入院期間Ⅰ未満 B:入院期間Ⅰ以上Ⅱ未満 C:入院期間Ⅱ以上特定入院期間まで D:包括算定期間終了後

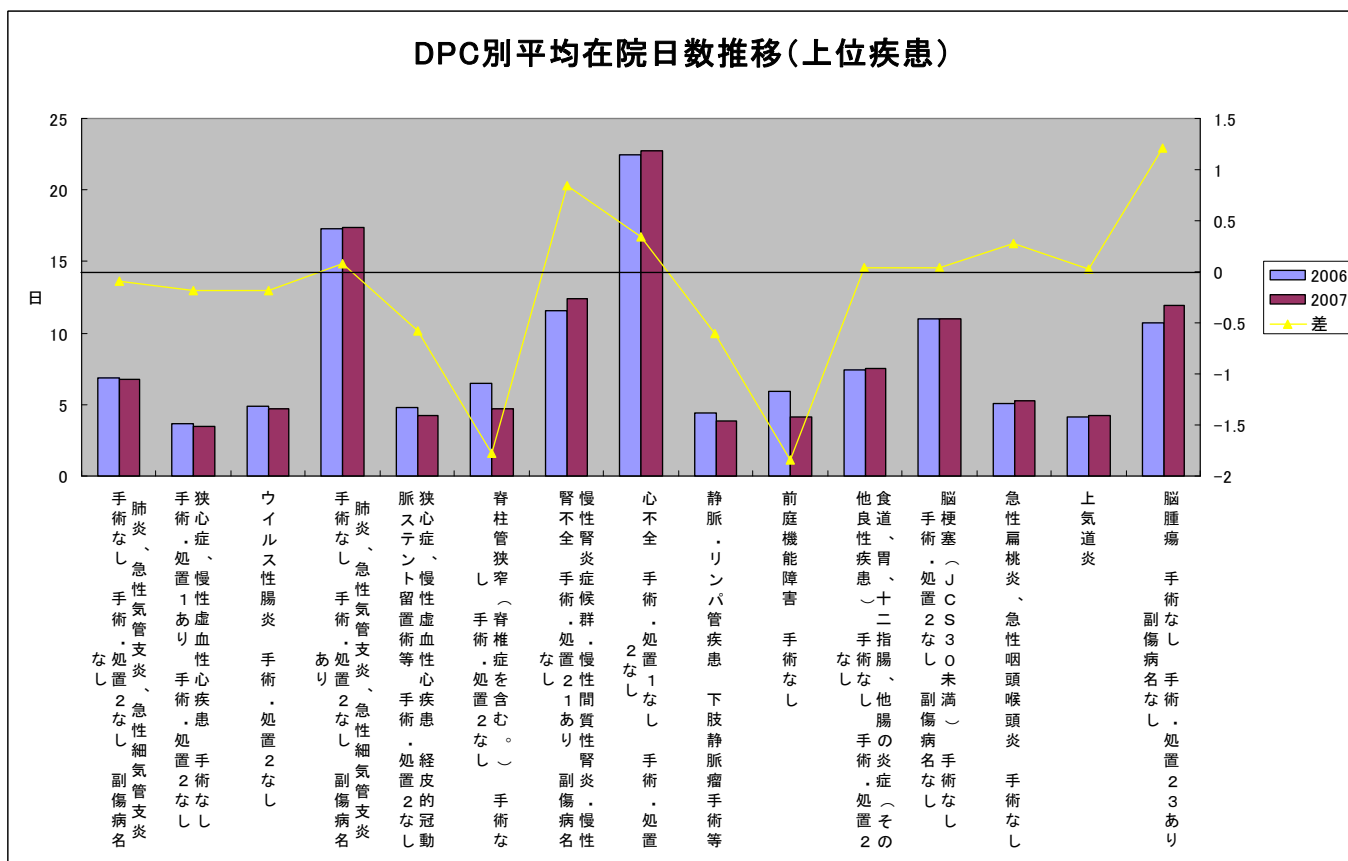
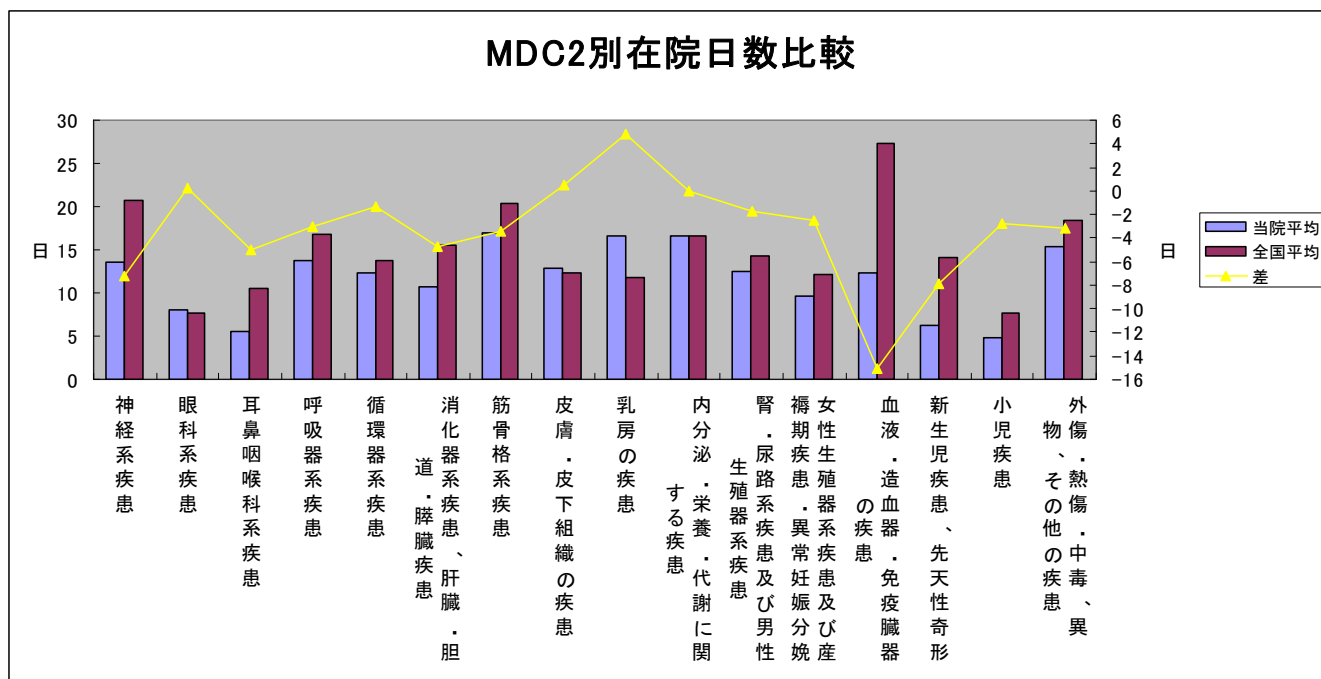


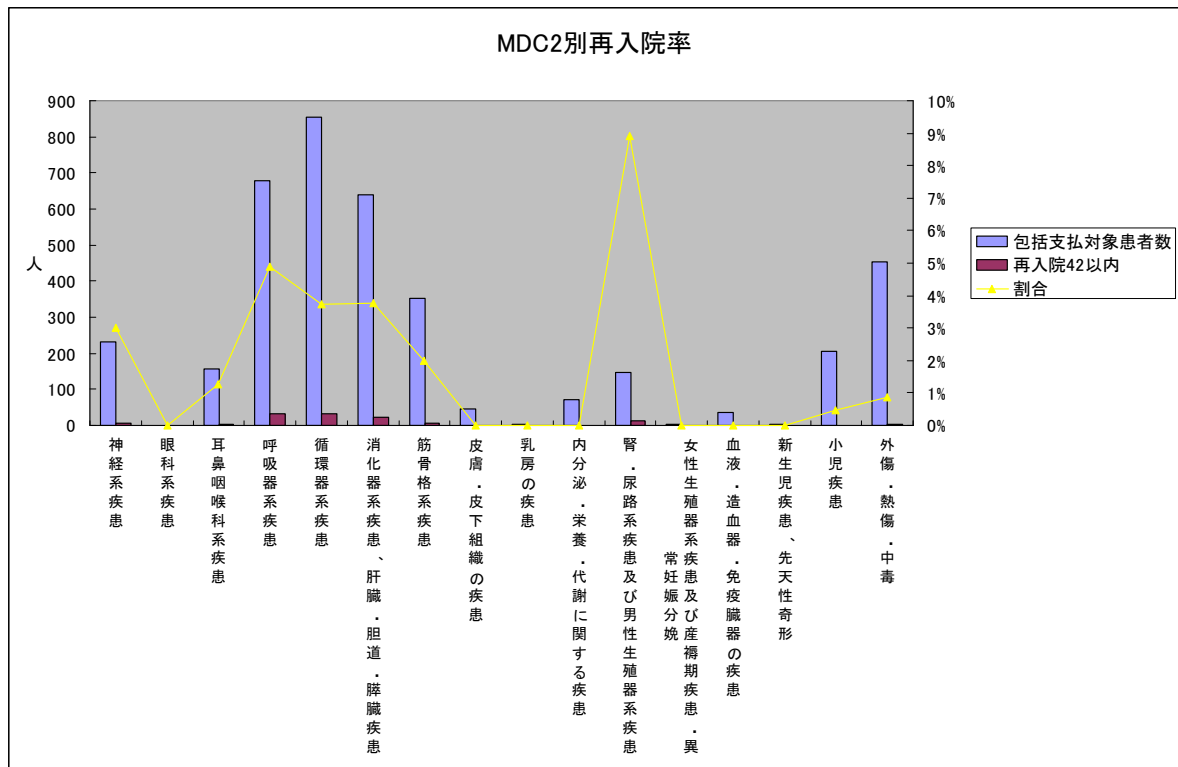
### 診療科別入院期間状況



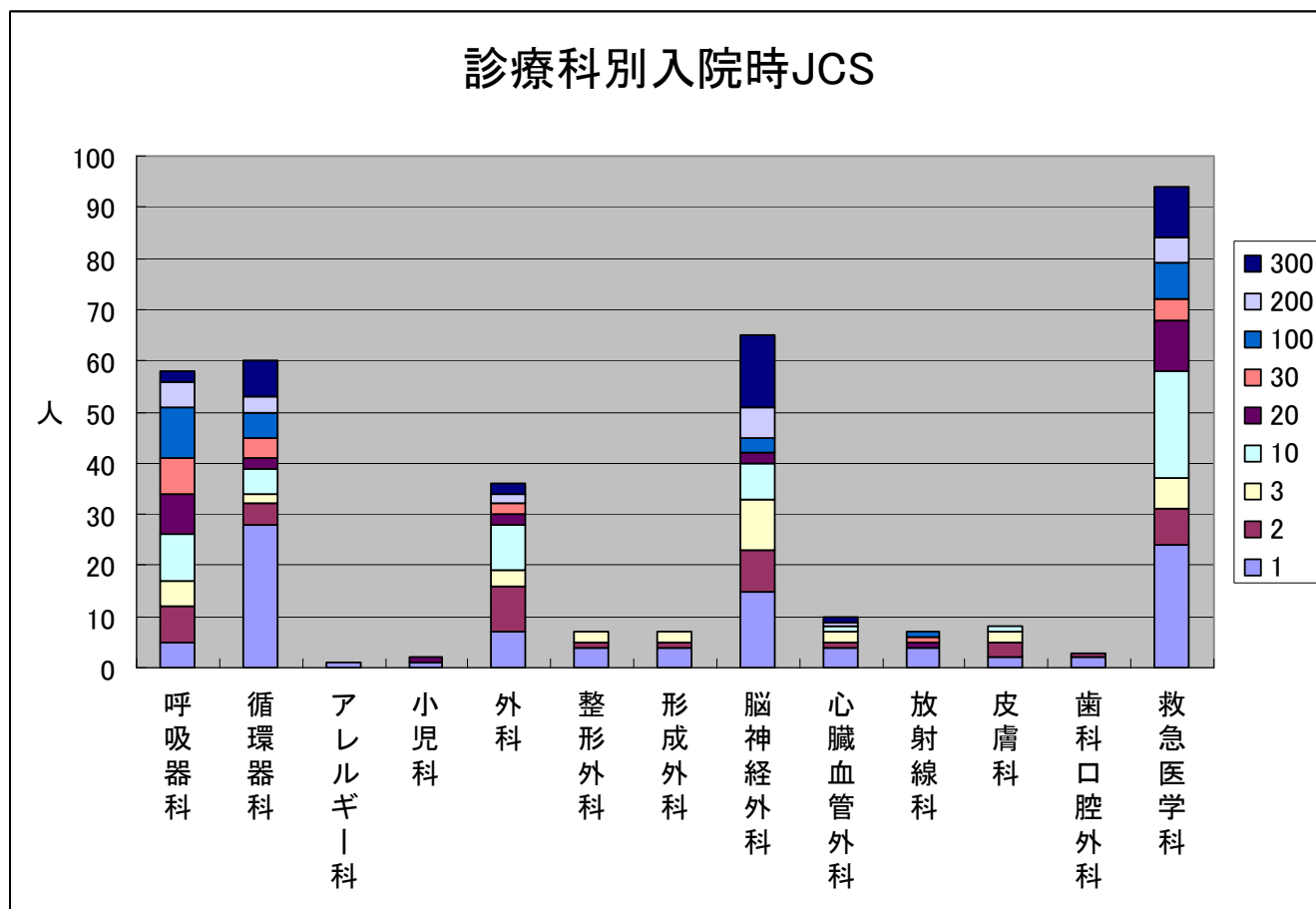
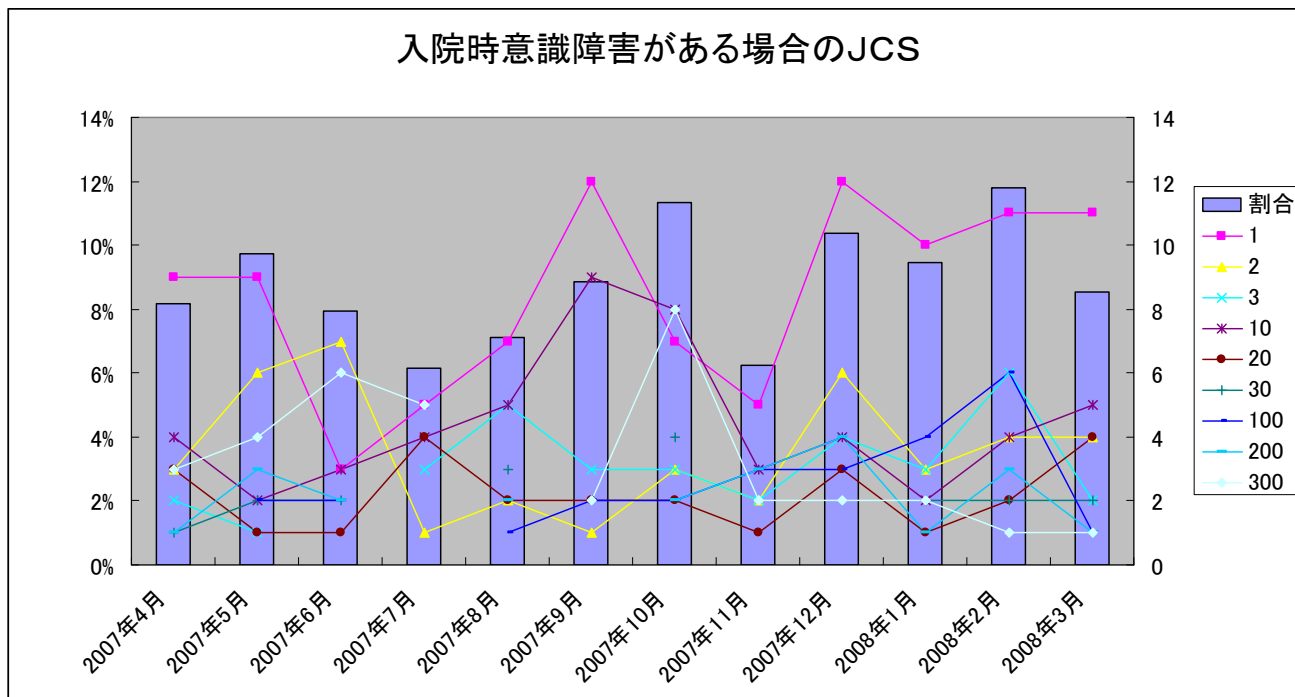
### アウトライヤー(包括算定期間超え)



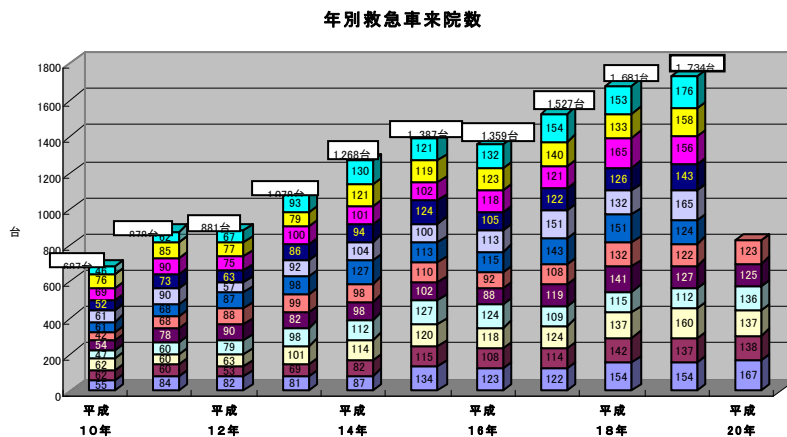
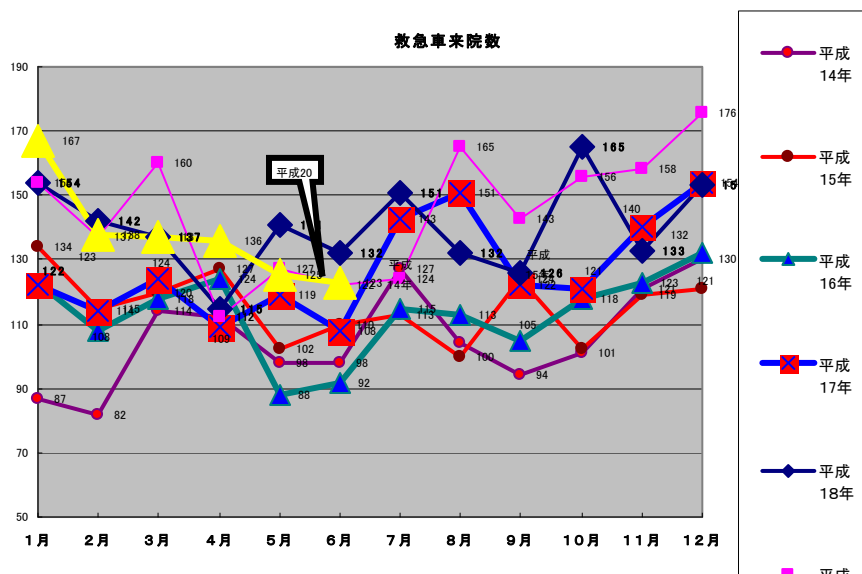




| MDC2名                  | 包括支払対象患者数 | 再入院42日以内 | 割合 |
|------------------------|-----------|----------|----|
| 神経系疾患                  | 233       | 7        | 3% |
| 眼科系疾患                  | 1         | 0        | 0% |
| 耳鼻咽喉科系疾患               | 158       | 2        | 1% |
| 呼吸器系疾患                 | 677       | 33       | 5% |
| 循環器系疾患                 | 855       | 32       | 4% |
| 消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患      | 640       | 24       | 4% |
| 筋骨格系疾患                 | 351       | 7        | 2% |
| 皮膚・皮下組織の疾患             | 46        | 0        | 0% |
| 乳房の疾患                  | 3         | 0        | 0% |
| 内分泌・栄養・代謝に関する疾患        | 73        | 0        | 0% |
| 腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患      | 146       | 13       | 9% |
| 女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩 | 3         | 0        | 0% |
| 血液・造血器・免疫臓器の疾患         | 36        | 0        | 0% |
| 新生児疾患、先天性奇形            | 3         | 0        | 0% |
| 小児疾患                   | 206       | 1        | 0% |
| 外傷・熱傷・中毒               | 452       | 4        | 1% |



### 3.4 救急搬送患者統計



#### 院内で決めた疾病群

- ・ 交通外傷
- ・ 骨折、外傷
- ・ 呼吸器 . . . . . 肺炎、呼吸不全、喘息、気胸、溺水
- ・ 循環器 . . . . . 不整脈、心不全、AP、AMI、失神、意識消失
- ・ 脳神経外科 . . . . . 脳卒中、めまい、けいれん、てんかん発作、メニエル
- ・ 精神科 . . . . . 過呼吸、ヒステリー、自律
- ・ 中毒 . . . . . CO中毒、薬物、急性アルコール、ガス
- ・ 消化器系 . . . . . 急性腹症、消化管系疾患
- ・ 泌尿器 . . . . . 血尿、尿管結石
- ・ その他 . . . . . 高血圧による鼻出血、目、鼻出血
- ・ 皮膚科 (形成) . . . . . 熱傷

低血糖、高血糖発作=その他  
 腰椎、頸椎ヘルニア=整形 (交通外傷以外)

(図：救急車疾患別患者数.xls)

3.5 手術・処置 統計

|      |         |              |    |
|------|---------|--------------|----|
| マキシロ | 顎骨形成術   |              | 39 |
|      | 顔面骨骨折   | 骨折観血の手術      | 16 |
|      |         | 骨内異物(挿入物)除去術 | 7  |
|      |         | 骨移植術         | 3  |
|      | 顎、口腔内腫瘍 | 腫瘍、嚢胞摘出術     | 8  |
|      | 口蓋、口唇裂  | 口蓋裂形成術       | 5  |
|      |         | 口唇裂形成術       | 4  |
| その他  |         | 8            |    |

|             |      |                     |     |
|-------------|------|---------------------|-----|
| 形成外科<br>皮膚科 | 皮膚皮下 | 皮膚切開術               | 18  |
|             |      | 皮膚皮下腫瘍切除術 粘膜下血管腫摘出術 | 130 |
|             |      | ガングリオン摘出術           | 3   |
|             |      | 皮膚悪性腫瘍切除術           | 16  |
|             |      | 瘢痕拘縮形成手術            | 3   |
|             | 骨    | 植皮術 皮弁作成術           | 47  |
|             |      | 骨搔爬術                | 10  |
|             |      | 骨折観血の手術             | 2   |
|             |      | 腐骨摘出術               | 8   |
|             |      | 骨長調整手術              | 1   |
|             | 四肢   | 四肢切断術               | 20  |
|             |      | 再接合術                | 1   |
|             | 指    | 断端形成術               | 25  |
|             |      | 陥入爪手術               | 4   |
|             | 眼瞼   | 眼瞼下垂手術              | 4   |
| その他         |      | 39                  |     |

|          |         |                   |       |
|----------|---------|-------------------|-------|
| 外科       | 胃・十二指腸  | 開腹 胃全摘術           | 2     |
|          |         | 開腹 胃切除術           | 4     |
|          |         | 縫合術               | 3     |
|          |         | 胃腸吻合術             | 1     |
|          |         | 腹腔鏡下胆嚢摘出術         | 25    |
|          | 胆嚢      | 開腹 胆嚢摘出術          | 1     |
|          |         | その他               | 1     |
|          |         | 腹腔鏡下虫垂切除術         | 31    |
|          | 虫垂      | 開腹 虫垂切除術          | 1     |
|          |         | 腹腔鏡下腸管癒着剥離術       | 2     |
|          | 小腸 腹膜   | 小腸切除術             | 4     |
|          |         | 腹膜炎手術             | 2     |
|          |         | その他               |       |
|          |         | 結腸 直腸             | 結腸切除術 |
|          | 結腸 直腸   | 人工肛門造設術           | 2     |
|          |         | 腹腔鏡(補助)下直腸低位前方切除術 | 7     |
|          |         | 直腸切除切断術           | 1     |
|          |         | その他               | 4     |
|          |         | 痔核手術              | 6     |
|          | 肛門      | 肛門周囲膿瘍切開術         | 3     |
|          |         | 腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術      | 14    |
|          | 鼠径ヘルニア  | 開腹 鼠径ヘルニア手術       | 10    |
|          |         | 腹壁癒着ヘルニア手術        | 3     |
| その他のヘルニア | 胸腔下肺切除術 | 3                 |       |
| 肺        | 肺悪性腫瘍手術 | 1                 |       |
|          | その他     | 12                |       |

|                |         |          |    |
|----------------|---------|----------|----|
| 心臓血管外科<br>循環器科 | 冠動脈     | 冠動脈バイパス術 | 15 |
|                | 心臓弁     | 弁膜症手術    | 23 |
|                |         | 心臓その他    | 1  |
|                | 胸部大動脈   |          | 7  |
|                | 腹部大動脈   |          | 9  |
|                | 末梢血管    | バイパス移植術  | 14 |
|                |         | 血栓除去術など  | 13 |
|                | ペースメーカー | 新規       | 6  |
|                |         | 電池交換     | 2  |
|                | 静脈      | 静脈瘤手術など  | 25 |
| シャント関連         |         | 14       |    |
| その他            |         | 7        |    |

|       |          |             |    |
|-------|----------|-------------|----|
| 整形外科  | 筋、腱      | 腱鞘切開術       | 7  |
|       |          | 腱縫合術        | 2  |
|       | 骨折、脱臼    | 経皮的鋼線刺入固定術  | 5  |
|       |          | 観血の手術       | 93 |
|       |          | 関節脱臼観血の整復術  | 5  |
|       |          | 抜釘          | 48 |
|       | 関節鏡      | その他         | 5  |
|       |          | 滑膜切除術       | 8  |
|       |          | 半月板切除術      | 16 |
|       |          | 靭帯断裂縫合術     | 1  |
|       |          | 靭帯断裂形成術     | 2  |
|       | 人工関節     | その他         | 10 |
|       |          | 関節形成術       | 13 |
|       |          | 人工骨頭挿入術     | 25 |
|       |          | 人工関節置換術(肘)  | 1  |
|       |          | 人工関節置換術(股)  | 11 |
|       |          | 人工関節置換術(膝)  | 29 |
|       | 脊椎(内視鏡下) | 人工関節再置換術(股) | 6  |
|       |          | 人工関節再置換術(膝) | 7  |
|       |          | 椎弓切除術       | 36 |
|       |          | 椎間板摘出術      | 53 |
|       |          | 脊椎骨盤腫瘍摘出術   |    |
|       | 脊椎       | 椎椎固定術       | 5  |
| 椎弓形成術 |          | 3           |    |
| 椎弓切除術 |          | 7           |    |
| 椎椎固定術 |          | 37          |    |
| 腫瘍摘出術 |          | 3           |    |
| その他   |          | 13          |    |

|       |         |            |   |
|-------|---------|------------|---|
| 脳神経外科 | 減圧      | 穿頭血腫ドレナージ術 | 6 |
|       |         | 減圧開頭術      | 1 |
|       | 血腫除去    | 血腫除去       | 9 |
|       |         | シャント       | 2 |
|       | 頭蓋、硬膜形成 | 頭蓋骨形成術     | 3 |
| その他   |         | 5          |   |

|             |           |                  |     |
|-------------|-----------|------------------|-----|
| 循環器科        | 心臓カテーテル   | 冠動脈造影(CAG)       | 404 |
|             |           | 経皮的冠動脈形成術(PCI)   | 218 |
|             | 末梢動脈カテーテル | 経皮的動脈形成術         | 113 |
|             |           | 末梢動脈造影           | 59  |
|             | その他       | シャント血管形成術(VAIVT) | 73  |
| 下大静脈フィルター留置 |           | 15               |     |

## サイバーナイフ治療件数

|     |                   |    |
|-----|-------------------|----|
| 頭蓋内 | 転移性脳腫瘍            | 44 |
|     | 神経膠芽腫             | 9  |
|     | 神経膠腫              | 5  |
|     | 血管周囲腫             | 2  |
|     | その他頭蓋内腫瘍          | 8  |
| 頭頸部 | 舌癌                | 2  |
|     | 上咽頭癌              | 2  |
|     | 中耳・外耳癌            | 2  |
|     | その他(副鼻腔・耳下腺・リンパ腫) | 3  |
|     | 頸部リンパ節転移          | 4  |
|     | 転移性骨腫瘍            | 3  |

## 内視鏡件数

## 【全体】

|    |         |      |
|----|---------|------|
| 上部 | 胃・十二指腸  | 1362 |
| 下部 | 直腸      | 3    |
|    | S状結腸    | 18   |
|    | 下行・横行結腸 | 12   |
|    | 盲腸・上行結腸 | 492  |
|    | 気管支     | 79   |

## 【詳細】

|           |                |    |
|-----------|----------------|----|
| 食道・胃・十二指腸 | 異物摘出術          | 4  |
|           | 食道狭窄拡張術        | 1  |
|           | 静脈瘤硬化療法・結紮術    | 1  |
|           | 早期悪性腫瘍粘膜切除術    | 0  |
|           | ポリープ・粘膜切除術     | 2  |
|           | 止血術            | 20 |
|           | 胃瘻造設術          | 78 |
|           | 胃瘻閉鎖術          | 1  |
|           | 胃瘻交換           | 28 |
| 膵・胆管      | 膵・胆管造影法        | 16 |
|           | 胆道碎石・摘出術       | 7  |
|           | 胆道拡張・乳頭切開・ステント | 20 |
| 結腸        | 早期悪性腫瘍粘膜切除術    | 7  |
|           | ポリープ・粘膜切除術     | 60 |
|           | 止血術            | 1  |
|           | 気管支洗浄          | 15 |
| 気管支       | 経気管支肺生検法       | 26 |

## 救急車搬入患者

|       |     |
|-------|-----|
| CPA   | 56  |
| 交通外傷  | 328 |
| 骨折、外傷 | 195 |
| 呼吸器   | 142 |
| 循環器   | 232 |
| 脳神経外科 | 175 |
| 精神科   | 66  |
| 中毒    | 55  |
| 消化器系  | 203 |
| 泌尿器   | 40  |
| その他   | 171 |
| 整形    | 40  |
| 婦人科   | 5   |
| 小児科   | 18  |

## 放射線科検査数

|      |       |
|------|-------|
| 一般   | 17633 |
| CT   | 6062  |
| MRI  | 1688  |
| 透視   | 346   |
| RI   | 247   |
| マンモ  | 35    |
| パノラマ | 944   |
| 骨塩量  | 101   |
| 健診   | 461   |
| PCI  | 194   |
| PTA  | 176   |
| CAG  | 390   |
| DSA  | 125   |

## 紹介患者数

|         |      |
|---------|------|
| 紹介患者数   | 463  |
| 紹介率(%)  | 72.3 |
| 逆紹介患者数  | 539  |
| 逆紹介率(%) | 72.6 |



## 3.6 退院患者統計

|             | 2007年 |       |       |       |       |       | 2008年 |       |       |       |       |       | 計      |
|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
|             | 4月    | 5月    | 6月    | 7月    | 8月    | 9月    | 10月   | 11月   | 12月   | 1月    | 2月    | 3月    |        |
| 入院患者数       | 333   | 347   | 355   | 381   | 421   | 362   | 394   | 395   | 345   | 369   | 374   | 391   | 4467   |
| 2病棟         | 92    | 104   | 103   | 101   | 91    | 94    | 94    | 109   | 75    | 83    | 84    | 105   | 1135   |
| 3病棟         | 64    | 70    | 78    | 76    | 89    | 75    | 81    | 81    | 72    | 68    | 76    | 74    | 904    |
| 4病棟         | 77    | 50    | 70    | 101   | 93    | 77    | 80    | 78    | 69    | 97    | 89    | 95    | 976    |
| 5病棟         | 85    | 109   | 88    | 94    | 136   | 107   | 122   | 111   | 108   | 110   | 113   | 105   | 1288   |
| ICU         | 15    | 14    | 16    | 9     | 12    | 9     | 17    | 16    | 21    | 11    | 12    | 12    | 164    |
| 入院患者延数      | 5,135 | 4,700 | 4,687 | 5,040 | 5,152 | 5,110 | 5,289 | 5,393 | 5,801 | 5,302 | 5,340 | 5,908 | 62,857 |
| 2病棟         | 1,306 | 1,207 | 1,187 | 1,289 | 1,348 | 1,292 | 1,353 | 1,323 | 1,492 | 1,362 | 1,345 | 1,429 | 15,933 |
| 3病棟         | 1,128 | 1,123 | 971   | 1,077 | 1,268 | 1,141 | 1,144 | 1,242 | 1,272 | 1,254 | 1,202 | 1,361 | 14,183 |
| 4病棟         | 1,155 | 898   | 925   | 1,196 | 1,298 | 1,192 | 1,368 | 1,381 | 1,389 | 1,109 | 1,294 | 1,395 | 14,600 |
| 5病棟         | 1,447 | 1,397 | 1,451 | 1,360 | 1,141 | 1,349 | 1,302 | 1,334 | 1,483 | 1,473 | 1,389 | 1,582 | 16,708 |
| ICU         | 99    | 75    | 153   | 118   | 97    | 136   | 122   | 113   | 165   | 104   | 110   | 141   | 1,433  |
| 平均病床利用率     | 74.1% | 66.0% | 67.6% | 70.4% | 71.9% | 73.7% | 73.9% | 77.8% | 81.0% | 74.0% | 79.7% | 85.3% |        |
| 2病棟(52床)    | 83.7% | 75.0% | 76.1% | 80.0% | 83.6% | 82.8% | 83.9% | 84.8% | 92.6% | 84.5% | 89.2% | 91.6% |        |
| 3病棟(55床)    | 68.4% | 66.0% | 58.8% | 63.2% | 74.4% | 69.2% | 67.1% | 75.3% | 74.6% | 73.5% | 75.4% | 82.5% |        |
| 4病棟(58床)    | 66.4% | 50.0% | 53.2% | 66.5% | 72.2% | 68.5% | 76.1% | 79.4% | 77.3% | 61.7% | 76.9% | 80.2% |        |
| 5病棟(60床)    | 80.4% | 75.0% | 80.6% | 73.1% | 61.3% | 74.9% | 70.0% | 74.1% | 79.7% | 79.2% | 79.8% | 87.9% |        |
| ICU         | 55.0% | 40.0% | 85.0% | 63.4% | 52.2% | 75.6% | 65.6% | 62.8% | 88.7% | 55.9% | 63.2% | 78.3% |        |
| 1日平均入院患者数   | 171.2 | 151.6 | 156.2 | 162.6 | 166.2 | 170.3 | 170.6 | 179.8 | 187.1 | 171   | 184.1 | 196.9 |        |
| 2病棟         | 43.5  | 38.9  | 39.6  | 41.6  | 43.5  | 43.1  | 43.6  | 44.1  | 48.1  | 43.9  | 46.4  | 47.6  |        |
| 3病棟         | 37.6  | 36.2  | 32.4  | 34.7  | 40.9  | 38    | 36.9  | 41.4  | 41    | 40.5  | 41.4  | 45.4  |        |
| 4病棟         | 38.5  | 29    | 30.8  | 38.6  | 41.9  | 39.7  | 44.1  | 46    | 44.8  | 35.8  | 44.6  | 46.5  |        |
| 5病棟         | 48.2  | 45.1  | 48.4  | 43.9  | 36.8  | 45    | 42    | 44.5  | 47.8  | 47.5  | 47.9  | 52.7  |        |
| ICU         | 3.3   | 2.4   | 5.1   | 3.8   | 3.1   | 4.5   | 3.9   | 3.8   | 5.3   | 3.4   | 3.8   | 4.7   |        |
| 退院患者数       | 344   | 338   | 355   | 381   | 407   | 381   | 383   | 358   | 404   | 325   | 370   | 392   | 4,438  |
| 2病棟         | 93    | 111   | 99    | 107   | 93    | 103   | 98    | 109   | 88    | 89    | 96    | 107   | 1,193  |
| 3病棟         | 74    | 76    | 83    | 75    | 91    | 83    | 81    | 69    | 87    | 58    | 78    | 74    | 929    |
| 4病棟         | 74    | 53    | 68    | 86    | 98    | 82    | 71    | 67    | 91    | 79    | 77    | 95    | 941    |
| 5病棟         | 99    | 94    | 102   | 110   | 119   | 112   | 129   | 107   | 135   | 95    | 114   | 116   | 1,332  |
| ICU         | 4     | 4     | 3     | 3     | 6     | 1     | 4     | 6     | 3     | 4     | 5     | 0     | 43     |
| 平均在院日数      | 14.5  | 13.1  | 12.6  | 12.7  | 12    | 13.3  | 13.1  | 13.9  | 15.5  | 14.4  | 13.9  | 14.4  |        |
| 2病棟         | 13.8  | 11.2  | 11.5  | 12.1  | 14.5  | 12.6  | 13.8  | 12.1  | 18.3  | 15.2  | 14.5  | 12.6  |        |
| 3病棟         | 15.5  | 14.7  | 11.7  | 13.9  | 13.7  | 14.2  | 13.5  | 15.8  | 16    | 18.9  | 15.4  | 17.9  |        |
| 4病棟         | 14.5  | 16.2  | 12.5  | 12.1  | 12.9  | 14.2  | 17.3  | 18.2  | 17.4  | 11.9  | 14.9  | 13.8  |        |
| 5病棟         | 15    | 12.9  | 14.2  | 12.5  | 8.5   | 12    | 9.9   | 12    | 12.2  | 13.3  | 11.8  | 14.1  |        |
| ICU         | 10.4  | 8.3   | 16.1  | 19.7  | 10.8  | 27.2  | 11.6  | 10.3  | 13.8  | 13.9  | 12.9  | 23.5  |        |
| < 退院患者 統計 > |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |        |
| 死亡数         | 14    | 9     | 16    | 13    | 9     | 13    | 15    | 13    | 16    | 16    | 17    | 13    | 164    |
| 48時間未満      | 3     | 2     | 4     | 2     | 2     | 1     | 5     | 3     | 3     | 4     | 2     | 1     | 32     |
| 48時間以降      | 11    | 7     | 12    | 11    | 7     | 12    | 10    | 10    | 13    | 12    | 15    | 12    | 132    |
| 剖検数(死産は除く)  | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 1     | 1     | 1     | 0     | 0     | 0     | 3      |
| 地域          |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |        |
| 大分県         |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |        |
| 大分市         | 297   | 288   | 299   | 304   | 332   | 329   | 318   | 304   | 342   | 279   | 302   | 314   | 3,708  |
| 白杵市         | 8     | 13    | 11    | 15    | 6     | 10    | 14    | 10    | 14    | 6     | 12    | 18    | 137    |
| 別府市         | 7     | 4     | 2     | 5     | 8     | 3     | 4     | 3     | 5     | 2     | 9     | 8     | 60     |
| 津久見市        | 3     | 3     | 3     | 8     | 5     | 6     | 6     | 6     | 3     | 6     | 5     | 5     | 59     |
| 由布市         | 2     | 2     | 5     | 3     | 4     | 3     | 4     | 4     | 3     | 4     | 1     | 6     | 41     |
| 玖珠郡         | 3     | 1     | 4     | 4     | 2     | 2     | 3     | 1     | 1     | 1     | 3     | 4     | 29     |
| 直入郡         | 0     | 0     | 0     | 1     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 1      |
| 杵築市         | 1     | 0     | 1     | 1     | 0     | 0     | 0     | 1     | 0     | 1     | 0     | 2     | 7      |
| 佐伯市         | 4     | 3     | 10    | 6     | 2     | 2     | 6     | 5     | 4     | 4     | 7     | 3     | 56     |
| 竹田市         | 1     | 2     | 1     | 3     | 3     | 4     | 3     | 3     | 3     | 3     | 2     | 4     | 32     |
| 中津市         | 2     | 4     | 0     | 0     | 2     | 3     | 3     | 2     | 6     | 3     | 1     | 3     | 29     |
| 日田市         | 0     | 2     | 2     | 2     | 1     | 1     | 0     | 1     | 0     | 1     | 0     | 1     | 11     |
| 宇佐市         | 2     | 0     | 2     | 2     | 2     | 2     | 2     | 1     | 3     | 0     | 2     | 3     | 21     |
| 速見郡         | 2     | 0     | 0     | 2     | 1     | 1     | 1     | 2     | 1     | 1     | 0     | 0     | 11     |
| 豊後高田市       | 1     | 0     | 1     | 3     | 0     | 0     | 0     | 2     | 0     | 1     | 0     | 0     | 8      |
| 日田郡         | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0      |
| 宇佐郡         | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 1     | 0     | 1      |
| 下毛郡         | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0      |
| 豊後大野市       | 4     | 5     | 4     | 9     | 13    | 4     | 2     | 6     | 9     | 6     | 7     | 10    | 79     |
| 国東市         | 1     | 1     | 2     | 0     | 4     | 2     | 1     | 0     | 1     | 1     | 1     | 0     | 14     |
| 県外          | 6     | 8     | 7     | 12    | 21    | 9     | 16    | 7     | 9     | 6     | 17    | 11    | 129    |
| 国外          | 0     | 2     | 0     | 1     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 1     | 4      |
| 不明          | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0      |
|             | 344   | 338   | 355   | 381   | 406   | 381   | 383   | 358   | 404   | 325   | 370   | 392   | 4,438  |

|         | 2007年 |     |     |     |     |     | 2008年 |     |     |     |     |     | 計    |
|---------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----|-----|-----|-----|-----|------|
|         | 4月    | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月   | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  |      |
| 年齢      |       |     |     |     |     |     |       |     |     |     |     |     |      |
| 0～9     | 32    | 19  | 18  | 22  | 24  | 21  | 24    | 32  | 40  | 13  | 18  | 27  | 290  |
| 10～19   | 8     | 17  | 7   | 15  | 26  | 18  | 14    | 7   | 10  | 12  | 15  | 19  | 168  |
| 20～29   | 12    | 16  | 18  | 14  | 17  | 17  | 21    | 14  | 20  | 17  | 17  | 18  | 201  |
| 30～39   | 13    | 13  | 17  | 17  | 24  | 27  | 24    | 20  | 22  | 17  | 13  | 20  | 227  |
| 40～49   | 19    | 17  | 20  | 25  | 33  | 20  | 22    | 21  | 19  | 19  | 29  | 21  | 265  |
| 50～59   | 36    | 39  | 55  | 50  | 58  | 44  | 54    | 44  | 45  | 30  | 48  | 40  | 543  |
| 60～69   | 67    | 57  | 55  | 81  | 70  | 47  | 50    | 63  | 74  | 59  | 79  | 67  | 769  |
| 70～79   | 78    | 76  | 84  | 79  | 75  | 99  | 91    | 78  | 93  | 78  | 72  | 91  | 994  |
| 80～89   | 68    | 72  | 63  | 61  | 64  | 71  | 66    | 68  | 62  | 61  | 63  | 77  | 796  |
| 90～     | 11    | 12  | 17  | 17  | 15  | 17  | 17    | 11  | 19  | 19  | 16  | 13  | 184  |
| 退院時在院日数 |       |     |     |     |     |     |       |     |     |     |     |     |      |
| 1～10    | 196   | 186 | 217 | 237 | 262 | 228 | 221   | 219 | 228 | 195 | 212 | 232 | 2633 |
| 11～20   | 58    | 67  | 63  | 61  | 74  | 67  | 74    | 57  | 76  | 49  | 74  | 75  | 795  |
| 21～30   | 42    | 41  | 30  | 43  | 34  | 44  | 50    | 44  | 45  | 26  | 36  | 38  | 473  |
| 31～60   | 31    | 34  | 33  | 34  | 26  | 29  | 27    | 28  | 42  | 41  | 36  | 40  | 401  |
| 61～90   | 13    | 8   | 6   | 3   | 7   | 6   | 9     | 7   | 12  | 8   | 8   | 5   | 92   |
| 91～120  | 1     | 1   | 3   | 1   | 0   | 4   | 2     | 1   | 1   | 1   | 2   | 1   | 18   |
| 121～    | 3     | 1   | 2   | 2   | 3   | 3   | 0     | 2   | 0   | 5   | 2   | 2   | 25   |
| 入院経路    |       |     |     |     |     |     |       |     |     |     |     |     |      |
| 一般外来    |       |     |     |     |     |     |       |     |     |     |     |     |      |
| 時間内     | 229   | 209 | 237 | 261 | 262 | 237 | 235   | 244 | 241 | 197 | 233 | 259 | 2844 |
| 時間外     | 21    | 38  | 38  | 36  | 43  | 39  | 41    | 35  | 43  | 31  | 31  | 42  | 438  |
| 転院      | 17    | 22  | 31  | 16  | 17  | 22  | 27    | 19  | 28  | 24  | 23  | 19  | 265  |
| 救急車     |       |     |     |     |     |     |       |     |     |     |     |     |      |
| 一般      | 68    | 60  | 37  | 52  | 74  | 71  | 66    | 49  | 77  | 58  | 70  | 59  | 741  |
| 転院      | 9     | 9   | 11  | 16  | 10  | 12  | 14    | 11  | 15  | 15  | 13  | 14  | 149  |
| 退院経路    |       |     |     |     |     |     |       |     |     |     |     |     |      |
| 自宅      | 282   | 272 | 292 | 335 | 358 | 331 | 326   | 308 | 335 | 261 | 302 | 335 | 3737 |
| 転院      | 48    | 57  | 46  | 32  | 39  | 37  | 42    | 36  | 53  | 47  | 51  | 45  | 533  |
| 死亡      | 14    | 9   | 16  | 13  | 9   | 13  | 15    | 14  | 16  | 16  | 17  | 13  | 165  |
| 自己退院    | 0     | 0   | 0   | 1   | 0   | 0   | 0     | 0   | 0   | 1   | 0   | 0   | 2    |
| 対診状況    |       |     |     |     |     |     |       |     |     |     |     |     |      |
| 皮膚科     | 12    | 14  | 12  | 13  | 9   | 9   | 15    | 13  | 14  | 19  | 17  | 11  | 158  |
| 整形外科    | 6     | 8   | 7   | 9   | 4   | 13  | 14    | 7   | 5   | 12  | 7   | 10  | 102  |
| 糖尿      | 19    | 17  | 10  | 9   | 13  | 6   | 8     | 11  | 5   | 6   | 4   | 3   | 111  |
| 外科      | 3     | 9   | 5   | 1   | 2   | 5   | 5     | 1   | 7   | 0   | 5   | 2   | 45   |
| 呼吸器内科   | 4     | 3   | 3   | 9   | 2   | 5   | 5     | 2   | 2   | 4   | 6   | 9   | 54   |
| ペイン科    | 3     | 0   | 3   | 1   | 2   | 5   | 4     | 3   | 4   | 3   | 3   | 2   | 33   |
| 産婦人科    | 0     | 1   | 1   | 0   | 0   | 0   | 1     | 2   | 2   | 0   | 0   | 0   | 7    |
| 神経内科    | 0     | 3   | 0   | 0   | 3   | 1   | 0     | 1   | 0   | 1   | 1   | 0   | 10   |
| 循環器内科   | 15    | 17  | 9   | 17  | 7   | 8   | 10    | 12  | 17  | 13  | 16  | 10  | 151  |
| 消化器内科   | 2     | 3   | 4   | 5   | 5   | 7   | 7     | 11  | 7   | 4   | 2   | 5   | 62   |
| 形成外科    | 11    | 12  | 9   | 7   | 1   | 12  | 7     | 8   | 12  | 11  | 11  | 11  | 112  |
| 胸部外科    | 1     | 0   | 0   | 1   | 1   | 0   | 0     | 1   | 1   | 0   | 0   | 0   | 5    |
| 小児科     | 0     | 0   | 0   | 1   | 1   | 1   | 3     | 2   | 3   | 2   | 2   | 8   | 23   |
| 血液内科    | 1     | 2   | 3   | 3   | 3   | 2   | 0     | 2   | 1   | 0   | 10  | 2   | 29   |
| 心臓血管外科  | 4     | 5   | 6   | 11  | 4   | 6   | 6     | 5   | 10  | 5   | 6   | 12  | 80   |
| 腎臓内科    | 8     | 4   | 4   | 4   | 4   | 11  | 9     | 4   | 7   | 5   | 4   | 11  | 75   |
| 脳外科     | 8     | 4   | 7   | 5   | 4   | 8   | 5     | 4   | 8   | 1   | 5   | 6   | 65   |
| 眼科(院外)  | 0     | 1   | 0   | 1   | 2   | 2   | 0     | 0   | 0   | 1   | 1   | 1   | 9    |
| 放射線科    | 1     | 1   | 0   | 1   | 0   | 0   | 1     | 1   | 4   | 1   | 3   | 3   | 16   |
| 救急科     | 1     | 2   | 0   | 0   | 0   | 1   | 0     | 2   | 0   | 0   | 2   | 1   | 9    |
| 泌尿器(院外) | 0     | 1   | 0   | 0   | 1   | 0   | 0     | 0   | 1   | 1   | 0   | 1   | 5    |
| 耳鼻科(院外) | 0     | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0     | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0    |
| マキシロ    | 1     | 3   | 1   | 6   | 6   | 3   | 2     | 3   | 4   | 8   | 8   | 5   | 51   |

#### 4. 診療部活動

##### <理念>

患者様を中心に、チーム医療に関わる、全ての英知を結集し、最良の医療サービスを提供します

- 1 敬和の精神にのっとり、常に患者さん一人一人に宿る、生命の尊厳に思いを致す。
- 2 チーム医療を率先し、患者さんに暖かい医療を提供する。
- 3 最新かつ質の高い高度医療を提供するために、常に新しい知識・技術を習得する。

##### 4.1 分子共鳴研究所

###### 1. 概要、構成、スタッフ：

岡宗由（会長）が、分子波動共鳴法により統合代替医療研究室において行っています。

## 2. 2008年度目標：

がんに対する診断を行っていきます。

## 3. 学会発表：

2007/4/14-15 岡宗由 第17回BDORT医学会 東京 BDORT法による環境汚染と人体障害の診断と治療について

## 4.2 外科

### 1. 2007年度実績：

入院患者数 743人

内訳

| 病名            | 集計 | 病名       | 集計  |
|---------------|----|----------|-----|
| 食道の悪性新生物      | 2  | 結腸の悪性新生物 | 35  |
| 食道胃接合部裂傷出血症候群 | 4  | 結腸の良性新生物 | 43  |
| 食道炎を伴う胃食道逆流症  | 6  | 結腸の憩室性疾患 | 22  |
| 胃の悪性新生物       | 31 | 急性虫垂炎    | 54  |
| 胃の良性新生物       | 2  | 直腸の悪性新生物 | 16  |
| 胃腸出血          | 24 | 内痔核      | 7   |
| 胃潰瘍           | 23 | 腸管感染症    | 81  |
| 十二指腸潰瘍        | 8  | 腹膜の悪性新生物 | 2   |
| 肝の悪性新生物       | 36 | 腹壁ヘルニア   | 2   |
| 肝炎            | 1  | 急性腹膜炎    | 12  |
| 肝不全           | 14 | イレウス     | 40  |
| アルコール性肝疾患     | 8  | そけいヘルニア  | 29  |
| 胆管の悪性新生物      | 4  | 大腿ヘルニア   | 2   |
| 胆石症           | 47 | 乳房の悪性新生物 | 3   |
| 胆のう炎          | 6  | 外傷       | 8   |
| 胆管炎           | 7  | その他      | 141 |
| 膵の悪性新生物       | 3  |          |     |
| 膵の良性新生物       | 4  |          |     |
| 急性膵炎          | 10 |          |     |
| 慢性膵炎          | 6  |          |     |

## 4.3 救急科

### 1. 概要、構成、スタッフ：

救急科部長：姫野浩毅（救急科専門医）

救急科医長：姫野信治（救急科専門医・日本外科学会専門医・日本消化器内視鏡学会専門医・日本消化器病学会専門医・日本消化器外科学会認定医）

### 2. 2008年度目標：

2007年度実績の維持

プライマリーケアの場としての研修医教育の充実

蘇生法ガイドライン2005の啓蒙

ERシステムの確立

ERでのPCPS導入検討

### 3. 2007 年度実績：

救急車受入台数 1725 台  
CPA 搬入 62 人  
救急科入院数 人 平均在院日数 日

### 4. 学会発表：

2007/11/11 馬場治恵 第25回大分救急医学会学術集会 大分 当院BLS研修の取り組み～現状と問題点～  
2007/11/11 姫野浩毅 第25回大分救急医学会学術集会 大分 当院ERにおけるエアウェイスコープの使用経験  
2007/11/29 姫野信治 第69回日本臨床外科学会総会 横浜 当院におけるマムシ咬傷12例の検討  
2008/03/30 田中とも 第26回大分救急医学会・談話会 大分 当院救急科における廃用症候群患者の現状とリハビリテーションの課題  
2008/03/30 香川敬子 第26回大分救急医学会・談話会 大分 ウォークイン患者のトリアージについての取り組み＝重症化する症状を見逃さない為に、受付事務とのコラボレーション＝座長  
2007/11/11 姫野浩毅 第25回大分救急医学会学術集会 シンポジウム  
世話人  
2007/11/11 第25回大分救急医学会学術集会

### 5. 実習生受入状況

大分大学医学部 2名

#### 4.4 形成外科

##### 1. 概要、構成、スタッフ：

一般に「外科系診療科」は、(1)生命を救うこと(救命)、(2)痛みを除去すること(除痛)、(3)機能を回復すること(機能回復)、加えて(4)社会生活の質(QOL: quality of life)を向上させることを目的に、手術的治療を行います。この中で、形成外科は主として、機能回復とQOLの向上を目的とする専門外科です。生まれつきの、またはけがや癌などで変形したり失われた体の表面や骨の異常を、機能の回復のみならず形も正常に近い状態に再建し、QOLの向上に貢献するために治療を行っています。

形成外科で治療を受けた方々が、笑顔で再び社会生活に復帰してゆく姿を見ることが、形成外科を専門とするわたしたちの最高の喜びです。

本院では創傷ケアセンター、マキシロフェイシャルユニットという特殊診療部門2つの運営にも携わっております。

なお、形成外科の具体的な治療対象疾患については、下記の通りです。

1. 新鮮熱傷、2. 顔面骨骨折および顔面軟部組織損傷、3. 唇裂・口蓋裂、4. 手、足の先天異常、外傷、5. その他の先天異常、6. 母斑、血管腫、良性腫瘍、7. 悪性腫瘍およびそれに関連する再建、8. 癬痕、癬痕拘縮、肥厚性癬痕、ケロイド、9. 褥瘡、難治性潰瘍、10. 美容外科

形成外科部長：澁谷博美(創傷ケアセンター長兼務)

形成外科部長：古川雅英(マキシロフェイシャルユニット部長兼務)

##### 2. 2008 年度目標：

1. 創傷ケアセンター新患者数 70 (64)  
2. 手術数 入院手術 2007+10 を予定(不明)

外来手術 2007+10 を予定 (不明)

### 3. 2007 年度実績 :

1. 創傷ケアセンター新患数 64
2. 手術数
 

|      |    |
|------|----|
| 入院手術 | 不明 |
| 外来手術 | 不明 |

### 4. 学会発表 :

- 2007/4/11-13 第 50 回日本形成外科学会総会・学術集会 (東京) オールオンフォー (All on 4) によるアンチエイジング
- 2007/5/26 第 4 回日本褥瘡学会九州地方会 (大分) 硬膜外膿瘍を来たした仙骨部褥創の一例
- 2007/7/3 第 46 回大分形成外科懇話会 (クラブ) (大分) 顎裂部骨移植の再手術の経験
- 2007/11/24 第 47 回大分形成外科懇話会 (クラブ) (大分) 前頭骨、鼻篩骨骨折の 1 例
- 2008/2/16-17 第 5 回日本フットケア学会 (神戸) バージャー病による難治性潰瘍の 2 症例
- 2007/10/21 第 19 回小児口腔外科学会 (小倉) 出生から口蓋形成術までの処置と管理特に Hotz-plate の活用
- 2007/6/8-9 第 31 回日本リンパ学会総会 (仙台) マウス顎顔面組織におけるリンパ管の微細分布
- 2008/1/18 第 8 回大分顎変形症研究会 (大分) 顎裂骨移植の検討
- 2008/1/18 第 8 回大分顎変形症研究会 (大分) 下顎非対称に対する、オトガイ形成術の適応
- 2008/2/9-10 第 6 回日本フットケア学会 (東京) 透析患者に発生した Blue toe 症候群の 3 例
- 2008/2/29-31 九州矯正歯科学会 (長崎) 下顎枝矢状分割術を行った I 型糖尿病合併下顎前突症の 1 例
- 2008/2/29-31 九州矯正歯科学会 (長崎) 安全な顎矯正手術に対する取り組み 第 1 報
- 2008/2/29-31 九州矯正歯科学会 (長崎) 下顎骨形成術に対する希釈式自己血輸血の検証
- 2008/3/4 大分形成懇話会 (大分) 上顎骨骨折治療後に下眼瞼外反を来たした 1 例

### 5. 実習生受入状況 :

大分大学から 2 名

#### 4.5 呼吸器科

##### 1. 概要、構成、スタッフ :

医師 1 名

##### 2. 2007 年度実績 :

H19 年度入院患者数 503 人 (うち救急搬送 94 人)

|          |     |
|----------|-----|
| 肺炎気管支炎   | 153 |
| 嚥下性肺炎    | 52  |
| その他の感染症  | 60  |
| 悪性新生物    | 83  |
| 間質性肺疾患   | 15  |
| 慢性閉塞性肺疾患 | 16  |
| 喘息       | 20  |
| 慢性呼吸不全   | 6   |
| 気胸       | 16  |
| 睡眠時無呼吸   | 20  |
| その他      | 62  |

院内研修実施 : COPD の病態と治療 ~ 呼吸器学会 COPD ガイドラインをふまえて ~

### 3. 学会発表：

2007/11/22 葦原義典 第 59 回日本呼吸器学会九州地方会 別府 喘息の既往がなく繰り返す肺炎にて発見された ABPA の一例

#### 4.6 歯科口腔外科（マキシロフェイシャルユニット）

##### 1. 概要、構成、スタッフ：

歯科医師 3 名

日本口腔外科学会専門医・指導医 1 名

日本口腔外科学会専門医 1 名

日本矯正歯科学会認定医・指導医 1 名

歯科衛生士 4 名

歯科技工士 1 名

看護師 2 名

##### 2. 2008 年度目標：

診療目標

顎変形症年間手術件数目標：50 件

自由診療年間目標額：1 億円

All on 4 インプラント年間手術件数：30 件(4500 万円)

学会発表など

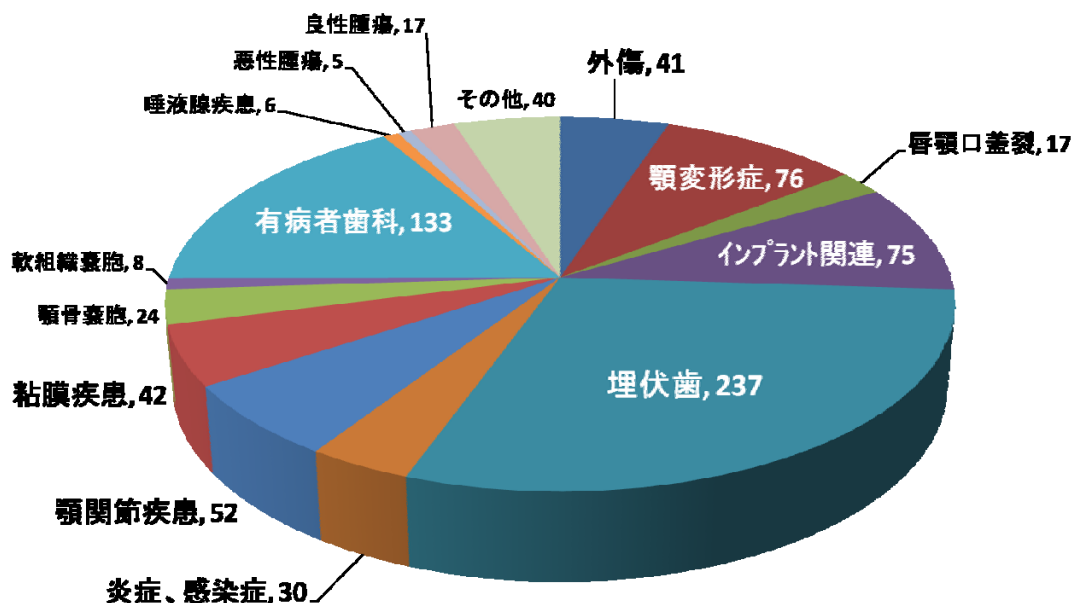
10 月 第 53 回日本口腔外科学会総会 発表予定

##### 3. 2007 年度実績：

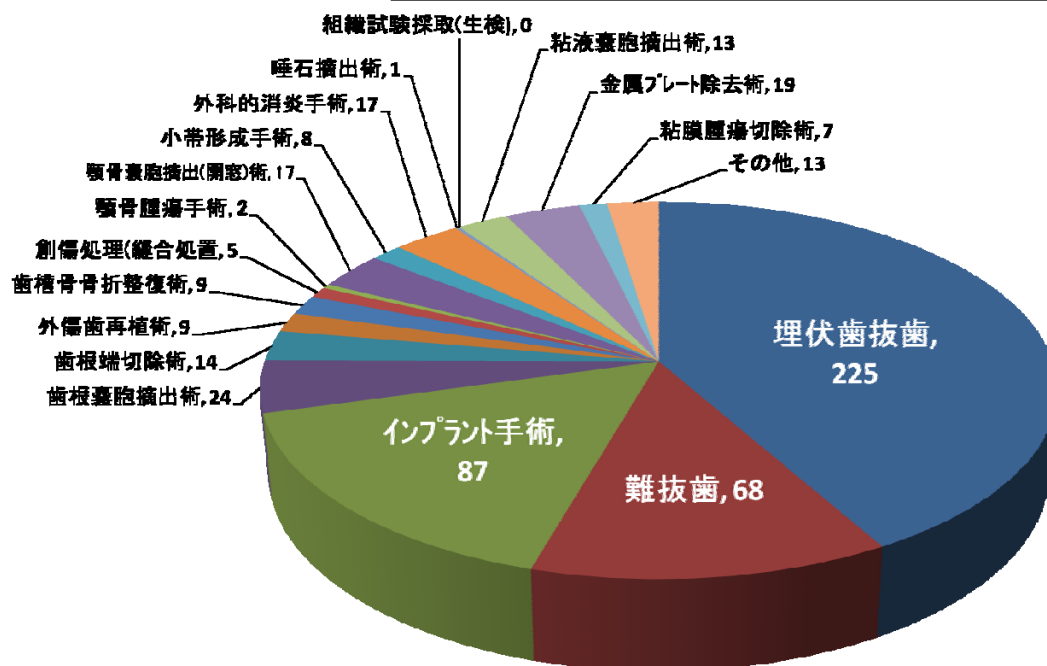
2007 年度 矯正歯科 臨床実績

初診相談：70 名 歯科矯正治療開始者：41 名 唇顎口蓋裂：22 名 顎変形症：7 名 成人の矯正治療：7 名 成長期の矯正治療：5 名

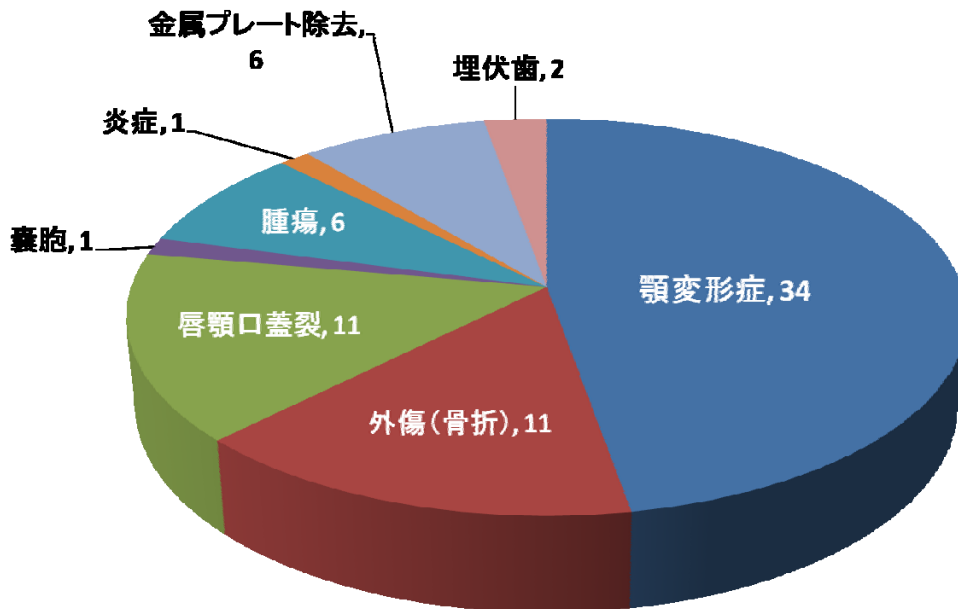
マキシロ 疾患別新患数(2007年4月~2008年3月)  
 総計:803例



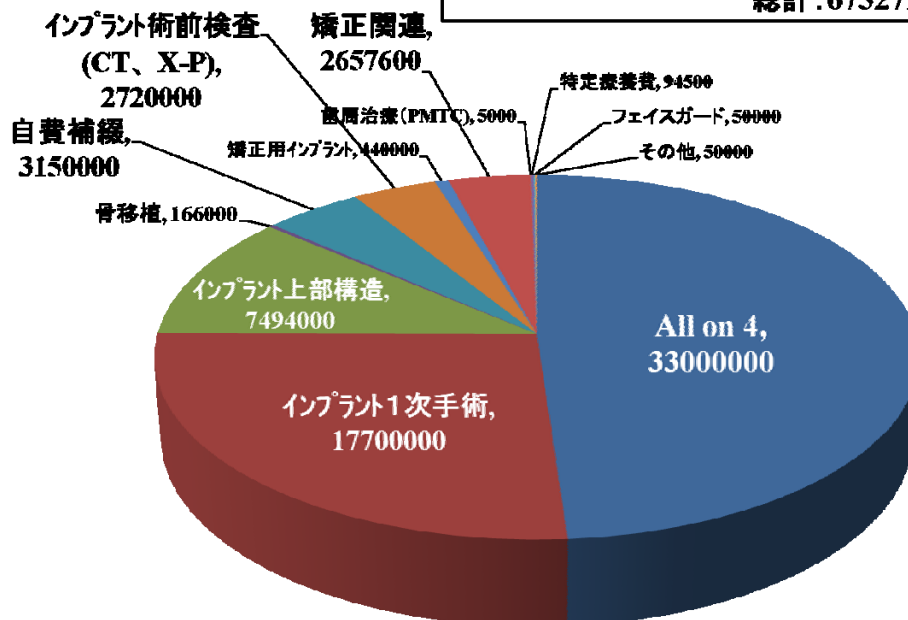
マキシロ 外来手術件数(2007年4月~2008年3月)  
 総計:538件



マキシロ 全麻手術件数(2007年4月～2008年3月)  
 総計:72件



マキシロ 自由診療 (2007年4月～2008年3月)  
 総計:67527100円



4. 学会発表 :



2007/6/23 小椋幹記 平成19年度鹿児島大学歯学部同窓会大分支部会 大分 歯科矯正治療のはなし

2007/9/19-21 小椋幹記 第66回日本矯正歯科学会大会 大阪「安全で速い歯の移動条件を見直そう」

2008/3/1-2 小椋幹記, 畑村美香, 岩崎愛実 第3回九州矯正歯科学会学術大会 長崎 歯科矯正患者の口腔衛生状況と関連する食生活習慣の検討

2008/3/27-30 Ogura M, Ito G, Nagayama K, Taira K, Chaichalotornkul P, Miyawaki S The 6th Asian Pacific Orthodontic Conference Bangkok, Thailand Perception of Occlusal Tooth Pain during Orthodontic Treatment with “Friction-Free” Bracket System

2007/9/29-30 平野公彦 第52回日本口腔外科学会総会 名古屋市 All on 4 インプラントの臨床的検討

2007/11/27 平野公彦 第47回大分形成懇話会 大分市 All on 4 インプラントについて (審美面を中心に)

### 5. 投稿・著書

ITの活用と導線の工夫などによる客観的臨床能力試験(OSCE)の新たな人的資源削減の試みとその効果, 宮脇正一, 小椋幹記, 瀬戸口尚志, 小山 徹, 西原一秀, 吉田礼子, 坂口勝義, 田畑 純, 五月女さき子, 石神哲郎, 川島清美, 佐藤強志, 重田浩樹, 西 恭宏, 徳田雅行, 志野久美子, 鳥居光男, 西川殷維 日歯教誌, 2007; 23 (1) : 56-64.

小椋幹記, 小山徹, 梶原武弘, 坂口勝義, 五月女さき子, 瀬戸口尚志, 西原一秀, 吉田礼子, 宮脇正一: OSCE 評価シート自動採点・集計システムの構築, 日歯教誌, 2007; 23 (1) : 65-69.

Orthodontic treatment combined with mandibular distraction osteogenesis and changes in stomatognathic function, Maeda A, Soejima K, Ogura M, Ohmure H, Sugihara K, Miyawaki S. Angle Orthod, in press.

### 6. その他

2007/8/25 小椋幹記 1歳児母親教室 大分東部病院 きれいな歯並びと口の健康のために

2007.10.20, 11.24, 12.15, 2008.2.16, 3.15 小椋幹記 妊婦母親教室 大分東部病院 何でも食べられる丈夫な口を育てるために

2007/6/23 平野公彦 鹿児島大学歯学部同窓会大分支部 大分 All on 4 インプラントについて  
2007/8 2007/9 平野公彦 インプラント メンターコース 講義

#### 《歯科衛生士》

2007/4~3 麻生清子 福德学院高等学校講義 (1回/週) 福德学院高等学校 歯科基礎実習

2007/6/2 麻生清子 大分岡病院新人研修会 大分岡病院 口腔ケアの大切さ

2007/6/20 麻生清子 公民館活動・高齢者講座 グリーンカルチャーセンター 高齢者の口腔ケアの大切さ

2007/9/1 麻生清子 木元歯科医院スタッフ研修会 木元歯科医院 信頼される歯科衛生士を目指して

2007/9/8 麻生清子 メンターコース講習会 大分岡病院 歯周治療について

2007/9/28 麻生清子 大分市民健康づくり運動指導者養成講座 西部保健福祉センター 口腔ケアの大切さと実技

2007/12/3 麻生清子 大分市民健康づくり運動指導者養成講座 陸上競技場会議室 口腔ケアの大切さと実技

2008/1/20 麻生清子 元気フェア(大分県医療団体) わさだタウン 歯科衛生士の業務と活動について

2008/3/4 麻生清子 大分市民健康づくり運動指導者養成講座 東部保健福祉センター 口腔ケアの大切さと実技

《歯科技工士》

2007年4月21日 古田勝典 大分県歯科技工士会 別府支部研修会 別府市鶴見公民館 大分県歯科技工士会別府支部講習会 インプラント技工の基礎とインプラント事情

2007年8月26日 古田勝典 日本歯科技工学会 九州沖縄支部学術大会 佐賀県 上顎無歯顎、下顎片側遊離端欠損に対してイミディエートファンクションインプラントを施行した1症例

2007年11月21日 古田勝典 別府市歯科臨床研究会 別府市口腔保険センター 下顎右側567欠損にノーベルガイドを用いて、イミディエートファンクションインプラントを施行した1症例  
《看護師》

2007年4月～ 平山祐子 口唇口蓋裂親の会「かけはし」1回/月 いきいき健康館 疾患の相談、勉強会の企画・開催

#### 4.7 循環器科

##### 1. 概要、構成、スタッフ：

心血管センター長 副院長 立川洋一

循環器科部長 永瀬公明

循環器科部長 宮本宣秀

循環器科医長 佐藤崇史

循環器科医員 石川敬喜

##### 2. 2007年度実績：

|                    | 2006/04-2007/03 | 2007/04/~2008/03 |
|--------------------|-----------------|------------------|
| カテーテル総数            | 747             | 899              |
| 心臓カテーテル            | 498             | 626              |
| 心臓カテーテル検査          | 325             | 404              |
| 冠動脈インターベンション(PCI)  | 173             | 218              |
| ロータブレーター           | 0               | 7                |
| エキシマレーザー           | 9               | 4                |
| アブレーション            | 0               | 4                |
| 末梢動脈カテーテル          | 180             | 174              |
| 末梢動脈造影             | 62              | 61               |
| 末梢動脈インターベンション(PPI) | 115             | 113              |
| 急性動脈閉塞症血栓吸引        | 3               | 0                |
| バスキュラーアクセスカテーテル    | 58              | 73               |
| 造影                 | 2               | 1                |
| インターベンション(VAIVT)   | 56              | 72               |
| 静脈カテーテル            | 11              | 26               |
| IVCフィルター留置         | 9               | 18               |
| IVCフィルター抜去         | 1               | 5                |
| その他                | 1               | 3                |
|                    |                 |                  |
| 心臓ペースメーカー手術        | 8               | 14               |
| 植込型除細動器            | 0               | 1                |

### 3. 学会発表：

講演 シンポジスト パネリスト

日本語口演

2007/9/11 立川洋一 第4回シーメンス心臓CTワークショップ 東京 CT装置のUpgradeで心臓検査の何が変わったか？

2007/9/15 立川洋一 第1回健康セミナー 大分市 本当にコワイ！メタボリックシンドローム～あなたの心臓大丈夫ですか？～

2007/9/20 立川洋一 第4回大分PAD(末梢動脈疾患)懇話会 大分市 透析患者のフットケア～チーム医療の重要性～

2007/9/29 立川洋一 第8回神戸Podiatryミーティング 神戸市 重症虚血肢に対するチーム医療におけるインターベンション治療の役割

2007/10/16 立川洋一 第144回大分東研究会 大分市 動脈硬化性疾患のトータルマネジメント

2007/11/14 Oita Aldosterone Conference 立川洋一 パネリスト

2007/11/23 立川洋一 ボストン・サイエンティフィックジャパン社内講演会 福岡市 重症虚血肢のチーム医療

2007/11/23 立川洋一 第5回九州ペリフェラルインターベンションカンファレンス (QPIC) 福岡市 レクチャー Peripheral Excimer Laser Angioplasty

2007/11/23 立川洋一 第5回九州ペリフェラルインターベンションカンファレンス (QPIC) 福岡市 レクチャー BTK

2007/11/23 立川洋一 代理店招聘勉強会 大分市 大分県におけるPAD診療の現状

2008/2/13 宮本宣秀 大分心血管合同カンファレンス 大分市 僧帽弁膜症の診断と治療-内科の立場から-

2008/2/15 立川洋一 第20回宮崎県北脈管研究会 延岡市 重症虚血肢に対するチーム医療-末梢動脈インターベンションの重要性-

2008/2/26 立川洋一 宮崎市郡医師会病院講演会 宮崎市 末梢動脈インターベンション

2008/3/15 立川洋一 第5回青森末梢血管懇話会 青森市 末梢動脈疾患 (PAD) のチーム医療

2008/3/22 立川洋一 都城市透析技術者交流会 都城市 透析患者の重症下肢虚血-予防から診断・治療まで-

英語口演

2007/05/24 Yoichi Tatsukawa Casereview session Japanese EuroPCR Barcelona, Spain approach for below the knee treatment Cardiovascular Center, Cardiology

演題発表

日本語口演

2007/4/21 宮本宣秀、立川洋一、永瀬公明、佐藤崇史 Medtronic ステントミニセミナー 福岡 DESかBMSか悩ましい症例を考える～症例呈示

2007/5/12 永瀬公明、立川洋一、宮本宣秀、佐藤崇史 第23回大分冠動脈研究会 大分県 症例提示 スパズムによると考えられる左冠動脈主幹部血栓による急性心筋梗塞

2007/6/23 石川敬喜、立川洋一、永瀬公明、宮本宣秀、佐藤崇史 大分大学医学部第2内科田村彰 第102回日本循環器学会九州地方会 宮崎市 創傷ケアセンターにおける末梢動脈インターベンションの重要性

2007/7/28 立川洋一、永瀬公明、宮本宣秀、佐藤崇史 第2回大分VAIVTセミナー 大分市 症例呈示 A Case of Percutaneous Intervention in Central Venous Stenoses

2007/8/25 大分岡病院心臓血管センター循環器科 石川敬喜、立川洋一、永瀬公明、宮本宣秀、佐藤崇史 大分大学医学部第2内科 田村彰 第4回JACT・第14回JSIC平成19年度九州合同地方会

熊本市 TURBOBOOSTER Atherectomy System が有効であった左浅大腿動脈ステント内およびステント末梢再閉塞の1症例

2007/8/25 大分岡病院心血管センター循環器科 宮本宣秀、立川洋一、永瀬公明、佐藤崇史 大分大学医学部第2内科 田村彰 第4回JACT・第14回JSIC平成19年度九州合同地方会 熊本市 冠動脈ステント内再狭窄に対するエキシマレーザー冠動脈形成術症例の臨床的検討

2007/8/25 立川洋一、永瀬公明、宮本宣秀、佐藤崇史 第4回JACT・第14回JSIC平成19年度九州合同地方会 熊本市 ビデオライブPeripheral Excimer Laser Intervention

2007/11/9 宮本宣秀、立川洋一、永瀬公明、佐藤崇史、石川敬喜 第8回大分虚血性心疾患研究会 大分市 心臓CTが治療戦略決定に有用であった狭心症の1例

2007/11/15 立川洋一、永瀬公明、宮本宣秀、佐藤崇史 第152回大分循環器研究会症例検討会 大分市トキハ会館6階「桜の間」 冠動脈インターベンションにおける心臓CTの有用性

2007/12/1 大分岡病院心血管センター循環器科 安部望、立川洋一、永瀬公明、宮本宣秀、佐藤崇史 大分大学医学部第2内科 田村彰 第103回日本循環器学会九州地方会 別府 Hand Pit を用いて治療した左鎖骨下静脈血栓症の1症例

2007/12/1 大分岡病院心血管センター循環器科 石川敬喜、立川洋一、永瀬公明、宮本宣秀、佐藤崇史 大分大学医学部第2内科 田村彰 第103回日本循環器学会九州地方会 別府 心筋血流シンチグラム、心臓交感神経シンチグラムにて良好な経過を観察できたアルコール性心筋症の1症例

2007/12/5 永瀬公明、立川洋一、宮本宣秀、佐藤崇史 第1回大分TAXUXセミナー 大分 症例提示

2008/2/29 大分岡病院心血管センター 石川敬喜、立川洋一、永瀬公明、宮本宣秀、佐藤崇史 湯布院厚生年金病院 平松義博、有田真 上野内科医院 上野正次 第10回大分Nicorandil研究会 大分市 ニコランジルにより運動耐容能の改善が認められた陳旧性心筋梗塞の1例

#### 英語口演

2007/6/21 第16回日本心血管インターベンション学会学術集会 Five effective cases of excimer laser coronary angioplasty (ELCA) Oita Oka Hospital Cardiovascular Center Cardiology Nobuhide Miyamoto, Yoichi Tatsukawa, Kimiaki Nagase, Takashi Sato

2007/6/22 第16回日本心血管インターベンション学会学術集会 Effectiveness of excimer laser assisted angioplasty in the endovascular treatment of infrapopliteal arterial disease Oita Oka Hospital Cardiovascular Center Cardiology Yoichi Tatsukawa, Kimiaki Nagase, Nobuhide Miyamoto, Takashi Sato

2007/9/12 大分岡病院心血管センター循環器科 立川洋一、宮本宣秀 大分大学医学部感染分子病態制御講座・第二内科 田村彰 第55回日本心臓病学会学術集会 東京 重症虚血肢の膝下動脈複雑性病変に対するレーザー血管形成術の初期成績

#### 座長 コメンテーター他

2007/5/13 大分岡病院心血管センター循環器科 立川洋一 第16回九州トランスラディアル研究会 熊本 保険診療内で治療するComplex TRI ライブデモ座長

2007/6/2 立川洋一 第24回小倉ライブデモンストラーション PPI Live Iliac/SFA/BK Faculty and Commentator

2007/9/1 立川洋一 S a p p o r o Live Demonstration Course 2007 札幌 Faculty and Commentator

2007/12/1 立川洋一 第103回日本循環器学会九州地方会 別府 座長

2008/1/31 立川洋一 CCT 2008 (Complex Catheter Therapeutics 2008) 神戸 Faculty and Commentator

その他

2007/5 立川洋一 NikkeiMedical 座談会記事 PAD(末梢動脈疾患)の診断と治療—大分県の現状と展望— 司会

2007/10/27-28 立川洋一 第2回大分県新医師臨床研修指導医講習会 大分県由布市 タスクフォース

海外出張

2007/05/22-05/25 Yoichi Tatsukawa EuroPCR Barcelona

#### 4. 投稿・著書

重症虚血肢診療の実践 集学的治療によるアプローチ 南江堂 監修 南都伸介 編集 飯田 修 共著 立川洋一 平成20年2月10日発行

#### 4.8 小児科

##### 1. 概要、構成、スタッフ：

小児科医2名

##### 2. 2008年度目標：

種々の疾患に対して漢方薬を併用し、臨床症状の早期改善を目指す。

##### 3. 2007年度実績：

急性感染症における漢方薬併用の効果の確認

##### 4. 学会発表：

2007/5/27 立花秀俊 平成19年度日本東洋医学会九州支部大分県部会学術講演会 インフルエンザに対する漢方薬増量頻回投与の治療経験

##### 5. 投稿・著書：

インフルエンザに対する漢方薬増量頻回投与の治療経験 大分県小児科医会会報 立花秀俊 2007年12月

インフルエンザに対する漢方薬増量頻回投与の治療経験 漢方の臨床 立花秀俊 2008年1月

#### 4.9 心臓血管外科

##### 1. 概要、構成、スタッフ：

心臓血管センターでは、患者さん個々の状態を慎重に検討して、循環器と心臓血管外科が密接に協議して、各々の患者さんにとって一番適している治療が行えるよう努力しています。

心臓血管外科が行っている手術は、狭心症に対する冠動脈バイパス術、心臓弁膜症に対する弁形成術、弁置換術、心臓細動に対する不整脈手術、心室瘤、心不全に対する左室形成術、大動脈瘤、大動脈解離に対する手術、末梢血管に対する手術などで、成人心臓血管外科領域のほぼ全般に対して手術を行っています。

スタッフ

迫 秀則 心臓血管外科部長

竹林 聡 心臓血管外科医長

高山哲志

葉玉哲生 病院長

岡 敬二 理事長

施設認定

心臓血管外科専門医認定機構 認定修練施設（関連施設）

腹部大動脈ステントグラフト実施施設

心臓再同期療法認定施設

## 2. 2008 年度目標：

心臓胸部大血管手術 120 例

心臓血管外科認定修練施設（基幹施設）の獲得

## 3. 2007 年度実績：

手術実績

心臓血管外科手術症例数

|         | 2006 年度 | 2007 年度 |
|---------|---------|---------|
| 心臓      | 24 例    | 59 例    |
| 胸部大動脈   |         | 11 例    |
| 腹部大動脈   | 13 例    | 10 例    |
| 末梢動脈    | 51 例    | 46 例    |
| 下肢静脈瘤   | 45 例    | 73 例    |
| シャント関連  | 50 例    | 50 例    |
| ペースメーカー | 8 例     | 14 例    |
| その他     | 9 例     | 17 例    |
| 合計      | 200 例   | 280 例   |

2007 年度 心臓胸部大血管手術症例

|                    |      |
|--------------------|------|
| 冠動脈バイパス術           | 30 例 |
| 心筋梗塞合併症手術          | 1 例  |
| 弁膜症手術              | 22 例 |
| 胸部大動脈              | 11 例 |
| 先天性、腫瘍など           | 6 例  |
| Maze, PV isolation | 3 例  |
| Re-do              | 1 例  |

手術死亡なし

## 4. 学会発表：

2007/3/25 座長 迫秀則 第 24 回大分救急医学会・談話会 大分 一般演題-V

2007/3/25 石川敬喜 竹林聡 迫秀則 岡敬二 第 24 回大分救急医学会・談話会 大分 船上で発症した急性大動脈解離の一救命例

2007/5/24-25 迫秀則 岡敬二 竹林聡 古川雅英 澁谷博美 第 35 回日本血管外科学会総会 名古屋 下肢閉塞性動脈硬化症に対する distal bypass における MDCT の有用性

2007/5/24-25 竹林聡 迫秀則 岡敬二 第 35 回日本血管外科学会総会 名古屋 特異な受傷機転により生じた外傷性大腿動静脈瘻の 1 例

2007/6/23 竹林聡、迫秀則、岡敬二 第 102 回日本循環器学会九州地方会 宮崎 心尖部送血、arch first technique を用い弓部置換を行った広範囲 A 型慢性大動脈解離の 1 例

- 2007/7/7 迫秀則、岡敬二、竹林聡、古川雅英、澁谷博美、葉玉哲生 第32回九州MMC研究会福岡 慢性透析症例の重症下肢虚血に対する distal bypass 手術
- 2007/7/26 竹林聡、迫秀則、岡敬二、葉玉哲生 第40回日本胸部外科学会九州地方会 久留米 回腸腸間膜動脈塞栓で発症した感染性心内膜炎の1例
- 2007/7/28-29 迫秀則、竹林 聡、岡敬二 葉玉哲生 5th Tawara-Aschoff Symposium 中津 心房細動に対する外科手術（メイズ手術）の実際
- 2007/9/29 迫秀則、岡敬二、竹林聡、古川雅英、澁谷博美、葉玉哲生 第8回神戸Podiatryミーティング 神戸 維持透析症例の重症下肢虚血に対する distal bypass 手術
- 2007/10/25-27 竹林聡、高山哲志、迫秀則、岡敬二、葉玉哲生 第48回日本脈管学会総会 松本 腎動脈分岐下腹部大動脈瘤術後に硬膜外血腫にて対麻痺を来した1例

#### 5. 実習生受入状況：

大分大学医学部学生（5-6年生） 毎週火曜日に3、4人ずつ臨床実習

#### 4.10 整形外科

##### 1. 概要、構成、スタッフ

医師3名

##### 2. 2007年度実績：

入院患者676人（うち救急搬送117人）

手術件数（統計資料参照）

##### 3. 学会発表：

2007/11/16 岡治道 清水啓 直野敬 第10回日本内視鏡低侵襲脊椎外科学会 内視鏡を用いた腰椎椎体間固定術(TLIF)におけるナビゲーションの有用性と工夫

2007/7/15 岡治道 第20回日本臨床整形外科学会 青森市 パネルディスカッション「後方内視鏡手術による脊椎低侵襲手術の現況」

#### 4.11 脳神経外科

##### 1. 概要、構成、スタッフ

平成17年5月から脳神経外科を開設しました。

脳神経疾患には脳血管障害、外傷、髄膜炎、水頭症、脳腫瘍、変性疾患などがあります。脳神経疾患の特徴として、いずれの疾患も重症化しやすく脳神経を患うため麻痺症状を呈したり、精神状態や意識状態が不安定となって全身管理を必要とします。

現在、大分岡病院では当脳神経外科を含めて、集中治療室を利用した各科合同での急性期治療が可能であり、さらに早期からのリハビリテーションやNST（栄養サポートチーム）による栄養面のバックアップも充実し、全身管理が必要とされる脳神経疾患を扱う急性期病院としての体制が整っています。

##### 2. 2008年度目標：

2次救急指定病院として頭部外傷をはじめ脳血管障害の急性期治療を行うと共に、水頭症に対する外科的治療など高齢者のQOL向上を対象とした治療も積極的に行う。

##### 3. 2007年度実績：

2007年度入院患者数 210人

内訳

| 病名       | 集計 |
|----------|----|
| 頭部外傷     | 35 |
| くも膜下出血   | 4  |
| 脳内出血     | 20 |
| 硬膜下出血    | 15 |
| 脳梗塞      | 45 |
| てんかん     | 11 |
| 一過性脳虚血発作 | 9  |
| 腫瘍       | 3  |
| 髄膜炎      | 4  |
| 眩暈       | 30 |
| その他      | 34 |

#### 4. 学会発表：

2007/7/21 山口豊 大分東部地区脳卒中ネットワーク 講演（大分岡病院）「脳卒中を疑う症状と簡単な診察」

2008/3/14 山口豊 大分東部地区脳卒中ネットワーク 講演（大分東部病院）「脳卒中を疑う症状と簡単な診察」

2007/7/13 山口豊 医療マネジメント学会総会 ポスター発表（横浜）「抗菌薬皮内反応試験廃止の取り組みと現状」



## 4.12 皮膚科

## 1. 概要、構成、スタッフ

皮膚科 医師1名

## 2. 2008年度目標：

褥瘡の院内発生をさらに少なくする。東部病院の皮膚疾患患者について、より連携を密にする。

## 3. 2007年度実績：

2007年度の病理組織検査 295件

褥瘡：毎月の褥瘡対策委員会；地域褥瘡勉強会、院内勉強会 各1回。

東部病院での講演：常勤皮膚科医のいない病院に要求される皮膚疾患の治療とケア

東部病院への往診（薬疹、褥瘡など）2，3回

百華苑（月1回）、豊寿苑（月2回）への往診

入院患者対診受件数：165件

入院患者内訳：

|                       |                                 |
|-----------------------|---------------------------------|
| 細菌性疾患                 | 丹毒                              |
| ウイルス感染症               | 水痘、合併症を伴わないもの                   |
|                       | 播種性帯状疱疹                         |
|                       | 帯状疱疹、合併症を伴わないもの                 |
| 悪性新生物                 | 口唇の皮膚の悪性新生物                     |
| 皮膚及び皮下組織の感染症          | （四）肢のその他の部位の蜂巣炎（蜂窩織炎）           |
|                       | 体幹の蜂巣炎（蜂窩織炎）                    |
| 水疱症                   | 水疱性類天疱瘡                         |
| 皮膚炎                   | 詳細不明の接触皮膚炎、原因不明                 |
| アレルギー反応               | 薬物および薬剤による全身の発疹                 |
|                       | アナフィラキシーショック                    |
| 丘疹落せつ（屑）〈りんせつ（鱗屑）〉性障害 | 尋常性乾せん（癬）                       |
| 紅斑                    | 紅斑性病態、詳細不明                      |
| 皮膚および皮下組織の毛包のう〈囊〉胞    | 表皮のう〈囊〉胞                        |
| 褥瘡性潰瘍                 | じよく〈褥〉瘡性潰瘍                      |
| その他の潰瘍                | 下肢の潰瘍、他に分類されないもの                |
| その他                   | （急性）熱性好中球性皮膚症 [スウィート〈Sweet〉症候群] |
| 熱傷                    | 体幹の第2度熱傷                        |
|                       | 多部位の熱傷                          |

## 4. 学会発表：

2007/2/20 高安進 大分皮膚科医会 サクロメッシュによる接触皮膚炎の2例

2007/3/20 高安進 第315回大分市皮膚科医会 1) 肺癌皮膚転移（左眉毛部）、2) ポーエン病（右上肢）、3) Solitary reticulohistiocytoma（右頬）、4) 末期腎不全患者にみられた表皮下水疱

2007/4/17 高安進 第316回大分皮膚科医会 1) 筋症状を欠く皮膚筋炎、2) Sjogren 症候群

2007/5/15 高安進 第317回大分皮膚科医会 特異な臨床像を呈した落葉状天疱瘡

2007/7/2 高安進 渋谷博美 葦原義典 第81回日皮会大分地方会 Trichophyton rubrum による深在性真菌症

2007/10/9 高安進 第12回おおいの炎の会 これだけは知っておきたい「白癬症、アトピー性皮

### 膚炎の話

2007/10/27 高安進 佐藤崇史 立川洋一 第 59 回日本皮膚科学会西部支部学術大会 電撃性紫斑を呈した *Citrobacter freundii* による敗血症の 1 例

2007/11/5 高安進 日本毛髪科学協会九州支部講習会 プロペシアの男性型脱毛症に対する効果

2007/11/20 高安進 第 322 回大分皮膚科医会 1) 深部静脈血栓を伴ったサルコイドーシス、2) 痛風結節を伴った蜂窩織炎

2007/12/2 高安進 第 82 回日皮会大分地方会 薬疹の 3 例

## 5. 研修医受入状況

2007 年 9・10 月

### 4.13 放射線科

#### 1. 概要、構成、スタッフ：

放射線科医師 2 名で、読影とアンギオ、サイバーナイフ治療を行っている。

#### 2. 2008 年度目標：

- ・連日の精度や安全の確認を十分行い、治療を安全に、また正確に行う。
- ・サイバーナイフによる疾患の治療のみならず早期の症状の改善・苦痛の軽減し、ADL の改善を行う。
- ・体幹部治療認可に合わせ、早期治療開始の実現のため認可後早急に体幹部の治療精度や安全性の確認を行う。

#### 3. 2007 年度実績：

サイバーナイフ治療統計参照

### 4.14 麻酔科

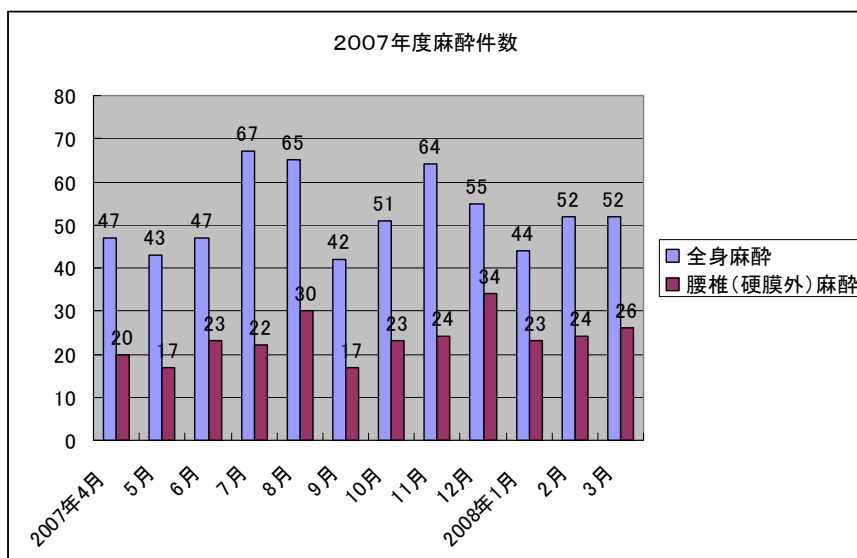
#### 1. 概要、構成、スタッフ：

医師 1 名

#### 2. 2008 年度目標：

麻酔安全性の向上、エコーガイド下神経ブロックの導入

#### 3. 2007 年度実績：



## 5. 看護部活動

### 看護部理念

- 1 各自が責任をもって適切な看護ケアをおこないます
- 2 愛情をもって患者さんにセッシ、あたたかい医療を目指します
- 3 専門職として自己研鑽に努め、看護の質の向上をはかります

### 1. 概要、構成、スタッフ：

○看護単位10単位（看護管理室、ER・外来、2病棟、3病棟、4病棟、5病棟、ICU、マキシロフェイシャルユニット）

○看護部207名（看護師166名、準看護師17名、看護補助者22名、臨床工学技師2名）

### 2. 2008年度目標：

- 1 信頼と満足の得られるような看護ケアをおこないます
- 2 やさしく、思いやりのある態度で看護を実践します
- 3 チャレンジ精神を發揮し、自律した看護を目指します

### 3. 2007年度実績：

4月に新卒看護師を8名迎えスタートした。

専従の教育師長を中心に、教育体制を充実させ、クリニカルラダーシステム（臨床看護実践能力習熟度段階制）に添った継続教育を開始した。

また2007年は病院機能評価機構の受審を控え、その準備に追われていた。8月21日、22日、23日は7名のサーバイヤーを迎え、緊張の3日間であったが、なんとか病院機能評価機構 Ver5 で2回目の認定を受けることが出来た。

普段行っている看護業務やマニュアルについて見直し、整理できた良い機会であり、病院全体が同じ方向に一丸となり努力されたと思う。

### 4. 学会発表：

### 5. 投稿・著書

### 6. 実習生受入状況

明豊高校専攻科2年生8名（1グループ4名 3週間）

実習期間 5/7～7/27

明豊高校3年生8名（1グループ4名4週間）

実習期間 9/3～10/26

明豊高校専攻科1年生16名（1グループ4～6名 2週間）

実習期間 11/26～1/28

## 5.1 看護部委員会活動

### 5.1.1 看護部医療安全委員会

開催：必要時（月4回の師長会時）

活動：

1. 医療安全管理委員会、医療安全委員会での決定事項の伝達
2. 外部からの安全情報の伝達・注意喚起
3. 当院で起こった看護師関係のアクシデント・インシデント報告、アクシデント・インシデントの対策立案
4. 研修会の開催

内容：

1. 医療安全委員会からの伝達、周知
  - ・皮内テスト時の希釈方法
  - ・口頭指示、緊急指示の対応

- ・高圧酸素治療時の注意事項等

## 2、外部からの安全情報

日本医療機能評価機構からの安全情報が定期的に報告されるため、当院でも考えられる事例を伝達し注意喚起を行った。

- ・インスリンの単位に関する事例
- ・ベッドでのストッパー事例
- ・患者搬送中の事例・輸液ポンプの流量確認忘れ等

## 3. アクシデント報告、対策

- ・患者物品の紛失防止（外来預かり時の貴重品、入院中の入れ歯等）
- ・抗生剤の種類間違い（溶解後もバイアルは付けておく）
- ・留置カテーテル挿入時の手技方法・確認
- ・身体拘束について、拘束中の観察項目や拘束を介助する基準等を作成 ※現在実施中

## 4. 研修会

- ・輸液ポンプの研修会を行う（3回開催）出席率 79.4%

### 5.1.2 看護基準手順委員会

1. 毎月最終金曜日 16時から17時、定例委員会実施
2. 平成15年より改訂していなかったため、看護手順書、看護基準書の改訂を平成19年8月実施
3. 現在の委員会活動は、定例委員会にて看護手順書の見直し施行中

### 5.1.3 業務改善委員会

1. 救急カートの備品を全館統一するための検討と実施を行った
2. 透析室と病棟との申し送りや指示が上手くいくようにするための検討と実施
3. 時間外勤務を減らすための検討→朝の申し送り短縮に向けての検討と実施  
日勤帯は医師がパソコンを使用するので、パソコン台数不足により業務がスムーズに行えないとの意見がある ⇒ 上層部に検討依頼
4. その他  
小児科入院が準夜勤務帯に集中するので分散して欲しい ⇒ 小児科医師依頼

### 5.1.4 クリティカルパス委員会

1. 第1月曜日に定例委員会実施
2. 入院治療計画書（入院指示書）としての運用傾向が強かったが、急性期入院加算が平成18年4月より外れたことにより、看護記録としてのパスの充実を目指すこととした
3. パスの基本的様式を整え、医師の協力が得やすい部署より作成しているが、まだ運用には至っていない。平成20年度運用を目指す

### 5.1.5 看護部教育委員会

1. 第1月曜日に定例委員会実施
2. 平成19年度より看護部継続教育計画を企画・実施  
受講生を設定しているにもかかわらず、促さない不参加のこともあったが、後半に向けて自ら参加してきた  
初めてのグループワーク、初めての研修内容などで受講生にも戸惑いがみられたが、受講生の研修評価は常に満足を得られるものだった  
プリセプティ、プリセプター研修は研修の要となるが、各所属長と連携をとることができ、効果的に進めることができた
3. 看護部全体研修も最新のトピックスを取り入れ実施 参加率 25～50%

- ・フィジカルアセスメント
- ・がん化学療法
- ・脳神経疾患の理解

#### 5.1.6 看護部感染対策委員会

##### 1. 2007年度 目標

- 1) 伝達事項、報告事項の周知徹底
- 2) 病棟内の状況を把握し対応する
- 3) 手指衛生の徹底
- 4) 感染経路別予防策の遵守
- 5) 病棟内で感染対策のモデルとして活動する

##### 2. 2007年度 委員会年間会議内容、活動報告

- 1) MRSA サーベイランス関連
  - ①MRSA 検出状況の報告
  - ②報告用紙の検討、報告用紙をなくした場合の報告手順について  
→ 簡便な書式に変更し施行予定
  - ③ヒビスコール使用量のチェックを再開
- 2) UTI サーベイランス関連
  - ①カテーテルの固定、管理状況の把握
  - ②カテーテル交換頻度の確認
  - ③クイックフィックス使用量のチェック
  - ④シルバーフォーリーカテーテルの使用中止
  - ⑤排泄関連使用器材の細菌培養施行  
→ グラム陰性桿菌、大腸菌などを検出  
交差感染を防止するため、各病棟陰部洗浄ボトルの数を増量、消毒の徹底
- 3) SSI サーベイランス関連
  - ①術前の口腔ケアについて  
→ リステリンによる術前の口腔ケアの徹底（リステリン導入は口腔ケアチーム）
  - ②術後の創部消毒薬の周知徹底
- 4) BSI サーベイランス関連
  - ①中心静脈カテーテル適応チェックシートの導入
  - ②血液培養採取時の手順を再確認
- 5) 呼吸器関連
  - ①吸引物品の管理について
  - ②ネブライザー蛇管の管理状況の院内ラウンド、結果報告  
→ 保管用ケースの導入
- 6) 安全器材（エラスター、翼状針）、針捨て容器の検討
  - ①エラスターについては、現在使用分と他社の製品の比較、検討を行う
  - ②針捨て容器の使用状況、問題点について
- 7) 滅菌物の管理（期限）について  
→ 保管状況の院内ラウンド
- 8) 機能評価対策
  - ①マニュアル、感染発生時の対応手順を全てのスタッフに周知させる
  - ②機能評価での指摘事項の報告、改善
- 9) 針刺し・切創事故の発生状況の報告
  - ①事故後の対応（現状、問題点、処置など）を確認

- ②針捨て容器の持参を徹底
  - ③リキャップ禁止の徹底
  - ④針刺し防止のための側管用の鈍針採用の検討
  - ⑤感染性廃棄容器の足踏み式（蓋）を導入、設置
  - ⑥鋭利、非鋭利の分別方法の確認
- 10) 流行性ウイルス疾患のワクチン接種  
→ インフルエンザワクチンの接種、呼びかけ
- 11) ノロウイルス感染対策について
- ①有症状者の把握、報告
  - ②手洗い、消毒方法、汚物・吐物の処理方法、環境面の清掃についての確認
- 12) 手荒れに対するハンドローションの導入
- 13) 院内、院外研修への参加、案内、報告  
→ 感染管理研修の出席状況、未受講者への呼びかけ

## 5.2 2病棟

|            |   |
|------------|---|
| 平成19年度目標   | <p>&lt;管理目標&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 個々のスタッフのレベル向上のために、研修参加や自己学習の環境を整える。</li> <li>2. 患者が満足する入院生活の提供</li> <li>3. 緩和ケアカンファレンスの継続</li> </ol> <p>&lt;活動内容&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 〃について       <ol style="list-style-type: none"> <li>① 1回/月の勉強会の実施（病棟会と同日）</li> <li>② 毎週月曜日の外科カンファレンスの実施</li> <li>③ 院内の全体研修会へ5回/年以上参加</li> <li>④ 院外研修参加を奨励する</li> </ol> </li> <li>2. 〃について       <ol style="list-style-type: none"> <li>① 環境整備の徹底</li> <li>② 患者・家族の訴えを傾聴し、丁寧な言葉使いと対応を徹底する</li> <li>③ 安全な看護技術の提供をする</li> <li>④ 患者・家族へ統一した看護の提供をする</li> </ol> </li> <li>3. 〃について       <ol style="list-style-type: none"> <li>① 他職種と連携して、定期的に緩和ケアカンファレンスを開催する</li> </ol> </li> </ol> |
| 平成19年度目標評価 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1、①勉強会は、毎月担当NSが資料を作成し、スタッフで共有する。<br/>       ② 外科カンファレンスは、週の手術患者さんのプレゼンと学習会をDrが実施している。<br/>       ③ 院内研修は、参加者が少ない。18時からで残業者が参加できないこともある。また興味のもてる研修がなかったという意見もあった。<br/>       ④ 院外研修の参加を勧め、H19年度と比較すると参加者が増えた。また専門性を生かしたいというスタッフが増えてきている。</li> <li>2、①廊下や部屋の床にゴム手袋が落ちている事が多かった。また床のゴミも見て見ぬ振りということもある。各自で気をつけるよう声掛けをする。<br/>       ②終末期の患者さんが増えた事で傾聴するという姿勢がみえてきた。しかしスタッフ間での言葉使いが周知できていない為、今後も気をつける。<br/>       ③安全な技術提供は、ほぼできている。確認作業をおこないながら今後も実施する。<br/>       ④統一した看護の提供は、カンファレンスを通じて出来ているが、看護計画に反映されていないので看護計画を評価、修正し統一を図るようにする。</li> <li>3、緩和カンファレンスは、年に数回の実施にとどまった。今後はコメディカルと連携をとり、よりよい看護を患者さんに提供していきたい。</li> </ol>  |

## 5.3 3病棟

|            |  |
|------------|--|
| 平成19年度目標   | <p>&lt;管理目標&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 患者の話を傾聴し、満足される看護を行う</li> <li>2. 疾病を正確に理解し観察できることで、看護のレベルアップができる</li> <li>3. 他職種とのチームワーク</li> </ol> <p>&lt;活動内容&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. について       <ol style="list-style-type: none"> <li>① 患者自身の思っていること、問題が表出できる様なコミュニケーションをとる</li> <li>② カンファレンスによる情報を共有し統一した看護をする</li> <li>③ 受持ち看護師として自覚し、責任をもってケアをすすめていく</li> </ol> </li> <li>2. について       <ol style="list-style-type: none"> <li>① 定期的な勉強会・・・各科別に日付で決める</li> <li>② 院内研修会参加と伝達</li> <li>③ 院外研修会参加と伝達</li> <li>④ カンファレンスの徹底とフィードバック</li> <li>⑤ 受持ち看護師が看護を率先する</li> </ol> </li> <li>3. について       <ol style="list-style-type: none"> <li>① 脳外カンファ、リハビリカンファに参加し看護実践に活用する</li> </ol> </li> </ol> |
| 平成19年度目標評価 | <p>&lt;管理目標&gt;</p> <p>1.2.3.と達成できなかったのが平成20年度に再度目標とする。</p> <p>&lt;活動内容&gt;</p> <p>1-① 傾聴する姿勢はあるが忙しいためなかなか出来ない。</p> <p>1-② 努力している。</p> <p>1-③ 毎日の部屋持ちの担当としてはできているが、受け持ちNsとしてはサマリを書くぐらいしかできていない。</p> <p>2-① 科別にしようと決めたができなかった。</p> <p>2-② 研修会参加はしているが伝達はできていなかったのこれから資料を配布するようになりたい。</p> <p>2-③ 病棟会で伝達はできている。</p> <p>2-④ カンファレンスはできているがフィードバックはあまりできなかった。</p> <p>2-⑤ その日に担当ではないので受け持ちの役割ができていない。</p> <p>3-① カンファレンス（脳外）には参加できていない。リハカンファレンスはできている。内容の伝達はリハビリより朝の申し送り時に行ってもらっている。</p>  |



## 5.4 4病棟

|                                |   |
|--------------------------------|---|
| 平成19年度<br>威標<br>年度<br>目標       | <p>&lt;管理目標&gt;</p> <p>患者様が満環器系疾患に関連に臨治療病棟働仕についてのスキルアップをはかる。<br/>       2. 看護師の基本的な業務満足できる 看護ケア 対応ができる。<br/>       本来ある他部署との実践な連携をはかる</p> <p>&lt;目標に対するアプローチ&gt;</p> <p>1. 活動内容 医学的専門知識・技術の習得</p> <p>2. 患者様の精神面をも含め、全人的に理解したうえで援助する</p> <p>3. ① 整形病棟での勉強会を(終回)でメック 患者様と触れ合う時間の確保</p> <p>4. ② 責任病棟での勉強会(看護回/月) Dr. 主催</p> <p>&lt;活動内容&gt; 研修への積極的参加 最低1回/年(1人)</p> <p>2. ① 整形病棟の最低ラインの技術習得に対し、チェック項目を用いてレベルUPを図る</p> <p>② 統常生活援助の提供(特に保清) 人の患者の入浴回数(清拭)を3回以上/日を毎日行う</p> <p>③ 患者モニタリングの改善(評価が得られる) 施行に統一したゴールの設定を行う</p> <p>3. ① について病棟独自のアンケートを作成し、患者満足度を知る</p> <p>② 患者の申し送りを確実にを行う</p> <p>③ 他部署スタッフとのコミュニケーションを頻回にもつ</p>   |
| 平成19年度<br>威標<br>年度<br>目標<br>評価 | <p>&lt;管理目標に対し&gt;・・・4病棟独自のアンケート作成。(30部回収)</p> <p>看護師の印象： 明るい、親切、丁寧に対応してくれた。(25/30)</p> <p>1. スタッフ主催の勉強会は、ほぼ、1回/月のペースで行えた個人/個人主催の病棟内勉強会は、できなかった。 ナースコール対応： 気持ち良く直ぐに対応できた(時間調整、計画がうまくたてられなかった。 対応が悪かった時間帯 19時以降来年度は、3病棟内での勉強会を、もっと計画的に行いたい。</p> <p>年間計画を考察して全体的に看護職の対応、患者さんとのかかわりはできており、安心、満足されていたと考えられる。 しかし、個々人の差や夜間等人員不足の状態など、</p> <p>2. 1患者、3回以上/日入浴は、実施できなかった。 清拭は、1回/2日実施されていない。 今後は細かい点まで分析できるよう質問内用を検討し、患者アンケートの悪い評価は、得られなかった。</p> <p>対応にも差が少なくなるよう、接遇研修や日常患者さん対応を病棟会など</p> <p>3. 申し送りノードやタブレットを利用した確実な伝達ができるよう向上していきたい。</p> <p>&lt;他部署とのコミュニケーションもはかれたと思う。&gt;</p> <p>整形病棟で必須となるADL拡大、自立の援助に対しリハビリとカンファレンスを行うことでゴール設定に対し 統一した援助をすることができるようになった。</p> <p>リハビリ室で訓練しているADLを病棟で日常生活に近い病棟で、できるADLに積極的に活かしたり取り組みが独自で考えることができるようになった。</p> |
|                                |   |

## 5.5 5病棟



## 5.6 透析室

|            |   |
|------------|---|
| 平成19年度目標   | <p>&lt;管理目標&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 患者に安全・安楽な維持透析を継続する</li> <li>2. 透析看護師の専門性を高めるために自己研鑽を行う</li> </ol> <p>&lt;活動内容&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. について       <ol style="list-style-type: none"> <li>① 患者の情報収集を十分に行う</li> <li>② 患者とコミュニケーションをとる時間をもつ</li> <li>③ 異常の早期発見と対応</li> <li>④ フットケアの継続</li> </ol> </li> <li>2. について       <ol style="list-style-type: none"> <li>① 透析室での勉強会の実施（1回/月）</li> <li>② 院内・院外研修の積極的参加（3回/人以上）</li> </ol> </li> </ol>   |
| 平成19年度目標評価 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1、について       <ol style="list-style-type: none"> <li>① 個々に自主的、積極的に情報収集し、患者個々の把握が正確にできている状況ではない。リーダーのみが情報の把握が主で全スタッフとの共有が少ない。</li> <li>② 積極的に声かけをすることはできている。</li> <li>③ 患者の訴えを聞き取り、予測を立て対応する。<br/>検査データのチェック、HD中の一般状態、内服薬のチェック、検査もれのチェックなどトータル的に把握し異常の早期発見に努めている。</li> <li>④ 月2回のチェックは継続して実践中</li> </ol> </li> <li>2、について       <ol style="list-style-type: none"> <li>① 定期的にはできていなかった。<br/>問題発生時カンファレンスを行う。<br/>3月～年間スケジュールを立て、月1回実施する。</li> <li>② 院内研修、必須研修は全員参加、院外研修は当院ME部発表のみ参加</li> </ol> </li> </ol> |

## 5.7 ICU

|            |  |
|------------|--|
| 平成19年度目標   | <p>&lt;管理目標&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護計画の確立</li> <li>2. 術後早期離床の確立</li> <li>3. 患者・家族に接する時間を密にする</li> <li>4. 院外研修への参加 1人/回</li> </ol> <p>&lt;活動内容&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. について       <ol style="list-style-type: none"> <li>① 看護計画にそった記録が出来るようになる</li> <li>② オーゼットの活用</li> </ol> </li> <li>2. について       <ol style="list-style-type: none"> <li>① 合併症予防のため医療チームで早期離床に努める</li> </ol> </li> <li>3. について       <ol style="list-style-type: none"> <li>① 会話の出来る患者には出来る限りコミュニケーションを図れるように努める</li> <li>② 意識のない患者には、観察・保清を密にし、呼びかけに心がける</li> <li>③ 面会時間には、家族に状況を説明する</li> </ol> </li> </ol> |
| 平成19年度目標評価 | <p>&lt;管理目標評価&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 初期計画の立案は出来ていた。しかし、長期入室になった場合の修正はあまり出来ていない。今後は、個別性を考えた計画立案や修正、評価が必要。</li> <li>2. 心外術後については、リハスタッフとコンタクトを取りながら早期離床が出来ていた。また、患者の状態、状況をみながら看護師が進んでリハビリを行っているときもあった。</li> <li>3. 個々で意識的に声掛けが、出来ていた。面会時間の配慮も積極的に行っていた。</li> <li>4. 研修参加の希望がある場合は、全てかなえられるように勤務調整を行ったが、個人より希望がなければ研修参加を積極的に勧めたいはしていなかった。全員の院外研修は出来ていない。</li> </ol> <p>&lt;活動内容評価&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護計画に沿った記録は出来ていた<br/>オーゼットについては短期入院のため出来なかった</li> <li>2.</li> <li>3. 保清に関しては、入院患者が多かったり、重症患者が増えると出来ない時があった</li> </ol>  |

## 5.8 マキシロフェイシャルユニット

|            |   |
|------------|---|
| 平成19年度目標   | <p>&lt;管理目標&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. インプラント治療の確立</li> <li>2. 矯正治療の確立</li> <li>3. 口唇口蓋裂児への関わりを広げる</li> <li>4. 病棟看護師の口腔ケア習得の援助</li> </ol> <p>&lt;活動内容&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. について       <ol style="list-style-type: none"> <li>① 広報活動</li> <li>② 患者への正しい情報提供</li> <li>③ アフターフォロー</li> </ol> </li> <li>2. について       <ol style="list-style-type: none"> <li>① 物品の名称・用途を理解する</li> <li>② マニュアルの作成</li> </ol> </li> <li>3. について       <ol style="list-style-type: none"> <li>① 他院の見学（11月 北里大学）</li> <li>② 親の会参加継続</li> <li>③ 親の会運営方法の検討</li> </ol> </li> <li>4. について       <ol style="list-style-type: none"> <li>① 看護部の教育計画にそって活動</li> <li>② 病棟への積極的な働きかけ</li> </ol> </li> </ol> |
| 平成19年度目標評価 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 1年で約140本を超えるインプラント埋入を行なった。<br/>手順の見直しや初診時からのスケジュール表を作成し、患者とスタッフ双方が進行状況を把握し、治療が円滑に行なわれるように努めた。インプラント治療の基礎作りはできた、と考える。今後は工程の短縮化を図り、早期に多くの患者の治療を効率良く、かつ安全に行なえるよう工夫が必要である。</li> <li>2. 1年間での相談数は60人を超え、実際の治療患者数は40人まで増加している。物品の準備も整い、治療の流れのマニュアルを作成し軌道にのり始めている。新人衛生士が担当しているが、日々学習しながら懸命に取り組んでいる。<br/>チェア不足が問題で、診療時間の検討をしている。</li> <li>3. 北里大学病院へ見学に行ったことで、大分の親の会の利点・欠点を知ることができた。20年度は形式や曜日の検討を行い、多くの保護者に参加してもらえるよう運営方法を工夫する予定である。</li> <li>4. 看護部と協力し、歯科衛生士が1年目の看護師への口腔ケアの指導、中堅看護師対象に口腔ケア研修を行なった。<br/>口腔ケア研修では事例をあげて取り組んでもらい、研修生が病棟での中心的役割を担ってとても積極的に関わっていた。来年度も引き続き行なっていく予定である。</li> </ol>   |

## 5.9 外来

|            |   |
|------------|---|
| 平成19年度目標   | <p>&lt;管理目標&gt;</p> <p>1. ER、専門外来看護師のスキルアップをはかる</p> <p>2. 緊急時の対応、蘇生法を学ぶ。</p> <p>&lt;活動内容&gt;</p> <p>1. について</p> <p>① 全職員対象のBLS講習</p> <p>② 1回/月の症例検討会の実施</p> <p>③ AHA-BLS、AHA-ACLS、JPTKの積極的受講と伝達講習</p> <p>2. について</p> <p>① 東救急カンファレンスの開催 (3回/年)</p>              |
| 平成19年度目標評価 | <p>1、について</p> <p>① BLSの担当者ががんばって、1年間病院全体を対象によく行ったと思う。全てのスタッフが参加できるように取り組むことができた。外来看護師のスキルアップになっている。</p> <p>② 症例検討会は色々な事例があり、勉強になった。しかし、全員参加とはいかなかったのが残念だと思う。</p> <p>③ 勉強会には参加しているが、整備等で伝達講習が一部しかできなかった。</p> <p>2、について</p> <p>救急隊との対応が変わったため、カンファレンスができなかった。</p> |

## 5.10 手術室

|            |  |
|------------|--|
| 平成19年度目標   | <p>&lt;管理目標&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. コミュニケーションを円滑にする</li> <li>2. S S I の防止に努める</li> </ol> <p>&lt;活動内容&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. について       <ol style="list-style-type: none"> <li>① 医師・病棟とスムーズな連携・協力を行う</li> <li>② 術前・術後訪問を行い、患者の負担・不安を軽減する</li> <li>③ リーダーを中心に、スタッフ間の連携をはかる</li> </ol> </li> <li>2. について       <ol style="list-style-type: none"> <li>① 標準予防策の遵守</li> <li>② S S I 防止マニュアルの遵守</li> </ol> </li> </ol>  |
| 平成19年度目標評価 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1       <ol style="list-style-type: none"> <li>①           <ul style="list-style-type: none"> <li>・OP 出しや、お迎えが遅くなる時に病棟から連絡がない</li> <li>・OP が延期になった時や、当日に緊急OPが入った時に手術室に連絡がない</li> <li>・検査室にリフトを使って検体を下ろした時に、受け取りを忘れられている<br/>(降ろす前に連絡はしている)</li> </ul> </li> <li>・医師が申し込みしてくる時に、必要物品を備考欄に記入していない。部屋の準備に支障を来たす</li> </ol> <p>以上の様な事でスムーズに行っていない事がある、各部署に申し入れをし、スムーズな連携・協力が得られるようにして行く必要がある。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>②           <ul style="list-style-type: none"> <li>・当日入院の場合は、時間がなく訪問に行けない</li> <li>・手術が立て込んでいる時はスタッフがいないと行けない</li> <li>・時間が空いた時は行けているが、術後訪問は出来ていない</li> </ul> <p>今後は、毎日リーダーが術前術後訪問をスタッフに振り分ける</p> </li> <li>③           <ul style="list-style-type: none"> <li>・連携は取れている</li> </ul> </li> </ol> </li> <li>2       <ol style="list-style-type: none"> <li>①勉強会の参加、研修会の報告などで勉強を行い実践に継げている</li> <li>②サーベランスシートやSSI シートを記入し各項目を漏れなく実施している</li> </ol> </li> </ol> |

## 6. コメディカル部門活動

### 6.1 臨床検査室

#### 1. 概要、構成、スタッフ：

検査技師数：15名（夜間当直1名・緊急冠動脈造影検査1名）夜間夜勤者対応オーバー時にはONコールにて応援対応可能

##### 1) 検査内容：

(1) 【検体検査】生化学検査・血液検査・一般検査・血清検査（輸血含）細菌検査・病理検査

(2) 【生理検査】心電図・脳波・眼底・眼圧・肺機能・抹消神経伝達速度・睡眠時無呼吸検査・ABI・APG・SPP・ホルター心電図・トレッドミル・心エコー・血管エコー（動脈・静脈・シヤント）＊筋電図検査（下顎運動測定器：新規矯正歯科検査）

##### 2) 使用機器：

(1) 【検体検査】生化学機器2台（Dimension）・血液一般機器2台（SYSMEX XT-1800i・XT-2000i）輸血関連自動機器（GELSTATION・1台）・BNP（TOSO-AIA360）全血血糖（ADMS-GA1170）

HbA1c（ADAMS-HA8160）・細菌同定・感受性検査（Microscan Walkway）2台体制はメンテナンス時や繁忙時間帯に威力を発揮しています。GELSTATIONは夜間当番者1人で繁忙時の輸血依頼に威力を発揮しています。

(2) 【生理検査】心電図検査5台（日本光電社）・脳波（日本光電）眼底（キャノン）・眼圧（XPERT NCT）・肺機能（チエストHI-801）・抹消神経伝達速度（日本光電）・睡眠時無呼吸検査（チエスト）・ABI（コーリン）・APG（APG-1000）・SPP（PV-2000）・ホルター心電図5台（日本光電）・トレッドミル（フクダ CM-2000）・心エコー・血管エコー（動脈・静脈・シヤント）4台（GE vivid 7・vividpro・vivid I・東芝）＊新規筋電図検査（下顎運動測定器：矯正歯科検査）

3) 報告体制：オーダーリングシステム使用・電子カルテにて報告。目標：採血後30分報告。全項目電子カルテにて参照可能

##### 4) 看護支援：病棟予約採血試験管準備

5) 診療支援：夜勤者が早朝より入院検体を処理し結果を8:30まで出しています。これは主治医が入院患者様への当日治療指示決定が早くでき、8:30より外来患者様への検査に技師も機器も対応でき、患者サービスにもつながっています。異常値は主治医へ直接報告することで臨床医は早急な対応ができる。血管センター施設として、動・静脈検査機器装備し治療計画・治療評価の判定に役立っています。心臓血管外科開始にて経食道エコー準備補助・輸血管理を検査室が関与する事で安心して手術していただけています。剖検時検査室にて剖検補助・標本管理・CPC準備しています。

6) 業務管理：各機器管理表作成にて毎日チェック・精度管理参加（日本医師会・日臨技・大分）

7) 安全管理：検体取り違え防止目的にて、採血時、生理検査施行時に患者様自身にお名前を言って頂き、試験管・カルテの名前確認を徹底しています。生理検査時での転倒防止としてベッドへの移動時の介助・ベッドの高さ等に配慮し検査室での事故「0」を目標にしています。

8) 感染管理：検体取り扱い時・採血時のグローブ着用、ディスポ採血ホルダー使用、肺機能検査時のディスポフィルター等使用し、患者様への感染防止に努めています。院内ICTとして院内の有用な細菌培養検査結果を感染管理委員長に報告管理しています。

##### 9) 環境管理：適正な感染廃棄物処理

#### 2. 2008年度目標：

地域医療支援病院の診療支援部である臨床検査室は、医療事故「0」を目標に、検体検査30分報告の維持。

医療連携施設の検体検査支援や人材育成に協力すると共に、私たちも学び取り質の向上に努める。血管センターの一員として、患者様に無侵襲で検査できるエコーを始めとし、他検査と総合的診療支援に努める。



矯正歯科2年目を迎え下顎運動検査の増加と検査スタッフ育成。治療に役立つ情報提供に努める。  
細胞検査士2名確保にて、東部病院の細胞診検査を外部委託から院内検査へ変更。  
人材効率を考え、検査システムの構築により敬和会グループ検査室としてリモートでの細胞診検査の構築を完成させる。  
2人ペアにての検査室研究発表会の開催  
院内広報活動に協力し、院内の融合を図りお互いに質の高め合える環境を作る。  
資格認定取得や学会発表・研修など人材育成がしやすい環境作りに努める。  
実習生（後輩の育成）受け入れに協力する。  
医療に対する患者様のニーズは変わり、これからも変化するであろうニーズに柔軟に対応し受け入れる姿勢は崩さずにいく。

### 3. 2007年度実績：

|          |       |        |       |
|----------|-------|--------|-------|
| 一般検査     | 20092 | 生化学検査Ⅱ | 14072 |
| 血液検査     | 85037 | 細菌検査   | 7456  |
| 血清検査     | 47840 | 病理検査   | 2755  |
| 生化学検査Ⅰ   | 52337 | 生理検査   | 15675 |
| (内まるめ件数) | 34284 | (心電図)  | 8544  |

| 検査項目       | 2005 | 2006 | 2007 |
|------------|------|------|------|
| 心エコー（ドプラー） | 2035 | 1856 | 2020 |
| TEE        | 29   | 54   | 53   |
| 頸動脈エコー     | 277  | 216  | 225  |
| 腎血管エー      | 383  | 251  | 166  |
| 下肢動脈エコー    | 195  | 323  | 320  |
| シャントエコー    |      |      | 44   |
| APG        | 158  | 143  | 252  |
| spp        | 212  | 325  | 331  |
| ABI        | 1304 | 1308 | 1318 |

### 4. 講演：

2007. 6. 10 後藤忍 大分県技師学会 ICT活動と臨床検査技師

### 5. 資格取得：

細胞検査士 板井圭司  
超音波認定士（血管領域） 伊東佳子 椎原百合香

### 6. 実習生受入状況：

文理大学医療専門学校 1名

#### 6.2 栄養部

##### 1. 概要、構成、スタッフ：

病院管理栄養士：4名

委託業者(株)レオック西日本

管理栄養士：2名 栄養士：2名 調理師：4名 調理員：10

入院患者の食数管理をはじめ、栄養管理を行う。栄養管理については、栄養士が直接患者と対話し、全入院患者を対象に栄養管理計画書の作成を行ない、栄養管理を治療の一環として、個々の疾病に合った食事を提供していく。NST 活動では、チーム医療の一員として、ラウンドへの参加、栄養状態の判定、食事内容の検討を行っている。栄養状態不良の患者に関しては、主治医、看護師、薬剤師、言語聴覚士、臨床検査技師など多職種との連携をとり栄養管理を行なう。必要な患者に関しては栄養指導を行ない、栄養治療の必要性を認識させる。後期高齢者に対しては低栄養や疾病の重症化を防ぐため、退院後の適切な食事管理について指導及び情報提供を行ない、日常に即した食事に継げる。また、集団栄養指導を通じ、入院患者をはじめ、地域住民との関わりを深めている。

## 2. 2008 年度目標：

1. 栄養管理システムの導入
2. 入院・外来栄養指導 200 件/月
3. やわらか食の確立

## 3. 2007 年度実績：

1. やわらか食開始
2. 訪問指導件数  
訪問件数 6653 件  
入院栄養指導件数 1076 件  
外来栄養指導件数 441 件  
集団栄養指導件数 67 件
3. NST 介入件数 31 件

## 4. 学会発表 勉強会：

2008/2/21. 22 藤田知子 第 23 回日本静脈経腸栄養学会 京都 回腸切除後患者の栄養管理～経腸栄養から経口摂取へ移行した症例  
2007/12/9 金澤 孝浩 大分岡病院 腎友会 第 5 回勉強会 災害時の食餌療法について・透析食の試食と解説

## 5. 実習生受入状況：

別府大学：2 名 中村学園大学：2 名 九州栄養福祉大学：2 名

## 6. 3 ME 部

### 1. 概要、構成、スタッフ：

臨床工学技士 10 名 (兼務)  
透析室 看護師 9 名  
外来透析患者数 44 名 入院透析患者数 15 名程度  
透析コンソール 28 台 単身用透析装置 2 台  
透析時間 月～土 9:15～17:30 緊急対応可  
カテ室 循環器科カテ (火・木・金) 緊急対応可  
手術室 一般手術機器準備 人工心肺操作 緊急対応可  
ME 機器管理室 人工呼吸器・輸液ポンプ・シリンジポンプ・除細動器  
各種モニター管理、等  
高気圧酸素治療室 1 種(単身用) 2 機 緊急対応可

## 2. 2008 年度目標：

- ① 患者さんの安全を第一に考え、患者さんの立場にたった信頼される安全で高度な医療技術の提供
- ② 高度医療と24時間体制の救急医療に対するME体制の確立
- ③ 自己啓発を積極的に行い効率の良い業務の実践
- ④ 地域連携を強化し地域で患者さんを支える医療体制の構築

### 3. 2007年度実績：

総透析件数 8771件

紹介透析患者数 181症例

紹介内容：循環器科(100) 創傷センター(42) 心臓血管外科(11) 整形外科(14)  
消化器外科(8) 呼吸器科(5) 脳外科(1)

持続緩徐式血液濾過透析 39症例 123回

新規透析導入 14名

高気圧酸素治療 救急 20症例・88回 非救急 76症例・1060回

### 4. 学会発表：

2007/12/2 安藤佳祐里 九州人工透析研究会 大分岡病院 透析室におけるフットケアの取り組み

### 5. 口演・講義・指導

2007/12/9 後藤公成 大分岡病院 腎友会 第5回勉強会 災害時の対応策考察

### 6. 実習生受入状況

大分県臨床工学技士専門学校 9名

日本文理大学医療専門学校 臨床工学科 4名

#### 6.4 放射線部

(はじめに)

2007年度の放射線部は、医師2名、診療放射線技師11名、事務員2名、放射線部看護師(外来所属)4名を合わせた19名で構成されている。以下に2007年度の活動を紹介する。

(安全管理体制)

放射線部は例年通り大型装置の取り扱いによる患者への傷害が発生しないように、装置の安全管理(保守点検や日常点検)や取扱に注意するよう努めた。また被ばく低減についても各モダリティごとに十分配慮できるように努めた。また2007年6月にMRI装置の更新に伴い磁場強度が1.0Tから1.5Tとなり、吸着事故への注意を再度徹底することが必要と考え勉強会を開催した。また各モダリティにおける安全マニュアルの作成や医療機器安全点検計画書を作成し、放射線部の機器管理を実施した。この功績として第1撮影室の一般撮影装置の経年劣化を指摘し更新を行った。

(業務体制強化)

当直1名、待機1名の体制には変更ないが、当直技師の対応可能な検査の充実を図る為、MRI装置の撮影技術習得や、血管造影検査の前準備の実施など緊急検査の迅速対応範囲の拡大に努めた。

(業務運用)

本年度6月にMRI装置の更新を行い、磁場強度も1.0Tから1.5Tへ向上した。これに伴い、画質クオリティ向上の実現や時間短縮を行い、より正確な診断に貢献している。

また12月には第1撮影室の一般撮影装置更新やCRシステムの更新、フラットパネルシステムの導入など、放射線画像診断の基礎となる一般撮影領域の充実を図った。これにより撮影時間の短縮はもとより被ばく低減も実現し、

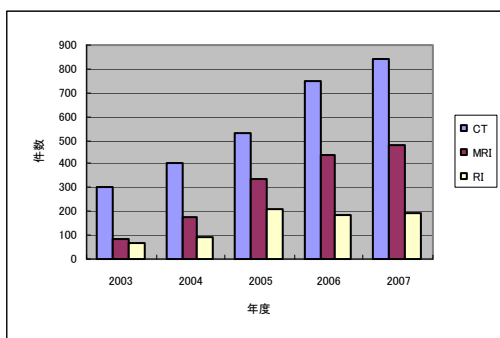
フィルムレスへのスムーズな移行が可能となるシステムの構築ができた。

(2007年度実績)

<検査件数>

|      |        |      |       |
|------|--------|------|-------|
| 一般撮影 | 19,319 | パノラマ | 1,052 |
| C T  | 7,068  | US   | 1,416 |
| MRI  | 1,853  | 骨塩定量 | 103   |
| DR   | 371    | 時間外  | 3,193 |
| RI   | 265    | 健康診断 | 461   |

<オープン検査件数推移>



(2008年度目標)

来年度は4月に施行される診療報酬改訂のデジタル映像化処理加算算定基準変更への対応として、現在実施しているフィルムレス（C T・MRI・RI と透視の一部）を、放射線部で発生する全画像へと対象を拡大する必要があるため、各診察室などの読影環境整備を行わなければならない。

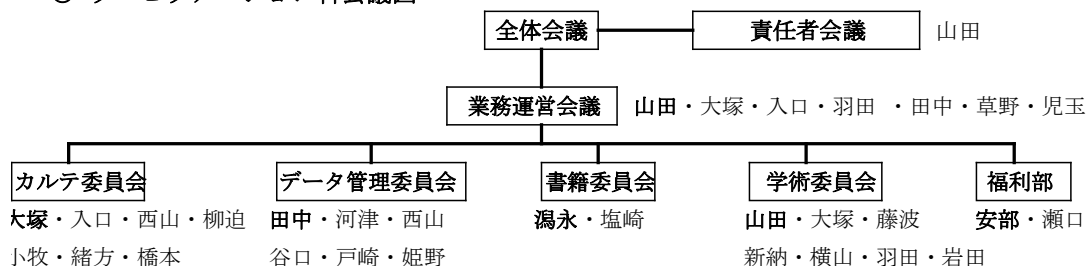
人材育成に関しては部内会議（月1回開催）を勉強会を兼ねた時間とし、スタッフ一人一人の撮影技術向上や標準化に向けた取り組みとするほか、各種学会や研究会などへ積極参加（発表を含め）し、放射線部内のスキルアップに努める。

また2007年度よりインフォームドコンセントの一環として開始した、CT/MRI の造影検査に対する説明並びに同意書の作成についても、関係部署と連携してより良いものへと改善を行わなければならない。

## 6.5 リハビリテーション部

## 1. 概要、構成、スタッフ：

## ○ リハビリテーション科会議図



## ○ 病棟担当

- 2病棟：田中・新納・甲原・橋本  
 3病棟：入口・瀬口・森田・戸崎・永石・姫野  
 4病棟：谷口・藤波・潟永・小牧・横山  
 5病棟：河津・西山・安部

## ○ 外来担当

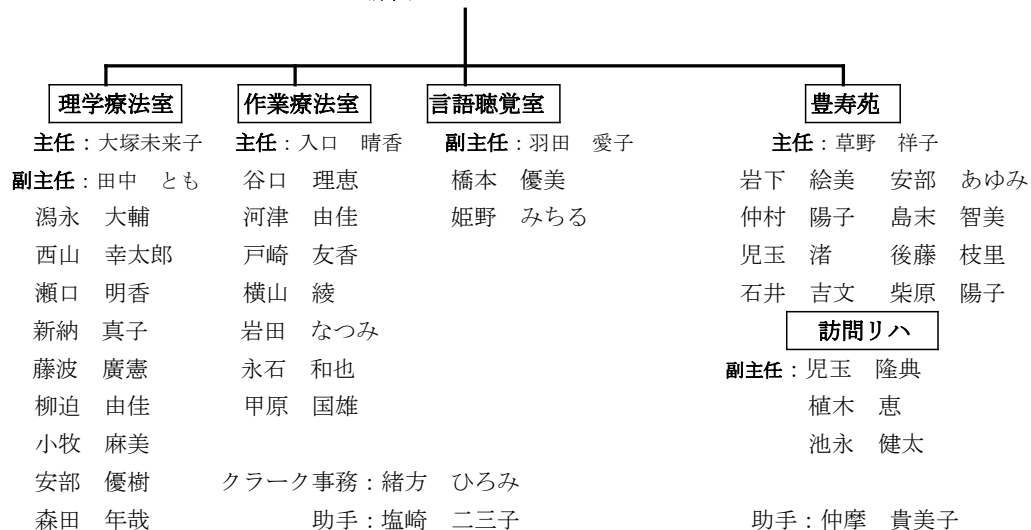
- P T：大塚・柳迫  
 O T：山田・岩田  
 S T：羽田  
 ○ 心大血管疾患：西山・安部  
 ○ 呼吸器疾患：田中・新納

## ○ 院内委員会

医療情報管理委員会（大塚・西山）感染症対策委員会（入口・新納）医療安全委員会（戸崎・潟永）  
 防災施設管理委員会（安部）労働安全衛生委員会（藤波）機能評価委員会（山田）  
 広報委員会（河津・小牧）サービス委員会（横山・永石）褥瘡委員会（田中・瀬口）ES委員会（岩田・森田）ボランティア活動（柳迫）栄養管理（姫野）教育・研修（羽田・甲原）  
 栄養管理 NST（橋本）保育所運営（谷口）DM委員会（西山）

## ○ 人員組織図

心大血管疾患：宮本 Dr 脳血管疾患：山口 Dr 運動器疾患：清水 Dr 呼吸器疾患：葦原 Dr  
 課長：山田 康二



## 2. 2008年度目標：

- ・心大血管疾患のエビデンス検証
- ・各疾患クリティカルパスの作成
- ・休日リハビリ体制

## 3. 2007年度実績：

## 1) 脳血管疾患 (I) 患者取り扱い (延人数)

- ・理学療法 8309人
- ・作業療法 8730人
- ・言語聴覚療法 780人

## 2) 運動器疾患 (I)

- ・理学療法 8907人
- ・作業療法 4678人

## 3) 心大血管疾患 (I)

- ・理学療法 3505人

## 4) 呼吸器疾患 (I)

- ・理学療法 1115人

## 5) 摂食機能療法 4672人

**4. 学会発表:**

2007/11/17-18 河津由佳 第29回九州理学療法士・作業療法士合同学会 鹿児島 慢性創傷患者に対する作業療法の必要性～足踏切断患者を経験して～

2008/1/27 横山綾 第11回大分県作業療法学会 別府 THA術後患者のADL訓練への介入～前方アプローチと後方・側方アプローチとの比較～

2007/11/17-18 大塚未来子 第29回九州理学療法士・作業療法士合同学会 鹿児島 疾患別リハビリテーション体系に対応した処方システムの構築

2007/12/9 田中とも 第11回大分県理学療法士学会 別府 急性期病院における廃用症候群の現状と今後の変換～当院における廃用症候群の実態調査～

2007/8/30 新納真子 大分ブロック症例検討会 大分 術後肺炎を起こした症例のADL自立に向けて～認知症患者に対するアプローチの工夫～

2008/2/14 安部優樹 大分ブロック症例検討会 大分 急性心筋梗塞を呈した症例について～再発予防のための指導～

2008/3/30 田中とも 第26回大分県救急医学会 大分 当院救急科における廃用症候群患者の現状とリハビリテーションの課題

2008/1/27 羽田愛子 第6回大分県言語聴覚士会学術研究発表会 大分 口唇・口蓋裂治療の現状と今後の展望～大分県内小児施設実態調査および大分県口唇・口蓋裂親の会「かけはし」への支援を通して～

2007/11/1 橋本優美 大分ブロック症例検討会 大分 右上顎癌術後、左頸部リンパ節転移により嚥下障害を呈した1症例を経験して

**講義**

2007/9/20 山田康二 地域包括支援センター研修会 鶴崎 在宅ケアと介護予防の考え方  
座長

2007/5/17 山田康二 第113回じっと手をみる会 大分 手関節のセラピー

**5. 実習生受入状況:**

## OT科

大分リハビリテーション専門学校(大分県) 長期実習1名 短期実習1名

藤華医療技術専門学校(大分県) 長期実習1名 短期実習2名

大阪リハビリテーション専門学校(大阪府) 長期実習1名

彰栄リハビリテーション専門学校(東京都) 長期実習1名

## PT科

大分リハビリテーション専門学校（大分県） 長期実習 1名 短期実習 1名 2年次評実習2名

長崎リハビリテーション学院（長崎県） 長期実習 1名

藤華医療技術専門学校（大分県） 長期実習 1名 短期実習 2名

西日本リハビリテーション専門学校（熊本県） 長期実習 1名

ST科

大分リハビリテーション専門学校（大分県） 短期実習生 1名 長期実習生 1名

## 6.6 薬剤部

### 1. 概要、構成、スタッフ

「調剤、製剤、DI、薬剤管理指導」等を通じて、医薬品の適正使用に努めます。

薬剤部長・薬剤課長・薬剤師、計8名及び薬剤助手1名

### 2. 2008年度目標：

入院患者さんに対して段階的に薬剤管理指導業務を強化する（入院時における初回面談、それに伴う持参薬の確認、服薬指導およびその情報の共有、退院指導の工夫）

### 3. 2007年度実績：

薬剤管理指導件数 2328、無菌製剤処理件数 1588、入院処方箋枚数 32562、入院注射箋枚数 57303、外来処方箋枚数 5141、外来注射箋枚数 11154

### 4. 実習生受入状況

熊本大学 1名

福岡大学 1名

武庫川女子大学 1名

7. 委員会活動

| 平成20年度 各種委員会構成メンバー        |   |                        |             |                                 |   | H20年7月1日現在  |
|---------------------------|---|------------------------|-------------|---------------------------------|---|---|
| 名称                        | 開催日   | 責任者                    | 事務局         | メンバー                            | 目的  |   |
| 法人会議                      | 理事会   | 年2回                    | 理事長         | 法人本部                            | 理事  | 法人本決算、中間決算及び役員報酬に関する。他に定款に関する内容変更。  |
|                           | 法人経営会議(旧経営会議)                                       | 1回/月( )                | 理事長         | 法人本部                            | 理事、事務所部門長   | 財務・経営に関する報告に基づき、短期・中期・長期の事業計画・財務運用計画の進捗状況の把握、見直しと経営方針の決定、次年度の予算及び決算報告。                          |
|                           | 経営管理会議(旧月・金の朝会)                                     | 2回/週(月・金)              | 理事長         | 各事務系                            | 院長、副院長、領野名誉院長、事務系・看護部部長   | 月・週・日単位の事業(行事)計画及び実行、予算の確定、決裁・実行。理事長、院長、各部門の進捗及び当日スケジュールの確認。                                    |
|                           | 管理委員会(旧水曜日の朝会)                                      | 1回/週(水)                | 法人統轄部長      | 法人本部                            | 看護・コメディカル・事務所部門長  | 院内の行事、経営計画、改善項目(クレーム)など執行項目を共有化し、対策・推進策を協議しつつ把握を定める。実施事項の確認を行う。                                 |
| 法人委員会                     | 敬和会連携会議   | 1回/月<br>(第2水曜日16:00)   | 看護部長        | メディカル・リンク・センター・広報・マーケティング部      | 各施設の看護部・SW  | 敬和会グループとして患者(利用者)の入院(所)・建院(所)状況の共有を行い、施設の特徴を生かし、グループとしての関わりについて協議・検討を行う。                        |
|                           | 人事・労務委員会  | 臨時                     | 理事長         | 人事部長                            | 各事務系、看護部長、経営室長、人事課長   | 職員の労務に関する問題点を、就業規則との相違性を求めた検討や、賞与に関する事項を協議する。また、就業規則や業務規程など時代に合った見直しをする。                        |
| 病院内会議                     | 保育所運営委員会(旧次世代育成委員会)                                 | 臨時                     | 理事長         | 人事部長                            | 看護部長、吉住副部長、新野課長補、谷口少、平山看護、大島看護、成児、保育士、人事(武石・阿部)、利用者代表                               | 保育所の運営にあたり、敬和会職員が満足して利用できるよう、環境保育士と協議をし、より良い保育所づくりに必要な項目を検討する。                                  |
|                           | 病床運営委員会   | 2回/月<br>(第1・3水曜日16:00) | 院長          | 看護部長、メディカル・リンク・センター・広報・マーケティング部 | 診療部長、医師長・MSW、各診療部長  | 当院が中核を成る病院として適切な運営に、地域医療支援病院としての適切な医療連携ができるよう、組織的に入院・退院の管理を行う。                                  |
|                           | 責任者運営会議   | 1回/月<br>(月末水曜日)        | 院長          | 事務系                             | 副院長、医師長、各部署責任者  | 病院業績報告、各部署や各委員会からの伝達、その他各部門からの報告に基づいて、意見交換を行い、部門間の調整をし、病院全体の適切な運営を図ることを目的とする。                   |
|                           | 各部署会議(医師、看護部、医事課、薬剤科、検査科、放射線科、リハビリ、放射線部、栄養課、創薬センター) | 各部署毎                   | 各部署長        | 各部署担当者                          | 各部署職員   | 各部署単位での運営、業務の改善、問題解決などの協議をすることを目的とする。   |
|                           | 教育・研修委員会  | 1回/月                   | 人事部長        | 人事部                             | 人事・総務部、看護管理室、看護部1名、診療情報管理室、ME、放射線科  | 組織人として自覚と責任ある行動がとれる人材を育成することを目的として設置する。   |
|                           | ER・外来運営会議   | 1回/月                   | 院長          | ER部長・部長、医事課長                    | 医師、ER看護部、医事課、医療連携課、コメディカル   | 地域医療支援病院としての救急患者の受け入れの備え、ERとしての円滑な運営を図る。  |
|                           | ICU運営会議   | 1回/月                   | 院長          | ICU部長・部長                        | 医師、ICU看護部、医事課、各部長、コメディカル  | ICUとしての円滑な運営と、質の高い治療と効率率の向上を図る。   |
|                           | 手術室運営会議   | 1回/月                   | 院長          | 手術室部長・部長                        | 医師、手術室看護部、医事課、臨床工学士   | 手術室の円滑な運営を図るため、手術計画の作成、器具・材料及び環境の整備、感染対策など協議する。   |
|                           | 透析室運営会議   | 1回/月                   | 院長          | ME課長                            | ME部 透析室看護部長 関係医師 各看護部長  | 透析室の円滑で安全な運営を図る。  |
|                           | 薬事審議会   | 臨時                     | 院長          | 薬剤部長                            | 医師、薬剤師、購買物流担当   | 病院内の経路開通として、当院で使用する最新及び治療薬品の安全性と有効性に留意を徹底し、医薬品による事故を未然に防ぐとともに、合理的採用と運営により診療活動の円滑化をはかることを、目的とする。 |
| 医療材料委員会                   | 臨時  | 院長                     | 購買・物流課長     | 事務系、医師長、看護部長、関係部署長              | 医療材料の購入、使用ならびに標準化などにかかる事項を審議し、原価意識の向上と医療材料の適正な管理と使用を図る。                             |   |
| 委員会名称 開催日 委員長 事務局 メンバー 目的 |   |                        |             |                                 |   |   |
| 病院内委員会                    | 臨床倫理委員会   | 臨時                     | 名誉院長        | 事務系                             | 名誉院長、事務系、看護部長、医療安全管理室副部長、薬剤課長、経営企画室長、及び関係者  | 臨床現場に於ける倫理問題の解決を図り、院内の臨床研究の倫理的妥当性を協議する。   |
|                           | 治療審査委員会(IRB)  | 臨時                     | 名誉院長        | 創薬センター                          | 名誉院長、小児科部長、薬剤課長、統轄部長、経営企画室長、(外部有識者・弁護士)   | 研究対象者の権利と福利を保護し、人を対象とする研究の倫理性を評価する。   |
|                           | 臨床研修委員会   | 1回/月                   | 院長          | 立川副院長                           | 医師、臨床研修事務局  | 新医師臨床研修運営に関する事項を検討。   |
|                           | 医療安全管理委員会   | 1回/月<br>(第3水曜日17:00)   | 山口副院長       | 医療安全管理副部長                       | 院長、事務系、看護部長、各部署代表、看護部(各看護部長)  | 医療事故防止のため、日々の把握・評価・分析・対応にて、医療の質を確保する。また、報告等をもとに安全管理のメカニズム作成と連携に努める。                             |
|                           | 感染管理委員会   | 1回/月<br>(第1水曜日16:00)   | 医療感染管理部長    | 感染管理副部長                         | 院長、事務系、看護部長、薬剤部、検査課、他各部署代表  | 委員会は病院長の諮問に応じ、院内感染を予防することを目的とし、その具体策を検討・立案するとともに、その決定により対策を実施する。                                |
|                           | 褥瘡対策委員会   | 1回/月<br>(第4金曜日18:00)   | 泌尿Dr        | 褥瘡専任看護部                         | 皮膚科医師、看護部(各病棟)、薬剤部、リハビリ、事務、栄養課  | 褥瘡対策を話し合いしその効果的な推進を図るため、委員会を設置する。   |
|                           | 医療ケア安全管理委員会   | 1回/年                   | 帆足Dr        | ME課長                            | 看護部長、各看護部長、購買物流課、施設管理   | 医療ケア設備(診療用)に使用する酸素・各種吸引システム、医療用圧縮空気・吸引(吸引びく)の安全管理と適切な使用方法の普及に努め、患者の安全を確保する。                     |
|                           | 労働安全衛生委員会   |                        | 産業医(徳野名誉院長) | 検査課                             | 各部署、看護部(各看護部長)  | 職員の定常的な健康診断を実施するとともに、安全衛生管理に関して必要な事項を定める。   |
|                           | 臨床検査適正化委員会  | 1回/月(月末16:00)          | 立川副院長       | 検査課長                            | 担当医師、検査課、看護部、医事課  | 臨床検査を適正かつ円滑にするための検討をおこなう。   |
|                           | 輸血療法委員会   |                        | 帆足Dr、道Dr    | 検査課長                            | 担当医師、検査課、看護部、医事課  | 輸血製剤の適正かつ有効に行なわれていたか検討・審議する。  |
|                           | 防災・施設管理委員会  | 1回/6ヶ月(臨時)             | 院長          | 施設管理部長                          | 各部署、看護部(各看護部長)  | 消防法に基づき防災管理業務及び施設防災応急計画について、必要な事項を検討し、非難訓練を計画し、実行することで人命の安全を確保する。                               |
|                           | 診療報酬改善検討委員会   | 1回/月<br>(第3土曜日10:00)   | 院長          | 医事課長                            | 医師、医事課、診療情報管理部、経理、看護部(各看護部長)、コメディカル   | 適宜及び近隣の金額や率を把握するとともに、内容について充分な検討と適切な改善案を吟味し、再審査請求を組織的に検討する。                                     |
|                           | 診療情報管理委員会   | 1回/月<br>(第3水曜日16:30)   | 院長          | 診療情報管理部長                        | 各部署、看護部(各主任)  | 診療情報管理上、診療情報に関する事項を検討、協議することを目的とする。   |
|                           | 栄養管理(NST)委員会  | 1回/月                   | 徳野(信)Dr     | 薬剤部長                            | 医師、薬剤部、看護部、リハビリ(言語聴覚士)、栄養士、医事課  | すべての疾患治療に共通する、最も基本的な医療である栄養管理を推進させ、院内に確立させることを目的とする。  |
|                           | 栄養管理委員会   | 1回/月                   | 栄養室主任       | 栄養室・委託業者                        | 管理栄養士、看護部・保育室、医事課   | 疾病治療に必要な栄養を供給し、患者さんが満足できる食事を提供するため、計画・調査・改善など必要事項を検討する。   |
|                           | 糖尿病委員会  | 1回/月                   | 立川副院長       | 糖尿病療養指導士                        | 医師、看護部、検査課、栄養士  | 糖尿病及び生活習慣病の対策を話し合い、その効果的な推進を図ることを目的とする。   |
|                           | 患者サービス向上委員会   | 1回/月                   | 総務部長        | 医療相談室                           | 各部署、看護部(中堅看護部:10年以上)  | 患者さんの満足度調査をはじめ、より良い環境を提供するため必要な事項を検討する。   |
|                           | BS向上委員会   | 1回/3ヶ月                 | 人事部長        | 経理                              | 医師、看護部(中堅看護部:10年以上)、ME、検査、放射線科、リハビリ、薬剤部、医事、医療連携、人事、経理                               | 職員の福利厚生と年間行事計画の立案と実行  |
|                           | 広報委員会   | 臨時                     | 広報マーケティング部長 | 医療連携課長                          | 各部署、看護部(各看護部長又は主任)  | 広報活動を適切かつ円滑に行い、連携病院・医院をはじめ関係団体とのパイプ役となる。  |
|                           | 労働安全衛生委員会   | 1回/月                   | 事務系         | 検査課                             | 検査課長 放射線課長 購買・物流課長 各所長  | 職員の労働安全衛生を維持し、事故・災害の発生を予防する。  |
| ボランティア活動推進委員会             | 臨時  | 人事課                    | 医療連携課       | 各部署、看護部(各看護部長)                  | 患者さんの療養上の支援のため、ボランティアを体制をつくり、積極的な受け入れ推進の活動を行なう。また、職員が地域ボランティアに活動できるような検討や、働きかけを行なう。 |   |



## 7.1 医療安全委員会

### 医療安全委員会

- 1) 2008年の目標「レベル3以上の医療事故をゼロにする」
- 2) 2007年の実績報告

#### <医療安全委員会活動>

- 1) インシデント・アクシデントの収集と分析
- 2) 事故防止の対策立案施行
- 3) 院内での医療安全教育（全体研修会の企画年2回、その他の部署別勉強会）
- 4) 医療安全管理者の外部の研修会、学会等への出席
- 5) 医療安全委員会の開催（1/M）
- 6) 医療安全マニュアルの改訂（随時）

#### （内容）

インシデント報告は590例、そのうち薬剤関係で40%、検査・処置が18.7%、転倒・転落が13.9%であった。事故レベルではレベル1が231例、レベル2が247例、レベル3が26例（4.6%）となっていた。これらは年2回、分析を行い、「ヒヤリ・ハット集」にて伝達した。事故対策としては、ベッド整備不備などによる事故防止のためベッド点検を実施し、今後も定期的な点検を行うようにした。

安全教育としては、2007年冒頭に他の医療機関で輸液ポンプ使用での医療事故が発生したため、当院でも輸液ポンプ使用時の注意を促す上で研修会を行った。

MEに協力を仰ぎ輸液ポンプの使用時の注意事項、またミスを起こしやすい状況、取り扱いの不備によって患者に与える影響等を研修した。

対象は看護師、その他コメディカルで、出席率は79.4%

また、年2回の全体研修会では、6月に「リスクマネジメントの基礎」、11月に「事例から学ぶ事故後の対応」と題した外部講師による研修会を行った。出席率は70.5%であった。

月1回の医療安全委員会では、レベル3、または周知の必要なアクシデントが起きた場合には、状況等を委員会で説明し、患者への事故後対応や今後の対策等の検討報告を行った。

## 7.2 感染管理委員会

### 1. 目標・方針

大分岡病院の理念「敬和」に基づき、『患者を守る、自分を守る、仲間を守る』をモットーに院内の感染対策を展開していきます。そして、各部門、各部署からの問題点や改善案をもとに検討を行ないます。

### 2. 2008年度推進計画

- 1) SSI、UTI サーベイランスによる感染率の低減
  - ① 心臓血管外科、整形外科におけるSSIサーベイランスの開始
  - ② JANISへの参加、報告（SSI部門、ICU部門、検査部門）
- 2) マニュアルの作成、改訂
  - ① 新型インフルエンザ対策マニュアルの作成
- 3) 職業感染防止対策の見直し
  - ① 針刺し・切創事故後のフローチャート見直し
  - ② 患者への検査依頼文章検討
  - ③ 針刺し当事者のフォロー検査を徹底
- 4) 職員教育の実施（2回/年）
- 5) 連携協議会の継続

### 3. 2007年度実績

## 1) SSI、UTI サーベイランスによる感染率の低減

3病棟におけるUTIサーベイランスを継続。今年度より5病棟におけるUTIサーベイランスをLN、ICNを中心に開始した。年度内にデータのフィードバックは出来ていないが、尿培養より、菌検出例が数件見られたため、カテーテル挿入中の管理についてLNを中心に検討した。

また、消化器外科におけるSSIサーベイランスを継続。2007年度を3期に分け、SSI発生率を見ると、1期に比べ2期、3期のSSI発生率が高かった。感染症例のほとんどが穿孔症例であり、リスクインデックスも高かった。また感染部位は全て表層感染であった。この件については関連部署と緊急会議を行い、マニュアルに沿って現状を確認。抗菌薬の術中追加投与、術中の手袋交換、術後の創管理、創縁の保護等について検討を行なった。

## 2) マニュアルの作成、改訂、各報告ルートの明確化

結核、流行性ウイルス疾患、インフルエンザ発生時に各部署で迅速な対応が出来るように、発生時の対応フローチャートを作成した。

(報告ルート、防止対策を含めたものを作成)

## 3) 職業感染防止対策の見直し(静脈留置針)

現在、静脈留置針はアクティブタイプ(使用者が何らかの操作をして安全機構が作動するもの)を使用しているが、誤って安全機構を作動させてしまったり、安全機構を作動させる時に血液を曝露してしまうことがあるとのことで、今回パッシブタイプの静脈留置針の導入を検討した。パッシブタイプとは、使用者が操作することなく、静脈留置を行なう一連の流れの中で、自動的に安全機構が作動するタイプのことである。看護部で試用するが、評価は悪かった。そこで、現状では針刺し事故等は起っていないということでアクティブタイプを継続して使用することとなった。

また、針刺し事故サーベイランスの結果、リキャップ時の針刺しが毎年数件発生しているため、リキャップ撲滅キャンペーン(3月17日～21日)を行った。

## 4) 職員教育の実施(2回/年)

<全職員対象>

|      | 1回目               | 2回目       |
|------|-------------------|-----------|
| 開催日  | 平成19年7月           | 平成19年10月  |
| テーマ  | 「あなたはできますか?標準予防策」 | 「治療環境管理」  |
| 参加率  | 82.1%(全体)         | 64.1%     |
| 評価方法 | 終了後にテスト実施         | 終了後にテスト実施 |

<鋭利器材を取り扱う職員対象>

針刺し防止に関する研修会を3回実施。

テーマ:「あなたはリキャップしていませんか?」

参加人数:203名

## 5) 連携協議会の継続

月1回、「感染管理担当実務者連携協議会」を実施している。当院を含め9施設の感染管理実践者が参加している。協議会の主な内容は、①各施設での感染管理実践例の報告、②ディスカッション、報告者からの問題提起、③勉強会等である。

## 4. 感染管理教育講演会実績

## 1) 日時:2007年6月7日 18時～19時

テーマ:「コンピテンシーとベストプラクティス」

講師:土井 英史 先生

## 2) 日時:2007年11月1日 18時～19時

テーマ:「感染管理における戦略と効果的な介入」

講師：土井 英史 先生

3) 日時：2008年3月6日 18時～19時

テーマ：「結核について」

講師：葦原 義典 先生

## 5. 年間活動実績

<院外>

| 氏名   | 表題名                     | 発表誌名・主催等          | 年月日         | 開催地等 |
|------|-------------------------|-------------------|-------------|------|
| 幸 直美 | 当院での感染管理の実践             | NPO 法人 日本感染管理支援協会 | 2007年3月3日   | 福岡   |
| 幸 直美 | 当院での感染管理の実践             | NPO 法人 日本感染管理支援協会 | 2007年7月21日  | 北海道  |
| 幸 直美 | ノロウイルス対策                | 丸石製薬株式会社          | 2007年8月4日   | 福岡   |
| 幸 直美 | 当院での感染管理の実践 ～標準予防策を中心に～ | 新別府病院             | 2007年8月1日   | 大分県  |
| 幸 直美 | 血管カテーテル関連感染防止対策         | 大分県臨床工学技士会        | 2007年11月11日 | 大分県  |
| 幸 直美 | 中心静脈カテーテル関連血流感染防止対策     | 大分東部病院            | 2007年11月29日 | 大分県  |
| 幸 直美 | 院内感染予防の基本               | 大分県別府県民保健福祉センター   | 2007年12月18日 | 大分県  |
| 幸 直美 | 感染管理の基礎                 | 豊後大野市医師会          | 2008年3月13日  | 大分県  |

<院内>

| 氏名   | 表題名                 | 年月日           | 対象                       |
|------|---------------------|---------------|--------------------------|
| 幸 直美 | 新入職員、中途採用者オリエンテーション | 2007年4月<br>臨時 | 敬和会全体の新入職員<br>大分岡病院中途採用者 |
| 幸 直美 | 実習生オリエンテーション        | 臨時            | 全部署実習生                   |
| 幸 直美 | 血流感染防止対策            | 2007年10月25日   | 大分岡病院、大分東部病院 LN          |
| 幸 直美 | 尿路感染防止対策            | 2007年11月22日   | 大分岡病院、大分東部病院 LN          |
| 幸 直美 | 手術部位感染防止対策          | 2007年12月20日   | 大分岡病院、大分東部病院 LN          |
| 幸 直美 | 人工呼吸器関連感染防止対策       | 2008年1月24日    | 大分岡病院、大分東部病院 LN          |
| 幸 直美 | 洗浄・消毒・滅菌            | 2008年2月28日    | 大分岡病院、大分東部病院 LN          |

### 7.3 薬事審議委員会

### 7.4 治験審査委員会

#### 1. 2008年度目標：

- 1) 全ての被験者の人権、安全及び福祉を保護する。
- 2) 治験がGCP省令に基づき適正かつ安全に計画されているか、また倫理的、科学的及び医学的妥当性の観点から治験の実施及び継続の可否を慎重に調査審議する。

#### 2. 2007年度実績：

- 1) 第30回治験審査委員会開催（2007年4月23日）  
審議事項：① 新規治験受託の可否についての審議：1件

- ② 新たな安全性に関する情報についての審議 : 5件
  - ③ 治験実施計画書等の変更についての審議 : 6件
  - ④ 治験継続の可否についての審議 : 2件
- 2) 第31回治験審査委員会開催 (2007年6月25日)
- 審議事項 : ① 新たな安全性に関する情報についての審議 : 6件
  - ② 治験実施計画書等の変更についての審議 : 7件
  - ③ 治験継続の可否についての審議 : 1件
  - ④ 重篤な有害事象に関する報告書についての審議 : 1件
- 3) 第32回治験審査委員会開催 (2007年8月9日)
- 審議事項 : ① 新規治験受託の可否についての審議 : 1件
  - ② 新たな安全性に関する情報についての審議 : 5件
  - ③ 治験実施計画書等の変更についての審議 : 5件
  - ④ 治験継続の可否についての審議 : 1件
- 4) 第33回治験審査委員会開催 (2007年9月26日)
- 審議事項 : ① 新規治験受託の可否についての審議 : 2件
  - ② 新たな安全性に関する情報についての審議 : 6件
  - ③ 治験実施計画書等の変更についての審議 : 2件
- 5) 第34回治験審査委員会開催 (2007年10月23日)
- 審議事項 : ① 新規治験受託の可否についての審議 : 1件
  - ② 新たな安全性に関する情報についての審議 : 7件
  - ③ 治験実施計画書等の変更についての審議 : 5件
  - ④ 治験継続の可否についての審議 : 1件
- 6) 第35回治験審査委員会開催 (2007年12月3日)
- 審議事項 : ① 新たな安全性に関する情報についての審議 : 3件
  - ② 治験実施計画書等の変更についての審議 : 4件
  - ③ 被験者の募集手順 (広告) についての審議 : 1件
- 7) 第36回治験審査委員会開催 (2008年1月11日)
- 審議事項 : ① 新規治験受託の可否についての審議 : 1件
  - ② 新たな安全性に関する情報についての審議 : 2件
  - ③ 治験実施計画書等の変更についての審議 : 3件
  - ④ 被験者の募集手順 (広告) についての審議 : 1件
- 8) 第37回治験審査委員会開催 (2008年2月28日)
- 審議事項 : ① 新規治験受託の可否についての審議 : 1件
  - ② 新たな安全性に関する情報についての審議 : 4件
  - ③ 治験実施計画書等の変更についての審議 : 4件

## 7.5 臨床検査適正化委員会

### 1. 概要

臨床検査を適正かつ円滑に遂行するための検討を行う事を目的とする。

## 2. 2008 年度目標：

敬和会グループとして岡病院検査室から細胞診検査業務を開始し、施設間での共同業務の意識向上や橋渡しとなれるように運用を構築していきたい。

診療支援として、必要項目の院内迅速検査への変更取り組みや、オーダーリングの整備、看護支援の充実として予約試験管作成の継続や検査依頼の相談フォロー。

機器整備として・眼底・ER エコー等の新規購入にて質の向上とデータの共有化をめざす。

委員会メンバーの参加増加と意見交換を活発にできるようにする。

## 3. 2007 年度実績：

開催回数：12 回

変更・改善内容

新規設備：顕微鏡写真設置(9 月)脳波計 (9 月)

移設：検査システムサーバーを 3 階へ移設 (12 月)

新規項目：ノロウイルス抗原迅速検査

新セット作成：DVT セット作成・循環器セット・災害セット・NST セット

改善：

5 月：生化学検査試験管の変更

血漿→血清へ（ヘパリンリチューム→インセパッカー II D）報告 30 分体制維持するために高速凝固促進剤入り試験管採用

5 月：エコー予約枠を 30 分から 1 時間に変更し、余裕ある検査時間体制にて患者待ち時間の短縮になりました。

5 月：細菌検査結果のレイアウトや表示内容が落ちていた（非表示）分の修正が完了し検査システムと電子カルテ表示が一致し見やすくなった。

不規則抗体の表示変更 0.1.2→+.-

6 月：造影 CT 時の生化学検査 (cre) 急ぐためにカルテに CT 検査表示し採血順番の優先や検査結果の優先を取り決める。

7 月：HBsAb の判定保留域を設定していましたが、東部検査室外注結果と統一のため保留域を削除した。

7 月：電子カルテの検査オーダーリング変更（ビッツ社安部氏作成）

依頼の履歴が消えたが今後履歴を作っていく。

7 月：電子カルテの名前検索（あ・ん）からカルテへ入れるように変更になる。

7 月：予約依頼の指示書の印刷中止

7 月：検査会計情報送信開始

7 月：24Cr 中止

7 月：エコー写真の保存は事務室から検査室へ変更

7 月：尿中アルブミン検査定性から定量へ変更

7 月：結果異常値カラー表示しているが、以上・以下の文字が反映されていなかったのを反映しカラー表示ができるように変更する。

8 月：出血時間（中止）

9 月：尿の未提出が紙カルテを並べる時にわかるように、未提出ラベルを貼るようにした。9 月：細菌検査オーダーリング開始

10 月：24Cr・GFR 換算値結果の導入

2 月：細胞診院内検査開始準備

3 月：ホルマリン取り扱い変更準備

## 7.6 輸血療法委員会

### 1. 概要：

輸血製剤の適正且つ有効に行われていたか検討・審議する事を目的とする。機関である。

### 2. 2008 年度目標：

安全なる輸血療法指針を遵守した輸血製剤の使用指導。

血液センターの統廃合・製剤不足等にて製剤供給も難しくなっています。予約依頼の周知徹底と緊急時対応がスムーズに行えるように人材育成！

FFP1.5 倍量に変更の周知徹底。

待機的手術に関して自己血の推進と製剤保管の更なる安全への取り組みの継続。

善意ある方々の血液を有効に使用するために、院内廃棄率「0」を目標！

### 3. 2007 年度実績：

開催回数：12 回

検討・改善内容

- ・製剤使用のトリガーとなるように毎月使用 Dr 名開示している。
- ・輸血記録アンケートにて輸血記録書を作成（経過記録と副作用一体化）
- ・輸血に関する諸費用一覧作成配布
- ・緊急時大量輸血時の適合血フローチャート改定
- ・自己血採血の点数請求防止に自己血採血の表示をカルテに貼る（医事が解るように）
- ・輸血依頼時に検査室での入力も代行できる。
- ・輸血前検査のルール定着
- ・廃棄率 1.78%

2007 年度使用実績(2007. 4～2008. 3)

| 製剤名   | 単位   |
|-------|------|
| MAP   | 1848 |
| 自己血   | 61   |
| FFP   | 762  |
| アルブミン | 2992 |

## 7.7 褥瘡対策委員会

課題：褥瘡発生の予防（計画書の提出・マット台数と補充）院内・外教育の継続、褥回診に参加し状況確認する

\*毎月第4 金曜日、18 時より委員会実施（高安名誉院長、各スタッフにて）

- ・今月分の褥瘡状況報告
- ・Dr より、褥瘡状況及び院内発生分析
- ・マットの使用状況について・・・など

\*毎週（火）午後より、高安名誉院長・NS にて褥瘡回診の実施

\*平成 19 年 6 月 15 日 大分豊寿苑にて

第 2 回褥瘡ケア地域勉強会開催

講師：大手町病院形成外科部長 石井義輝先生

\*平成 19 年 7 月 6 日 当院研修センターにて

院内褥瘡ケア勉強会開催

講師：RH 田中さん、モルテン（嶋田氏）より

\*マット台数確認

5 月実施（次回より、委員会時報告するよう決定）

\* マットの補充（12 月購入・・・プライム ST、すくっと）

## 8. 事務部門

### 8.1 医事課

#### 1. 概要、構成、スタッフ：

医事課長 1 名、医事係長 1 名、外来部門 12 名（パート 1 名）、入院部門 6 名（産休 1 名）  
 歯科事務 1 名、委託スタッフ 1 名

#### 2. 2008 年度目標：

減点率 0.3%以内

受付部門の接客能力向上（医事職員のサービス介助士資格取得）

未収金回収率 90%以上

#### 3. 2007 年度実績：

2007 年度平均減点率 0.33%

### 8.2 総務・人事部

#### 1. 概要、構成、スタッフ：

人事・総務部長(法人本部統轄部長兼任) 1 名、人事・秘書課長 1 名、人事・秘書係長 1 名、  
 医局秘書 1 名、総務 1 名 合計 5 名

#### 2. 2008 年度目標：

1) 適正な人材の確保

2) 職員教育の充実

3) 資格等級別新賃金体系の確立

4) 職場環境の改善

#### 3. 2007 年度実績：

1) 適正な人材の確保

2007.5 7：1 看護体制

2007.6～9 H20 年度新卒看護師の病院見学及び募集

2) 人事評価制度の敬和会への普及

2007.4 中間・期末の目標管理シート作成、評価者訓練実施

2007.11 中間評価の集約

2008.4 期末評価の集約

3) 院内教育制度の確立

2007.4 教育・研修委員会を立ち上げ、年間を通して研修計画を作成

2007.4～2008.2 BLS 研修、上級・中級・初級のレベル毎に研修を実施

2007.9 リーダーシップ研修（上級者）

2007.12 接客研修（中級者）

2008.1 管理者研修（上級者）（2007.9 実施リーダーシップ研修のフォローアップ）

4) 職員満足度の調査

2007.4 事業所内託児所「ふたば保育園」開設

2007.4 仕事と家庭の両立支援の取り組みを行う、年次有給休暇の取得促進等。

- 2007.6 財団法人21世紀職業財団より「男性の育児参加促進事業実施事業主」として指定を受ける  
 2007.11 仕事と家庭の両立支援について子育て世代を中心に職員の意識調査を実施  
 2008.3 年次有給休暇の取得率アップ

### 8.3 購買物流部

#### 1. 概要、構成、スタッフ：

院内物品購入全般（購入・物流・管理・修理）

深田昌司（事務長・部長） 遠山文子（課長） 黒川 薫（合計3名）

#### 2. 2008年度目標：

コスト削減・医療材料標準化・医療機器の整備・医療機器安全管理

#### 3. 2007年度実績：

材料費、前年度売り上げ比率が23%から22.2%に削減

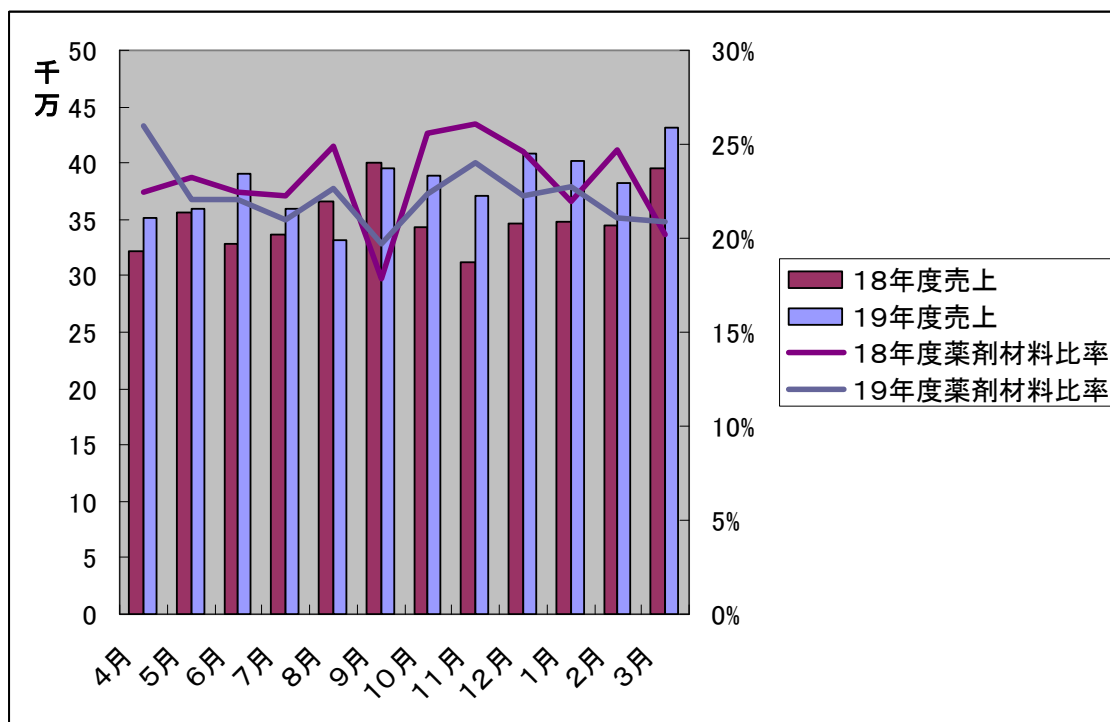
#### 4. 学会発表：

2008/3/18 遠山文子 豊後大野市医師会・木曜会（大分） 感染予防材料の導入にともなうコスト削減効果

#### 医療材料+薬品/売上

|     | 18年度 | 19年度 |
|-----|------|------|
| 4月  | 22%  | 26%  |
| 5月  | 23%  | 22%  |
| 6月  | 22%  | 22%  |
| 7月  | 22%  | 21%  |
| 8月  | 25%  | 23%  |
| 9月  | 18%  | 20%  |
| 10月 | 26%  | 22%  |
| 11月 | 26%  | 24%  |
| 12月 | 25%  | 22%  |
| 1月  | 22%  | 23%  |
| 2月  | 25%  | 21%  |
| 3月  | 20%  | 21%  |





#### 8.4 経理部

##### 1.概要、構成、スタッフ：

- ・概要・・・敬和会グループの財務全般（各種諸表の作成、資産・現金管理等）
- ・構成・・・佐藤高明（経理・財務部長） 安部徹也（課長） 難波典子（係長） 佐藤美貴
- ・人員・・・4名

##### 2.2008年度目標：

- ・予算制度、予算管理の確立
- ・コスト削減、全職員がコスト意識を持つ
- ・タイムリーな各種財務分析報告

##### 3.2007年度実績：

- ・平成19年10月より予算制度導入
- ・翌月末迄の月次試算表完成、経営者への報告

#### 9. 診療情報管理部

##### <理念>

- 1 診療録は患者さんの歴史であり、大切に保管し守秘義務を遂行します。
- 2 情報を活用し、診療や経営を支援します。
- 3 安定したシステム運用を維持します。
- 4 外来および病棟において、医師と看護師の事務的な補佐を円滑かつ効率的におこないより質の高い診療の提供を目的とします。

##### 1.概要、構成、スタッフ：

診療情報管理部は、診療情報管理士5名、SE2名、メディカルクラーク7名、病棟クラーク4名（派遣社員）で構成されています。

診療情報管理士業務：診療録管理、電子カルテ管理、DPCデータ作成、個人情報保護対策

SE 業務：病院情報システム管理、PC 管理

メディカルクラーク業務（医師事務作業補助者）：外来診療補助、医師・看護師補助、書類作成、電子カルテ入力補助

## 2.2008 年度目標：

部目標：

- ・ D P C データの分析能力の向上、経営・診療部門への適切なフィードバックを行う。
- ・ 次期電子カルテ導入に向けた、業務改善の提案。

診療情報管理士目標：

- ・ 法令、諸規則を遵守した診療録管理の業務確立。
- ・ 診療情報管理士としての専門能力を高め、他職種との連携を図り、適切な提案・指導を行う。
- ・ D P C 情報のデータチェック機能を強化する。

メディカルクラーク目標：

- ・ 医師事務作業補助者としての業務の確立。
- ・ 診療部門のサポート役として、知識の向上に努める。
- ・ 他職種との連携を図り、適切な業務提案を行う。

S E 目標：

- ・ 院内 IT インフラの安定稼動を維持する。

## 3.2007 年度実績：

診療情報提供件数(一般)

|         | 件数  | 申請者 |    |      |     | 使用目的  |      |      |     | 提供書類 |      |     |
|---------|-----|-----|----|------|-----|-------|------|------|-----|------|------|-----|
|         |     | 本人  | 家族 | 保険会社 | その他 | 他医療機関 | 保険会社 | 裁判関係 | その他 | 診療録  | フィルム | その他 |
| 2004 年度 | 3   | 1   | 1  |      | 1   | 2     | 1    |      |     |      | 2    | 1   |
| 2005 年度 | 55  | 14  | 7  | 31   | 3   | 8     | 41   | 1    | 5   |      | 34   | 21  |
| 2006 年度 | 67  | 12  | 10 | 43   | 2   | 12    | 52   |      | 3   | 1    | 52   | 14  |
| 2007 年度 | 131 | 57  | 30 | 40   | 4   | 3     | 105  | 2    | 21  | 7    | 41   | 83  |

## 診療情報提供件数(公的機関)

|        | 件数 | 申請者 |    |     |     |         |     | 使用目的    |     | 提供書類 |     |
|--------|----|-----|----|-----|-----|---------|-----|---------|-----|------|-----|
|        |    | 警察  | 検察 | 裁判所 | 弁護士 | 労働基準監督署 | その他 | 捜査・裁判関係 | その他 | フィルム | その他 |
| 2004年度 | 22 | 10  | 10 |     | 2   |         |     | 21      | 1   |      | 22  |
| 2005年度 | 16 | 9   | 3  |     | 1   | 1       | 2   | 12      | 4   | 2    | 14  |
| 2006年度 | 18 | 8   | 8  |     | 1   |         | 1   | 13      | 5   |      | 18  |
| 2007年度 | 16 | 6   | 5  | 2   | 0   | 2       | 1   | 13      | 3   | 1    | 15  |

## 診療情報開示件数

|        | 件数 | 申請者 |    |      |     | 使用目的 |      |     | 提供書類 |         |
|--------|----|-----|----|------|-----|------|------|-----|------|---------|
|        |    | 本人  | 家族 | 公的機関 | その他 | 保険会社 | 裁判関係 | その他 | 診療録  | 診療録フィルム |
| 2004年度 | 7  |     | 1  | 6    |     |      | 5    | 2   | 6    | 1       |
| 2005年度 | 7  | 1   | 1  | 3    | 2   | 1    | 3    | 3   | 5    | 2       |
| 2006年度 | 12 | 3   | 3  | 6    |     | 1    | 4    | 7   | 9    | 3       |
| 2007年度 | 16 | 7   | 3  | 5    | 1   | 1    | 1    | 14  | 13   | 3       |

## 4. 学会発表

2007/5/13 仲野悦子 国際疾病分類学会 東京 DPCにおける診療情報管理業務

2007/10/28 仲野悦子 医療マネジメント学会宮崎地方会 宮崎 診療記録管理とDPC, 病院経営～脳梗塞などの急性期治療を例に～

## 5. 講演・講義・指導

2007/10/26 仲野悦子 DPC実践セミナー 長野 実務担当者による事例報告

2007/12/8 仲野悦子 DPCマネジメント研究会 大阪 入院患者のDPC分析事例

## 6. 投稿・著書

クラークの役割と業務 遠藤知子 医事業務 2008/3月号 No.314:6-14.

DPC対象・準備病院におけるクリティカルパスの作り方 仲野悦子 ナースマネージャー 2008/1月号 Vol.9 No.11:31-37.

DPC時代の病院経営を検証する 仲野悦子 日本医学館:53-72.

## 10. メディカルリンクセンター

広報・マーケティング部

<理念>

- 1 公私各医療機関とのネットワークを構築し、地域連携を推進することによって、地域の皆さんによりよい医療・福祉・介護を提供します。
- 2 生命・個人の尊厳を重んじ、安心と信頼のある温かい相談援助を行ないます。
- 3 サービスの質向上のため知識・技術を常に研鑽します。

<2007年度スタッフ>

ディレクター（部長）・・・1名

マネージャー（課長）・・・1名

（医療連携チーム）

MSW・・・4名

広報担当・・・1名

（コールセンターチーム）

3名

<2007年度目標・方針>

- 1 組織化
- 2 学習
- 3 改革

本当のチームをつくるために、組織化された部署をつくるための改革を行なう。また、院外、院内に対するサービス部門としての役割を果たすために、常に学習をしてスキルアップを図る。

<2008年度目標>

- 1 見える化の推進
- 2 院内・院外連携の強化
- 3 業務の効率化・スリム化

<2007年度実績（医療連携チーム）>

【はじめに】

医療連携チームは、ソーシャルワーカー業務、医療連携業務、広報業務を行っている。この3本柱を核とし、チーム医療の推進、地域医療連携の推進を行っている。

この報告書では、1. ソーシャルワーカー業務、2. 医療連携業務、3. 広報業務の活動報告を行う。

1. 医療連携チーム2007年度

キャッチフレーズ

「はつらつ」

2. スタッフ紹介

チーフ：藤島 伸也

サブリーダー：新谷 美由紀

濱田 佳奈

福田 将大

小野崎 佳彦

（全員、社会福祉士）

## 3. 学会発表

2007年11月9日

第11回病院広報事例発表会（小野崎）

2007年11月18日

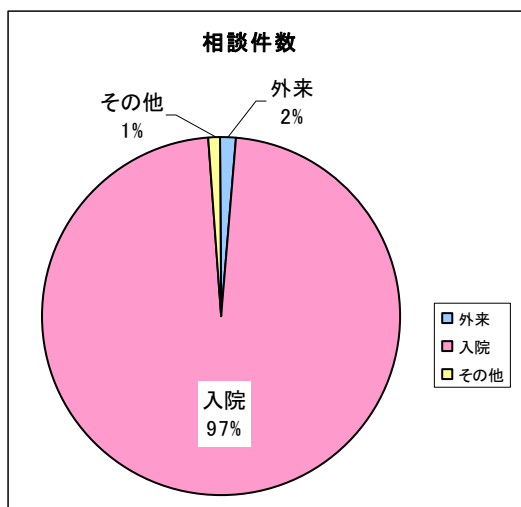
第25回大分県病院学会（新谷）

2008年3月1日

第8回日本医療マネジメント学会  
（小野崎）

## 4. 実績

## 4. 1 ソーシャルワーカー業務

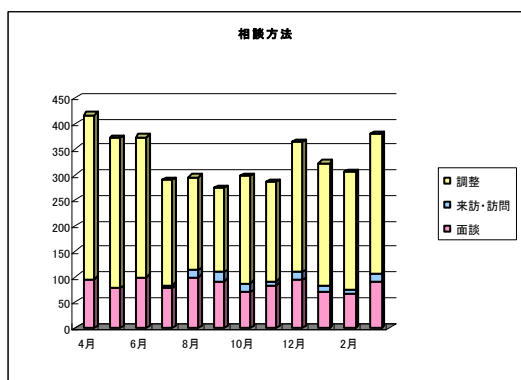


外来患者さん介入数

合計 57 件 月平均 4.75 件

入院患者さん介入数

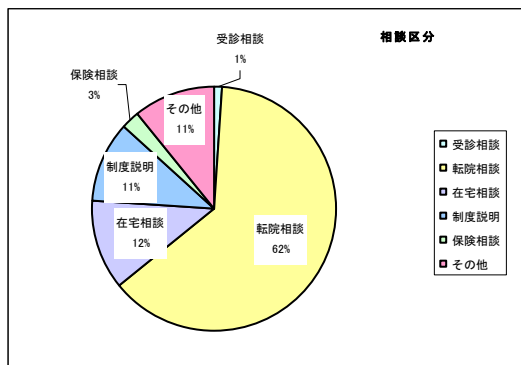
合計 3671 件 月平均 305.91 件



面談 合計 1,019 件 月平均 84.91 件

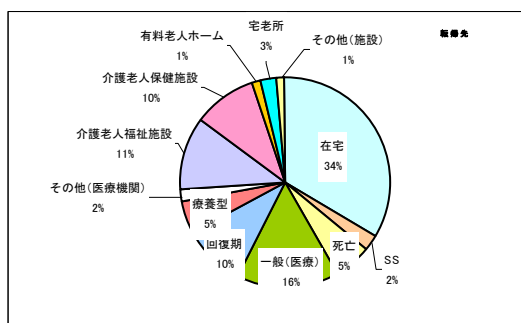
院内外調整 合計 2,852 件 月平均 237.66 件

面談の約3倍の量の調整が必要となってきた。面談に費やす時間、調整に費やす時間等を加味しても一件の調整に時間がかかり、労力がかかっていることがわかる。



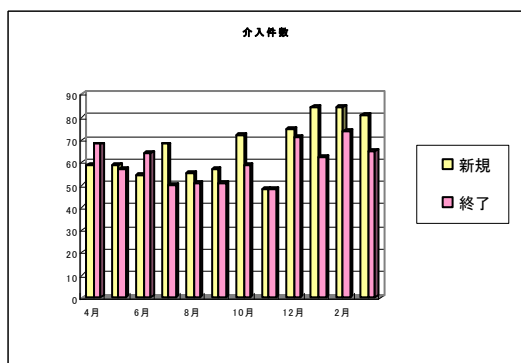
相談区分においては、転院調整が約60%を占めており、地域との関係を良好に保ち、窓口として調整をしていることがわかる。

転院調整に関しては、全てが医療機関というわけではなく、施設である場合もある。



転帰先の詳細報告である。

回復期リハビリテーションへの転院調整よりも一般医療機関への調整や施設への調整の数が多く、パスにのっとった調整ではなく、患者さんの状態に応じて転帰先を検討していることがわかる。

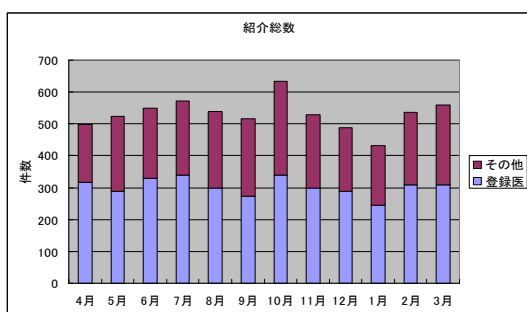


新規介入数、終了数ともにほぼ同数であるが、当院の平均在院日数と比較すると退院支援に時間がかかっていることがわかる。

今後の課題として、早期介入、早期調整、早期退院の支援方法の検討が必要となってくる。そのためにも、医師・看護師・コメディカルとの連携を深めていくことが大切である。

#### 4. 2 医療連携業務

##### 1) 紹介総数 (2007 年度)



登録医からの紹介数・・・

合計 3,634 件

月平均 302.8 件

登録医以外からの紹介数・・・

合計 2,489 件

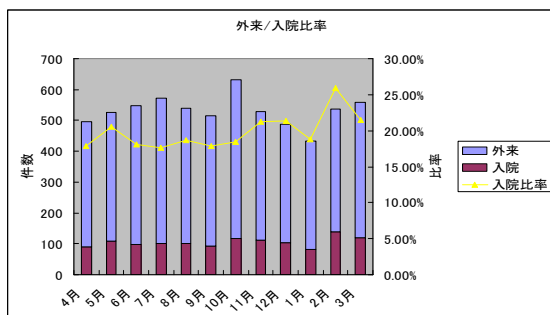
月平均 207.4 件

時期によって増減はあるものの、平均的に月 500 件の紹介を頂いている。

今後としては、登録医数の増大、非登録医への営業などが課題となってくる。

## 2) 紹介総数内訳

### I : 外来／入院比率



入院加療依頼にて来院され、当日入院になった患者さん数・・・

合計 1,263 件

月平均 105.2 件

外来にて加療を行った患者さん数・・・

合計 5,111 件

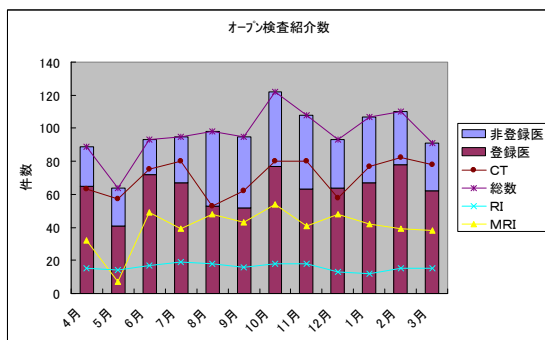
月平均 425.9 件

当日入院となる患者さんの割合は

月平均で 19.82%

入院に特化すべき急性期病院、地域医療支援病院としては、受け入れ態勢の整備ならびに長期化している入院患者さんの退院支援を促進することで、入院加療依頼の患者さんを増大し、医療連携をすすめていくことが必要となる。

### II : オープン検査紹介数



登録医からのオープン検査依頼数

総数 761 件 平均 63.4 件

非登録医からのオープン検査依頼

総数 404 件 平均 33.6 件

CT 検査依頼

総数 845 件 平均 70.4 件

MRI 検査依頼

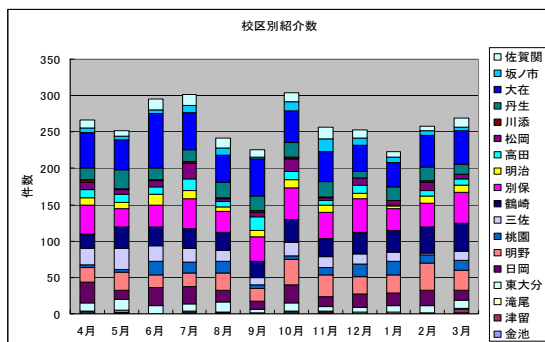
総数 480 件 平均 40 件

RI 検査依頼

総数 178 件 平均 14.8 件

放射線科のオープン検査数は平均で 100 件程度となっている。CT、MRI など高性能の機械が入っており、RI 検査などは検査可能な施設が少ないため、営業次第ではまだまだ数の増大が見込める。

### III：校区別紹介数



登録医からの紹介を小学校区で分類し、集計をおこなったデータ。

※ 大分市外は除く。

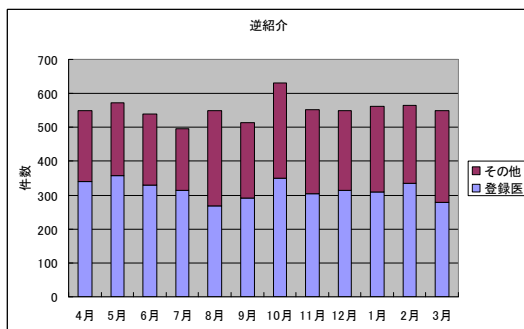
大在校区は一医療機関あたり、月に 3.25 件の紹介となる。

別保校区は一医療機関あたり、月に 4.51 件の紹介となる。

佐賀関校区は一医療機関あたり、月に 3.83 件の紹介となっており、大分市東部・地理的に近い場所からの紹介数が多いことがわかる。

### 3) 逆紹介総数





#### 登録医への逆紹介

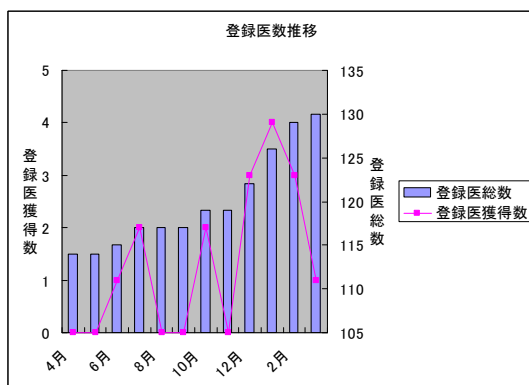
総数 3,795 件 月平均 316.25 件

#### 非登録医への逆紹介

総数 2,835 件 月平均 236.25 件

登録医からの紹介数より逆紹介数のほうが多いことがわかる。今後も患者さんを地域の先生方にフォローしていただける体制・環境作りが必要となってくる。

#### 4) 登録医獲得数 (2007 年度)



#### 16 件の新規登録医獲得

2007 年度当初は 114 件だった登録医は 130 件まで増大。

今後は、この 130 件の登録医の先生方に当院の取り組みを紹介し、理解し、地域連携を強固にしていくことが目標となる。

#### 4. 3 広報業務

○院外広報誌 おかのかお 10 号/年 (合併号含む)

平成 19 年 6 月 1 日より発行開始。

病院として「伝えたいこと」と、入院患者さん、来院者が「知りたいこと」の“バランス”を製作コンセプトとしている。「病院が伝えたいこと」に重点をおくのではなく、あくまで患者さんや地域の方々の視点から物事や表現方法を考え、伝えるようにしている。

また、地域のお店紹介や活動、恒例行事を紹介するコーナーを設けることで、「広報」のみを目的とした広報誌ではなく“読み物”としても魅力があるものを目指した。多くの読者が内容にしっかりと目を通し、大分岡病院、鶴崎のまちにより親近感と安心感を持っていただけるよう、患者さん(読者)の視点から製作している。

## ○院内広報誌 敬和の環 12号/年

平成20年3月10日より発行開始。

情報共有、院内連携強化を目的とし、製作を開始した。

各部署から発信できる情報を全職員に配布することで、院内連携を強化し、情報を共有することができる。院内には共有できる情報がたくさんあるが、そのための手段が確立されていなかった。各部署へアンケート調査を実施したところ、人事に関する情報について非常に関心が高いことが分かった。今後は「共有しなければならない情報」についても「敬和の環」から発信できるようにする。継続して発行することで、さらなる情報共有、院内連携強化が期待できる。

## ○OBS ラジオ 耳よりホームドクター

平成19年10月より放送開始

過去の放送内容

平成19年10月

4日(木) 心血管センター概要 立川Dr

11日(木) 「狭心症」について 永瀬Dr

18日(木) 「心臓弁膜症」について 迫Dr

25日(木) 「急性心筋梗塞、心臓リハビリテーション」について 宮本Dr

平成19年11月

1日(木) マキシロフェイシャル・ユニット概要 松本Dr

8日(木) 「矯正歯科」について 小椋Dr

15日(木) 「外科矯正」について 小椋Dr

22日(木) 「インプラント治療」について 平野Dr

29日(木) 「All-on-4」について 平野Dr

平成19年12月(大分東部病院)

6日(木) 大分東部病院概要 下田院長

13日(木) 「人間ドック」について 宮本Dr

20日(木) 「外科・消化器科」について 末松副院長

27日(木) 「産婦人科の役割」について 岡田副院長

平成20年1月

7日(月) 「新年挨拶」 岡理事長

10日(木) 「新年挨拶」 葉玉院長

17日(木) 「サイバーナイフ治療」について 松本(陽)Dr

24日(木) 「サイバーナイフ治療」について 松本(陽)Dr

31日(木) 「皮膚科領域、AGA」について 高安名誉院長

平成20年2月

7日(木) 大分豊寿苑概要 柴田施設長・斉藤氏

14日(木) 「通所・訪問リハビリテーション」について 黒枝氏・児玉氏・阿南氏

21日(木) 「居宅介護支援事業所」について 河野氏・松本氏

28日(木) 「訪問看護・ヘルパーステーション」について 佐々木氏・藤本氏

平成20年6月13日3月

6(木)「呼吸器内科」について 葦原Dr

13(木)「中央検査センター」について 後藤課長

20(木)「リンパ浮腫治療」について 秋吉Ns

27(木)「治験・創薬センターの役割」について 吉田Ns

平成20年4月

6(木)「口腔ケア」について 麻生氏

13(木)「無歯顎の問題点」について 松本Dr

20(木)「All-on-4」について 平野Dr

27(木)「咬合育成」について 小椋Dr

平成20年5月

1(木) 心血管センター概要 迫Dr

8(木)「冠動脈・ローターブレード治療」について 立川Dr

15(木)「エキシマレーザー血管形成術」について 立川Dr

22(木)「アブレーション治療」について 宮本Dr

29(木)「心臓再同期療法・埋め込み形除細動器」について 永瀬Dr

○ メールマガジン(医療従事者向け) 2回/週

○メールマガジン(一般向け) 12回/年

#### 記事広告掲載内容

平成19年1月1日 読売新聞「新春医療特集 心血管センター」

平成19年4月29日 サンデー毎日「マキシロフェイシャル・ユニット All-on-4」

平成19年6月23日 大分合同新聞(朝刊)「テルモ健康セミナー 下肢静脈瘤の治療と予防」

平成19年9月7日 大分合同新聞(朝刊)「大分岡病院と大分豊寿苑 防災訓練」

平成19年12月1日 大分合同新聞(朝刊)「紙上ドクター 脊柱管狭窄症の内視鏡手術」

平成20年1月1日 読売新聞「新春医療特集 マキシロフェイシャル・ユニット」

平成20年1月26日 読売新聞「生活習慣病予防習慣」(名刺広告 6.5cm×19cm)

平成20年4月6日 読売新聞「病院の実力 心臓外科手術」

ホームページ管理・更新・制作

<http://www.oka-hp.com/> (大分岡病院)

<http://www.gakuhenkei.jp/> (マキシロフェイシャルユニットホームページ)

#### 【おわりに】

当チームでは、3つの業務をおこなっているが、全てがリンクしており、まさにメディカル・リンク・センターとして運営をおこなっている。さまざまな取り組みをおこなっている分、全ての面においてまだまだ未成熟な取り組みが多いこともわかったが、今後のメンバーの成長ならびに業務の「見える化」「連携強化」「効率化・スリム化」を図ることで、病院に寄与できるのではないかと考える。

<2007年度実績

(コールセンターチーム) >

1. コールセンターチーム 2007 年度  
キャッチフレーズ

「つながり」

2. スタッフ紹介

チーフ：山本 直美

奥村 理恵

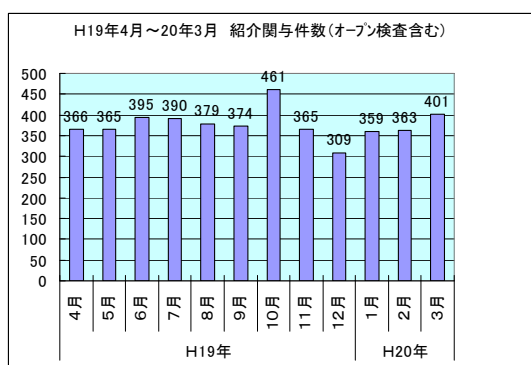
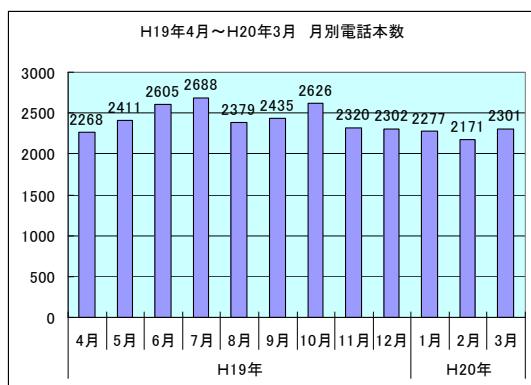
多田 美佳

3. 学会発表

2007年11月18日

第25回大分県病院学会 (奥村)

4. 実績



5. 院内報

2007年2月より、毎月1回(月末)発行。職員食堂に掲示。

同時に全館メールにて配信

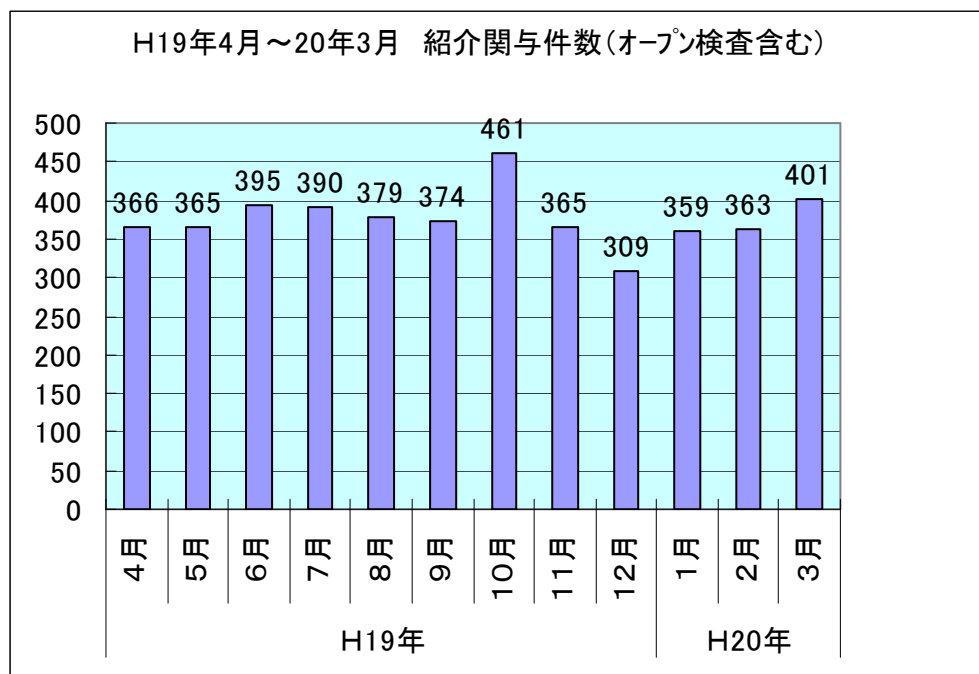
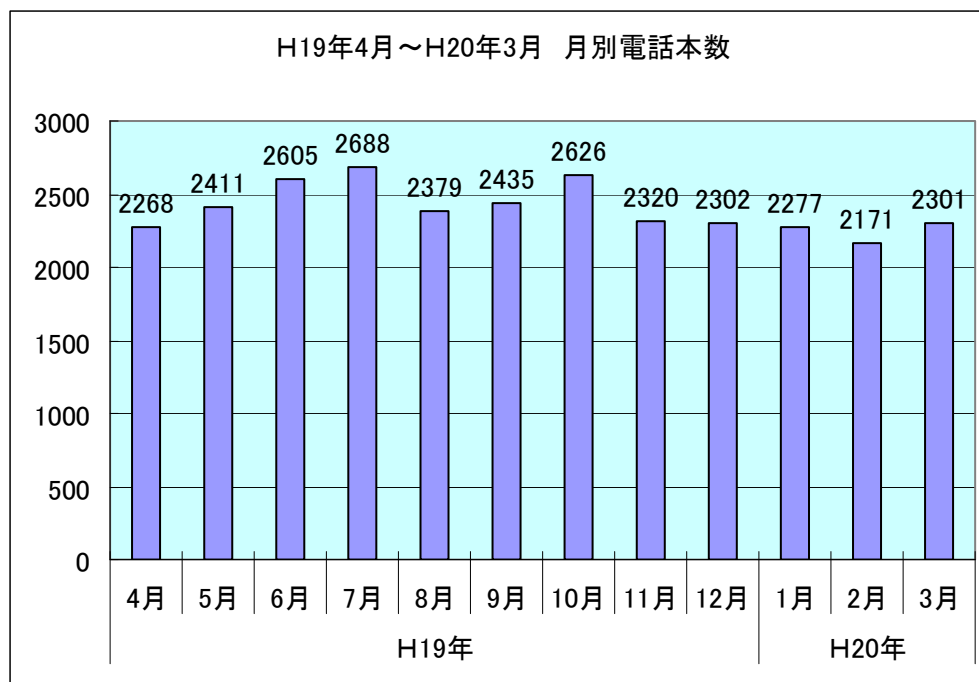
6. ブログ

2007年3月、「しゃんぐる公園大分」にコールセンターブログを立ち上げ。

毎週土曜に更新。

<http://call.junglekouen.com/d2007-03.html>

コールセンター実績：



## 11. 病児保育センターひまわり・ふたば保育園

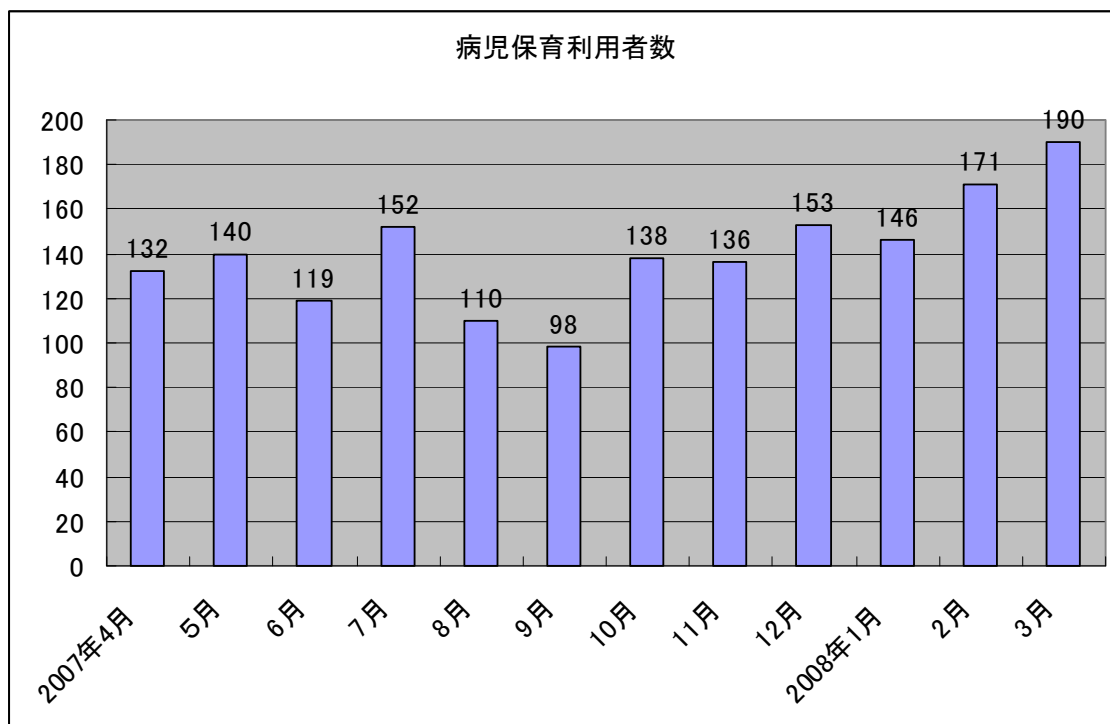
### 1. スタッフ：

看護師 2名 保育士 8名

## 2. 2008 年度目標：

- 1) 子どもの健やかな発育、発達を援助する。
- 2) 毎日の子どもの成長に目を向け、子どもが持つ無限の可能性を伸ばすようより良い保育に努める。

## 3. 2007 年度実績：



## 4. 学会発表：

2007/7/15-16 甲斐雅恵 全国病児保育研究大会 施設交流で得たもの（大分市の病児保育4施設の10年間の交流を振り返って）

講演

2007/4/4 甲斐雅恵 鶴崎同光園 病気・病児保育について

2007/4/6 甲斐雅恵 小中島保育園 病気・病児保育について

2007/3/8 甲斐雅恵 和光ほいくえん・和光幼稚舎 病気・病児保育について

## 5. 実習生受入状況：

東九州短期大学 1名





### 大分岡病院

〒870-0192 大分市西鶴崎3-7-11  
 TEL 097-522-3131 (代表)  
 FAX 097-522-3777

### 大分東部病院

〒870-0261 大分市大字志村字谷ヶ迫765番地  
 TEL 097-503-5000 (代表)  
 FAX 097-503-5888

### 大分豊寿苑

〒870-0131 大分市皆春1521 番地の1  
 TEL 097-521-0110  
 FAX 097-521-1247